

UNIVERSITY OF FUKUI

VIEW BOOK 2020



文京キャンパス(教育学部・工学部・国際地域学部)
〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号

松岡キャンパス(医学部・附属病院)
〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地

敦賀キャンパス(附属国際原子力工学研究所)
〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1丁目3番33号

入試に関するお問い合わせ

学務部入試課(教育学部・工学部・国際地域学部)
TEL.0776-27-9927

学務部松岡キャンパス学務課 入試・学生(医学)担当(医学部)
TEL.0776-61-8246



<https://www.u-fukui.ac.jp>

福井大学広報センター

本学の許可なく、掲載の記事や写真等を複製・転写することを禁じます。



OPEN
YOUR
NEW
WORLD



YouTube

01

教育学部 准教授
長谷川 裕子

学校教育課程 2年次
佐々木 翔摩
福井県立高志高等学校出身



歴史を読むときは 民衆にも目を向けてほしい

大名たちが戦に明け暮れた戦国時代、一方で名も無き民衆の生活がありました。田畑を耕し、ものを作り、主人に仕える一般の人々が、自らを守るためにどんな策を講じたか、それが世の中をどう動かしたのか。膨大な史料から紐解きます



Profile

教育学部 准教授
長谷川 裕子

千葉県出身。1995年明治大学文学部史学地理学科日本史学専攻卒業。1997年明治大学大学院文学研究科史学専攻博士前期課程修了。2002年立教大学大学院文学研究科史学専攻博士課程後期課程満期退学、博士(文学)。2003年日本学術振興会特別研究員、2004年立教大学兼任講師、2008年立教大学大学院兼任講師を経て、2012年福井大学教育地域科学部社会系教育講座准教授。2016年から現職。

学生に薦める書籍

新版・雑兵たちの戦場
— 中世の傭兵と奴隷狩り —
藤木久志 著
(朝日選書777、2005年、旧版初出1995年)

現代の常識では想像し難い戦国の世の苛酷な実像が描かれている本です。戦国時代の民衆について考える機会と、歴史をみるための新しい目を我々に与えてくれます。



長谷川准教授 私は、一般の人々が戦国の世をいかに生き抜いていたのか、生き抜くためのどのような社会システムがあったのかという部分に着目し、近江(現在の滋賀県)の領民たちを素材に研究しています。研究室に籠もるだけではなく、しばしば現地まで足を伸ばし、地域に残る史料を見せてもらったり、地域の方にその場所の特徴や慣習の由来、今は無くなってしまった地名などを聞き取り調査することもありますね。

佐々木 大名ではなくて、領民の方を研究されているのはなぜですか?

長谷川准教授 私も学部生までは大名や武将に興味があり、卒業論文では浅井長政の家臣を取り上げていました。それ以来、滋賀県をフィールドにした研究を続けていますが、調査を深めるうちに、実際に時代を動かしていたのは名も無き一般の人々だと分かってきました。領民たちの、自分たちをより良く治めてほしいという求めに応じて、各地に戦国大名が現れたわけですね。戦争だって、領主とその領民が生き延びるための一つの方策です。

佐々木 戦国時代は、大名同士のみで利権を争っているイメージがあったので、そう考えると新鮮です。高校までに教わった中世の一般の人々といえ、私には「一揆」が思い浮かびます。

長谷川准教授 一揆という、近世でいう「うちこわし」のような行動を指すように思われますが、そういった行動を起こしても起こさなくても、対権力でなくても、何らかの目的のために集団になること自体が本来は「一揆」といわれます。例えば、村だつて村人が生存するための一揆です。人々が自分たちを守り生き抜く方法のひとつで、中世は「一揆の時代」と呼ばれるほど、あらゆる階層でさまざまな一揆が作られました。応仁の乱や戦国の動乱は、支配者層がそういった時流に真剣に向き合おうとして生じた結果といえるでしょう。戦国大名や武将ばかりが目



立つようですが、もう少し一般の人々にも目を向けると、歴史の流れの意味合いや、今に通じる社会の本質も見えてくるかもしれません。

佐々木 私も高校生の頃は戦国武将に興味がありましたが、民衆の研究も面白そうですね。卒業論文で取り組むとしたら、何から始めたらいいのでしょうか?

長谷川准教授 まずはテーマを決めて、その時代に関する研究論文を集めて整理しましょう。これまでに研究された説を読んで、異議を唱えるのか、別のアプローチから取り組むのか。いずれにしても、その研究者たちが使った史料を読み直していく必要がありますね。また、現代日本語で書かれていない近代以前の史料にあたる場合は、読み方の習得も必須です。特に歴史研究の分野は、時代が進むごとに研究史がどんどん蓄積されていきます。最近では研究者による史料整理も進んでいるので、そういった史料を拝借するのもひとつの手でしょう。ただ、何にしろ出来るだけ早く始めることをおすすめします。

佐々木 政権交代の頻繁な平安時代にも気になりますし、中世の死生観や、現代に至る職業分布の変遷にも興味があります。早くテーマを決めて始められるように頑張りたいです。



戦国時代を生き抜いた一般の人々は
私たちに何を残したか



飛行機の中でC/Aが医者を探していたら
必ず手を上げる、福大医学部の卒業生なら

治療学と診断学。両方を備えて 医療のフロントラインに立つ覚悟

総合診療部と救急部を一体化した北米型ER
新しい救急医療のフロントラインに立ち続けるとともに
医学部生を診断力と治療力を備えた真のジェネラリストへと導く林教授は
激務のはずなのに、いつも上機嫌でした



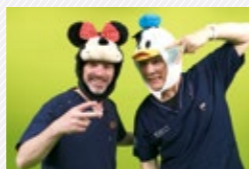
Profile

医学部附属病院教授 総合診療部長 併任
林 寛之

福井県出身。1986年自治医科大学卒業。
1986年福井県立病院初期研修。1988年
現：越前町国民健康保険織田病院外科、
1991年トロント大学附属トロント総合病院救
急部に臨床研修、1993年福井県立若狭
成人病センター、1994年美浜町東部診療
所、1997年福井県立病院救命救急センター
医長・科長を経て、2011年から現職。

影響を受けた人物

Dr. R. Goldman



Goldman先生には、仕事のみならず、新しい人
や新しい土地との出会いが、人生を楽しむ糧に
なると学びました。



新田 先生、ブラック・ジャック(BJ)になりたかったって、本当ですか。

林教授 だってカッコいいじゃない、BJ。困ってる人が来たら、なんだかんだ言っても結局はすべて引き

受けて治しちゃおう。助けてと言われたら、必ずOKと答える、そんな医者になりたいと思ったんです。

新田 だから外科に？

林教授 大まかに言うと、外科は治療学、内科は診断学。もちろんどちらも大切だけど、私はクリアカットに結果が出る外科の方が、カッコいいと思った。なにしろBJだから。

新田 救急医療の分野に進まれたのはなぜですか。

林教授 若いころ、僻地医療に携わっていました。医師は内科医の院長と外科医の私だけ。そこに、毎日のように救急車がやってくるんです。正直、助けられなかったケースもありました。自分は正しい診断ができていいのか、技術不足じゃないのか…。そんなとき、カナダへの留学の話があり、それに乗っかって救急医療を一から勉強し直すことにしたんです。あ、それと英語も。余談だけど、英語、大事ですよ。医療の世界では、教

科書は5年遅れ、ジャーナルは2年遅れ、学会はこの1年、インターネットは今、と言われています。最新の医療情報にアクセスするには、英語は必須です。

新田 ああ、受験勉強では一生懸命にやっただけど、大学に入ってからは…。

林教授 今からやりなさい、すぐ(笑)

新田 カナダでは、救急医療の仕組みが日本と違うんですか。

林教授 総合診療と救急が一体になっている。それが北米型ER(Emergency Room)の特長です。フロントラインに立つ救急医は、さっきも言った治療学と診断学、両方に通じていなければならない。救急の窓口に来る患者さんのうち9割は、そこで助けられます。残りの1割は、後衛の専門医にコンサルトすることになります。



新田 福井大学の附属病院も北米型ERなんですね。

林教授 そう、全国でも珍しい取り組みです。もうひとつ珍しいのは、救急医がみんな機嫌がいいこと(笑)

新田 激務じゃないんですか。

林教授 私はね、医療にはサイエンスとアートの両面があると思ってんです。医学部で一生懸命に勉強すれば、サイエンスはある程度は身につきます。こういう症状が出ているならこれくらいの確率でこの病気だな、という…。でも、臨床では患者さんに向きあいながら診断に必要な情報を自分で取らなければならない。いつもプリアリ怒っている医者に、自分の症状を抵抗なく話せますか？

新田 それはちょっと怖いかも…。

林教授 そこが、アートなんです。だから私たちはいつもニコニコしている。

新田 私たち医学部生に、なにかメッセージをください。

林教授 飛行機の中で「お客さまの中にお医者さまはいらっしゃいませんか」とCAさんが叫ぶシーン、あるでしょ。そこで手を上げる医者は34%なんだそうです。福井大学医学部の卒業生なら、必ず手を上げる!

新田 そうなれるように頑張ります!

03

工学部 教授
沖 昌也

物質・生命化学科 2年次
二川 由梨
福井県立藤島高等学校出身



生き物は、DNAだけでは決まらない エピジェネティクスをベースに新薬開発へ

DNAが同じでも、生物はそれぞれ違った個性を発揮します
その鍵を握るのが、エピジェネティクス。DNAの周りのタンパク質が
環境の変化に応じて通常とは違う遺伝子情報を発現する仕組みです
その知見をもとに、沖教授は白内障治療薬の開発に挑戦しています



Profile

工学部 物質・生命化学科 教授
沖 昌也

福井県出身。1998年九州大学大学院医学系研究科博士課程修了。1999年日本学術振興会特別研究員、2001年米国立衛生研究所研究員、2005年長崎大学大学院医歯薬学総合研究科助手、2006年理化学研究所神戸研究所クロマチン動態研究チーム研究員を経て、2006年福井大学大学院工学研究科准教授、2018年から現職。

学生にお薦めしたい都市

NEW YORK

海外のいろいろな都市に行きましたが、私はやはり活気に満ち溢れたニューヨークが大好きです。地下鉄の出口から地上に上がり、エンパイア・ステート・ビルを見上げると「ニューヨークに来たなあ〜」と実感し元気が出てきます。皆さんも是非、行ってみてください。



二川 高校の時、福井大学のグローバルサイエンスキャンパスに参加して、沖先生の研究室のことを知りました。そこで「エピジェネティクス」という言葉を知ったんですが、改めてどうい

ものなのか教えてください。

沖教授 生物の形質はDNAの情報からRNAが発現し、そして、タンパク質によって作られます。これをセントラルドグマと言います。でも、DNA塩基配列が同じでも、その生き物がどう環境でどんな生活史をたどってきたかによって、形質はずいぶん変わってくる。どうやらDNAだけでなく、その周りのタンパク質が環境とのかかわりの中で通常とは違う遺伝情報を作り出すことが分かってきたんです。こういうことを研究する学問領域が、「エピジェネティクス」です。

二川 先生はどういうきっかけでこの分野に興味を？

沖教授 子どもの頃、同じクラスに一卵性双生児の子がいたんです。一卵性だからDNAはまったく同じ、でしょ？ でも、廊下ですれ違っただけでも、あ、これは弟だ、兄ちゃんだ、と分かる。これはどうやらDNAだけではないぞ、と、それがきっかけですね。

二川 エピジェネティクスは、工学的にはどうい分野に
応用できるんですか。

沖教授 私の研究室では、白内障の治療薬の開発
に取り組んでいます。

二川 白内障って、手術じゃないと治らないのでは？

沖教授 そう、それが薬で治ったらすごいと思いませんか。

二川 すこいです！

沖教授 白内障はほとんどの人が加齢によって発症
するんですが、右目と左目では病気の進行度に差が
あるんです。これはまさにエピジェネティックな現象です
よね。人の生活史の中には、いくつもの分岐点がある。
そのどこかで白内障が発症する方向に舵を切ったわ
けです。その分岐点を突き止め、エピジェネティックな変
化を食い止める阻害剤を作ることを目指しています。現



在、動物実験では効果が確かめられていて、これから
人体への作用機序や安全性を検討する段階です。

二川 薬の開発って、莫大なコストがかかるって聞いたこ
とがあります。

沖教授 そう、だから製薬会社と共同研究の形で進
めています。

二川 企業が乗ってくるくらい現実性があると言うこと
ですよね！

沖教授 こちらはエピジェネティクスをベースにした知
見があるし、企業側には製剤に関するノウハウの蓄積
がある。定期的に企業側とミーティングをしていますし、
そこには学生も参加しています。

二川 面白そう！ 社会参加している手応えがありますよ
ね。私もやってみたいです！

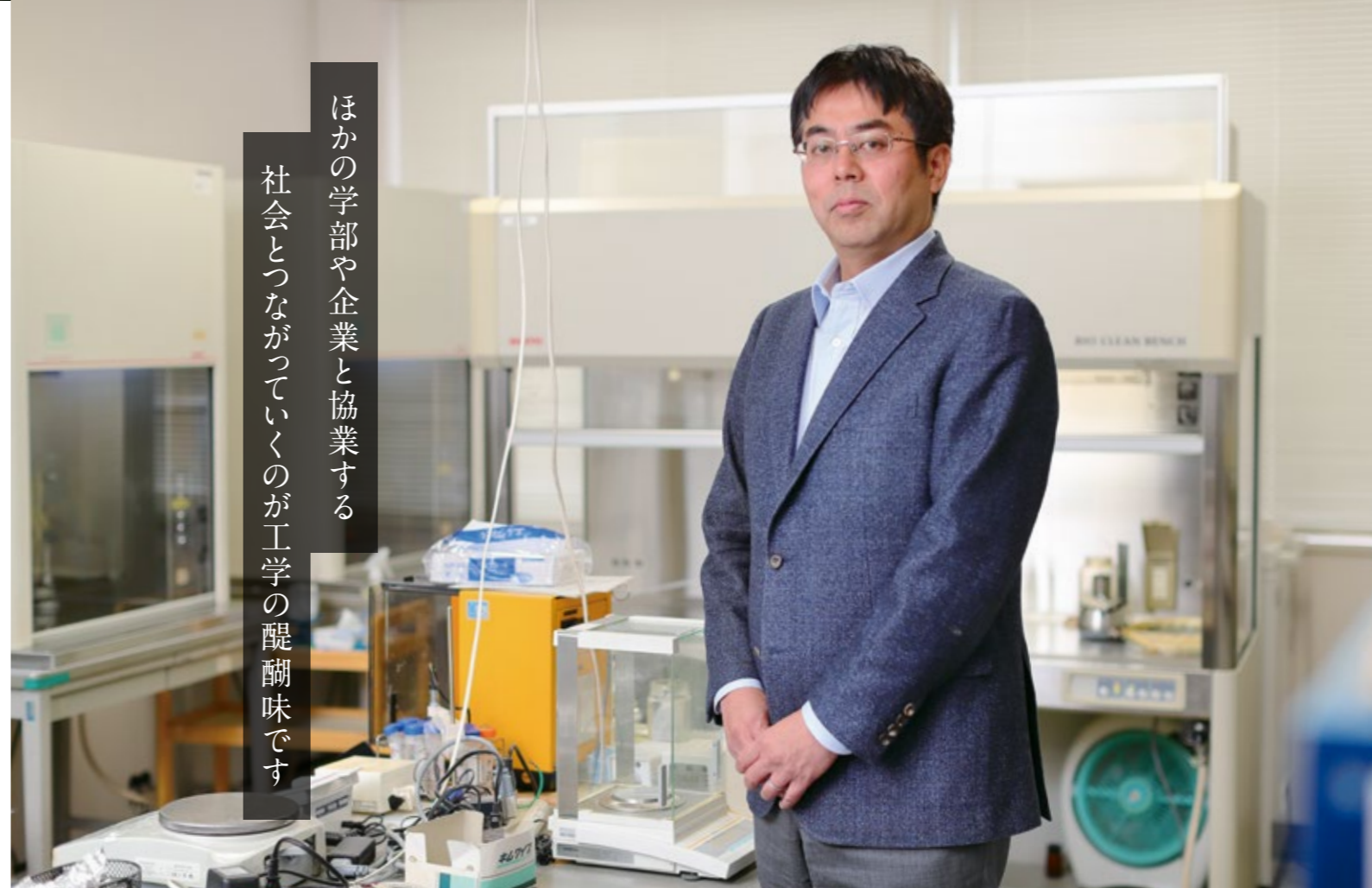
沖教授 ぜひ、どうぞ。医工連携の形で医学部の先
生とも協力して進めているので、いろいろと視野が広が
ると思いますよ。ほかの学部や学問領域、企業や社
会とつながって協業していけるのが、工学の面白さで
すから。

二川 その薬、いつごろ完成するんですか？

沖教授 まあ、私が白内障を発症する頃にはなんとか
実用化したいですね。

二川 完成したら、私の両親にも勧めます！

ほかの学部や企業と協業する
社会とつながっていくのが工学の醍醐味です





「国際」と「地域」を結びつけて考える学部は
世界的にもユニークなんです

動き続ける社会の仕組みを 「グローバル」から考える

「万物は必ず変化している」

“国際”と“地域”が相互に影響し合う「グローバル」の視点から

変化の構造を解き明かそうとする細谷先生

国際機関でも勤務経験のある先生が語る、激動の社会で生き抜く術とは？

Profile

国際地域学部 特任教授
細谷 龍平

大阪府出身。1976年東京大学教養学部卒業。外務省に入省、オックスフォード大学へ留学・卒業。OECD事務局、外務省経済局国際経済第二課長、世界平和研究所主任研究員、駐カナダ公使、駐ケニア公使など歴任。2008年駐仏公使、2010年ユネスコ事務局官房長、2013年マダガスカル駐箆特命全権大使を経て、2016年福井大学国際地域学部教授、2018年から現職。

学生に薦める書籍

利己的な遺伝子
リチャード・ドーキンス 著

遺伝子中心の生物進化論を世界に広めた歴史的名著。遺伝子に次ぐ第二の複製子「ミーム」の概念を提唱して文化進化論も前進させた。



廣瀬 先生の授業のなかで、「グローバル化」について触れられていました。色んな国同士が交わる「グローバル」に対して、「グローバル」は、地域から世界に発信するイメージがあります。

細谷特任教授 「グローバル」は「グローバル(国際)」と「ローカル(地域)」の合成語です。グローバル化の中で、国際と地域は双方向に影響し合います。国際的な均質化と、地域での多様化が連動して起こるのです。例えば、私はマクドナルドをよく実例として取り上げます。グローバル化で、世界中どこでもマクドナルドのハンバーガーが食べられるようになりました。これが均質化。しかし、各地で独自のハンバーガーが作られて多様化が進みました。その中で、日本で独自に開発されたてりやきバーガーは世界にも広まり、新たな均質化をもたらしました。私が研究している『グローバル化論』では、こうした現象がなぜ起こるのか、その構造に注目しています。

廣瀬 なるほど、均質化していくうちに各地域で派生が生まれて、多様化が進むんですね。私は大学生

活のなかで「多様化」について学びたいと思っています。出来るだけ多く、自分と異なる考えの人と交流したいと考えています。

細谷特任教授 とても良いことだと思います。特に、廣瀬さんも希望している留学では、これまで以上に違う文化や考え方の人に触れるでしょう。この学部で学んでほしい、大事な点のひとつです。グローバル化論もそうですが、理論を学び、それを実世界とつなげて考えることが重要です。世界の情勢が地域に強く関係してくると意識できれば、ニュースの見方も変わるのではないのでしょうか。

廣瀬 どういうことに注意しながらニュースを見ればいいのでしょうか？

細谷特任教授 ニュースが伝えるのは現在起きている目の前が中心です。社会は歴史を踏まえた

長い目で見ることが大事です。また多面的に見る目にも必要です。社会の全ての事象は長い間には必ず変化し、繁栄と衰退を繰り返します。私は、なぜそういった仕組みが起きるのかを研究する『文化進化論』にも注目しています。世界は常に動き続けていますから、グローバル化についても表面的、一時的な情報に振り回されず、その底流に働く原理を大局的に考えることが重要です。50年先にはまた新しい世界になっているのかもしれませんが、その頃、廣瀬さんはどんなことをしたいですか？

廣瀬 定年退職後に、仕事のスキルを生かしたボランティアをする、というのが今考えている将来像です。まだはっきりと進路を決めていないので、仕事でどんなスキルを得られるかは分かりませんが。

細谷特任教授 国際地域学部は間口が広いので、色々な道を目指せるのが利点です。また留学を通じて目標を見つける学生も多くいます。もし卒業時点ではっきりしていなかったとしても、一度、社会に飛び込んでからでもいいんです。私も学生の時は、理科系から文科系に転向し、外務省での40年間は様々な仕事をした中で、国際機関や研究所も経験し、さらに大学教員に転身したのが2年半前です。人生もまた社会のように、変化し続けます。



高い就職率・定着率を誇っています!

就職率11連覇達成

高い就職率

国立大学 11年連続No.1

大学通信調査の「全国大学就職率ランキング」で、複数学部を有する卒業生1,000人以上の国立大学において11年連続1位。18年は1,276人の卒業生のうち934人が就職し、316人が大学院に進学しています。

実就職率の実績 (2017年度卒業生)

97.3%

実就職率=就職者数÷(卒業者数-進学者数)

高い定着率

企業から高評価

就職先企業の質の高さや学生の社会人基礎力の高さから、在籍3年以内の離職率は9.2%^{*1}と全国平均(31.9%)^{*2}に比べ、非常に低い数字となっています。この離職率の低さは、就職先の職場の雰囲気や人間関係が良好でミスマッチが少なく、また、給与・勤務時間・福利厚生などの労働条件が良い企業に就職できている証拠といえます。

在職3年以内の離職率

全国平均 福井大学

31.9% 9.2%

※1「福井大学の教育と卒業生についてのアンケート調査2016」
※2 2016年厚生労働省調査「新規学卒就職者の在職期間別離職率の推移」

就職ガイダンス

年間を通じてガイダンスを開催しています。開催時間・場所・内容等は学内の掲示板とメールマガジンでお知らせしています。

- 進路スタートアップ講座
- 自己分析講座
- エントリーシート作成講座
- 面接対策講座
- グループディスカッション体験講座
- 筆記試験対策講座
- 就活マナー講座
- メイクアップ講座
- スーツの着こなし講座
- 業界・企業研究講座
- 内定者による体験報告会
- SPI3模擬試験



高い就職率・高い定着率を支える

就職支援 学生満足度

83.5%

※平成29年にキャリア支援室を利用した卒業生・修了生399名にアンケート調査

学生を支える充実した就職支援体制

全学を挙げて、全ての学生に行き渡る就職支援体制を構築しています。

- ・就職担当教員とキャリアカウンセラーが内定までサポート
- ・大学独自のキャリアサポートシステムの提供
- ・東京都内に就職活動のフリースペースを設置

きめ細かな就職支援活動の実施

年間を通して50回以上のガイダンス等を開講しており、就職活動に慣れない学生の不安の解消に努めています。

- ・充実したキャリア支援講座の開講
- ・多くの企業との出会いの場の提供
- ・インターンシップ企業合同セミナーの開催
- ・公務員講座の開催
- ・教員採用試験対策講座の開講

学内合同企業説明会

4日間で480社

延べ1,263人

大規模で開催される企業説明会で学生の就職を徹底サポート

毎年開催する「学内合同企業説明会」。平成31年3月は4日間で県内外の企業480社、延べ1,263人の学生が参加しました。また、学内個別企業説明会を年間200回開くなど、外部のセミナーに負けない規模で行っています。夏休みには県内外の企業を回るバスツアーなども実施。公務員や教員志望者向けのガイダンスも随時開いており、手厚いサポートで学生を支えています。



就職に強い、福井大学
一人ひとりの夢の実現をサポートします



専門性を高め
地域と連携できる教員に

教育学部

School of Education

学校教育課程

初等教育コース
中等教育コース

p20~

愛と医術で
人と社会を健やかに

医学部

School of Medical Sciences

医学科
看護学科

p28~

私たちの
豊かな暮らしを創造する

工学部

School of Engineering

機械・システム工学科／電気電子情報工学科
建築・都市環境工学科／物質・生命化学科
応用物理学科

p42~

グローバル視点で
地域の創生を

国際地域学部

School of Global and Community Studies

国際地域学科

p58~

CONTENTS

OPEN YOUR NEW WORLD	01
教育学部	02
医学部	04
工学部	06
国際地域学部	08
就職率11連覇達成	10
CONTENTS	12
学長メッセージ	14
Bunkyo Campus by Numbers	16
Matsuoka Campus by Numbers	18
Tsuruga Campus by Numbers	19

教育学部	20
初等教育コース	22
中等教育コース	23
学びの特色／学生メッセージ	24
教員メッセージ	25
附属学園／取得可能な教員免許状・資格	26
大学院	27
医学部	28
医学科	30
学びの特色／学生メッセージ	32
教員メッセージ	33
看護学科	34
学びの特色／学生メッセージ	36
教員メッセージ	37
地域ケア実習	38
臨床実習ICT「CESS」	39
附属病院	40

工学部	42
GLOBAL IMAGINEER	44
機械・システム工学科	46
電気電子情報工学科	48
建築・都市環境工学科	50
物質・生命化学科	52
応用物理学科	54
附属国際原子力工学研究所(敦賀キャンパス)	56
大学院工学研究科	57
国際地域学部	58
学びの特色	60
2つのアプローチ	61
学生メッセージ	62
教員メッセージ	63

文京キャンパス	64
Student's Life	65
CLUB & CIRCLE	66
松岡キャンパス	68
Student's Life	69
CLUB & CIRCLE	70
CAMPUS CALENDER	72
国際交流・留学	74
語学センター	75
Message from graduates	76
学費・生活費・住まい・奨学金制度	80
アクセス	81

UNIVERSITY OF FUKUI

「心豊かな地、
福井で学び、
跳ぼう」



高度専門職業人を輩出

福井大学は、教育、医、工ならびに国際地域の4学部からなり、大学院生も含めると5,000人の学生、つまり県内の大学生約10,000人の、ほぼ半数が本学で学び、本県の活性化に大きな役割を果たしています。県内の教員の4割、医師の3割、エンジニア・科学研究者の3割、は本学出身で、県内の高度専門職業人の要となっています。より高度な、研究或いは専門職業人としての研鑽を積むために、教育・医・工の3学部では大学院が設置され、国際地域も計画中です。

各学部の誇るグローバルな匠の技

教育学部には我が国有数の教職大学院がおかれ、学部、附属学園とうまくかみ合った三位一体の教員養成システムは全国的に有名で、世界的にも注目され、エジプト政府の要請もありエジプトの教員680名を留学生として受け入れる予定です。一方、医学部附属病院は、北米型ER (Emergency Room) 救急という優れた救急システムを日本で初めて導入、実践しています。また高エネルギー医学研究センターはPET/CT、PET/MRIによる先進的画像診断、分子イメージングの研究を行い、がんや神経疾患の病態解明・診断で日本をリードしています。工学部は、日本最多の原発立地県にある大学として、すぐれた原子力研究所を有し、最先端の研究を廃炉研究も含め行っています。日本海側最大の工学部であり、伝統の繊維関係をはじめ、高度専門技術者養成に力を入れ、本学の就職率11連覇の原動力です。2016年に新たに創設されたのが、国際地域学部です。地域の課題解決と活性化には国際的な視野を持つ人材育成が必要であるとの観点にたち、留学経験を持つグローバル(グローバル+ローカル)な人材育成を目標として、初年度から高い人気です。

福井県は一番人気の米コシヒカリの発祥の地であり、海の幸(越前ガニ)、山の幸(越前そば)などに恵まれ、また小、中学校の学力は常に日本でトップクラスにあり、都道府県幸福度ランキングでは、3年連続で1位を達成です(2018年)。働く女性の割合もナンバーワン(2018年)です。豊かな自然と暮らしやすい中都会、さらには穏やかな県民性の中で各々のペースでの勉学やクラブ活動等に集中できる環境は全国でも有数のものと信じます。入学式で諸君とお会いできることを心より期待します。

学長
上田 孝典

入学者受入の方針 Admission Policy

福井大学は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的な水準の教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成を理念・目標に掲げています。この理念・目標を達成するため、本学では以下の能力を有する人を入学生として受け入れます。

- 【求める学生像】
- ①高度専門職業人として地域社会や国際社会に貢献する強い意欲を有する人
 - ②高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において、専門分野の基礎となる知識・技能を修得している人
 - ③正確な文章読解、論理的な記述、適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人
 - ④豊かな人間性、周囲との協調性、奉仕の精神を有する人

【入学者選抜の基本方針】
各学部においては、個々の特性およびアドミッション・ポリシーに応じて以上の観点を適切に選択し、かつ組み合わせられた入学者選抜を実施します。そして、各学部が求める能力・適性等を、多様な選抜方法・区分によって、公平かつ多面的・総合的に評価します。

教育課程の編成・実施の方針 Curriculum Policy

福井大学は、学位授与の方針で示す能力を確実に修得させるため、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

- ①体系的な教育課程
国際通用性のある教育課程を編成し、学位の質を確保します。職業人の素養となる芯の通った学びと学生の関心に基づく多様性のある学びを両立するため、学内外の教育資源を有効に活用した必修科目・選択必修科目・選択科目を配置します。また、成長の道筋を明瞭にするため、意図の明確な科目区分を構成します。
- ②効果的な教育方法
それぞれの知識や技能の修得に適した授業形態を採用するとともに、他者と協働しながら主体的に課題解決に取り組む学習活動をバランスよく実施します。事前・事後学習を支援し、学修時間の確保にともなう単位の實質化に取り組めます。
- ③厳格な学修評価
明確な到達目標と透明性のある評価方法に基づき、各科目の成績評価を行います。カリキュラム全体を通じた達成度の評価についても、予め定められた基準を用いて多面的かつ厳格な評価を行います。
- ④改善のための教育評価
本学で実施する教育をより良いものとしていくため、教育の内容・方法・成果に対する組織的な評価と検証を行い、継続的な改善に努めます。

学位授与の方針 Diploma Policy

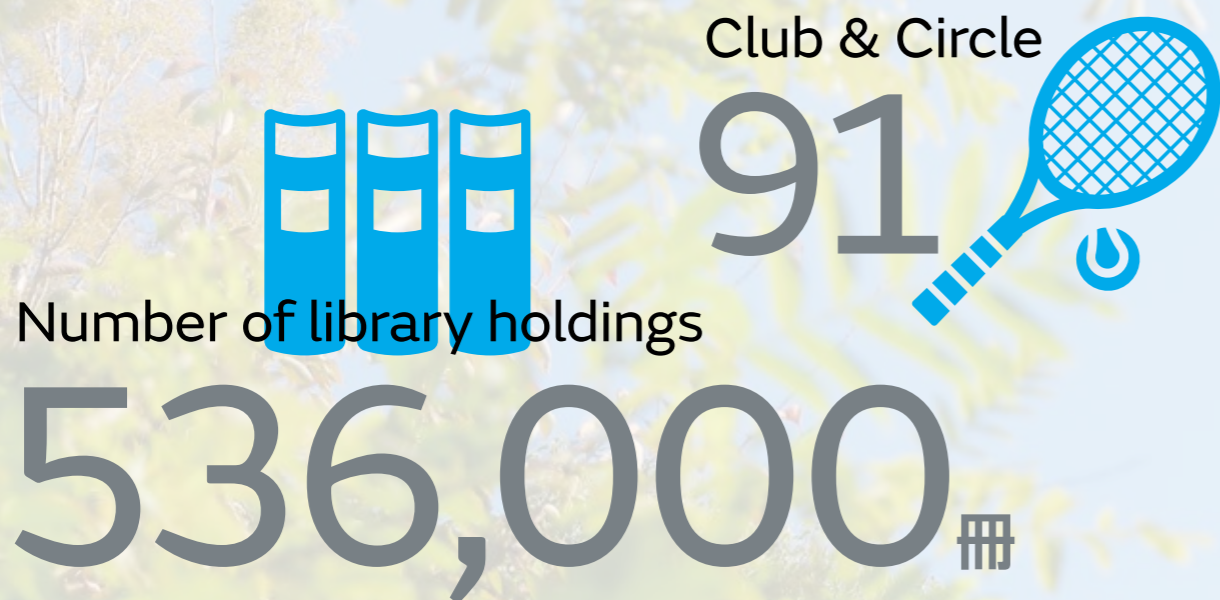
福井大学は、所定の年限在籍し、各学部の体系的な教育課程により学業を修め、地域、国及び国際社会に貢献し得る高度専門職業人として備えるべき以下の能力を修得した者に対し、学士の学位を授与します。

- ①確かな専門能力に裏打ちされた実践力
- ②実践的な言語運用能力を備えたコミュニケーション力
- ③地域から世界までを視野に入れて自ら行動できる人間力

Bunkyo Campus by Numbers



110,248 m²



School of Education

福井県内で卒業生教員が
占める割合



教員免許取得数
過去5年間



1,584 人

School of Engineering

研究室の数

77 室



共同研究数 (契約締結を伴う)

149 件



School of Global and Community Studies

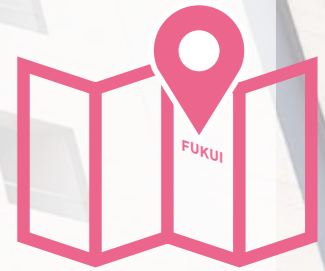
課題探求プロジェクト
県内協力企業・団体数

70 企業・団体



入学者の
県内出身者割合

58% (平成30年度)



※平成28年度実績64%

Matsuoka Campus by Numbers



Site area

270,230 m²

Number of current students



約 1,110 人

Club & Circle

45



Number of library holdings



134,053 冊

School of Medical Sciences

卒業生医師・看護師数

(平成30年度卒含む)

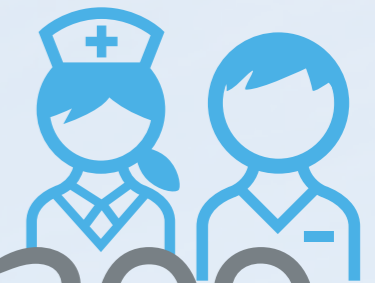
医学科

3,384 人



看護学科

1,209 人



臨床実習の時間

医学科

2,240 時間



看護学科

1,035 時間



Tsuruga Campus by Numbers

Research Institute
of Nuclear Engineering

教員1人当たりの学生数

6 人



大学院生の国際的な
原子力プラントメーカー・
原子力研究機関・
原子力発電事業所等への
就職割合

73 %



教育学部

School of Education

専門性を高め、地域と連携できる教員に

教育学部には、「初等教育コース」と「中等教育コース」の2つのコースがあります
学校教育の多様な課題に向き合い専門性をもって取り組むことができる教員を育てます

入学者受入の方針

Admission Policy

【教育理念】

学校教育の様々な課題に対して高い専門性をもって積極的に取り組む人を育てる学部、それが教育学部です。本学部には、小学校、特別支援学校、幼稚園などの教員を養成する「初等教育コース」と中学校、高等学校などの教員を養成する「中等教育コース」の2つのコースがあります。それぞれのコースでは、教科・領域の専門性を横断的、系統的に身につけ、学習者の成長や学習に対する専門的理解を深め、地域と連携できる能力を備えた教員の養成を通じて広く社会の発展に寄与することを目指しています。

【求める学生像】

- ①高等学校などで身につけた基礎学力の上に立って、主体的・協働的に学ぶことができる人
- ②人間の教育や心理に興味を持ち、初等・中等教育における各教科の教育に強い関心を抱いている人
- ③子どもの成長を支えられる豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力を有している人
- ④教育への情熱や探究心を持ち、学校を中心とする地域・社会の諸課題に積極的に取り組んでいこうとする人

教育課程の編成・実施の方針

学校教育課程では、公教育の担い手として多様な人々と協働しながら、学識に支えられた指導力により子どもたちの学習・発達を支援し、生涯にわたって学び続ける教師を育てるために、以下のような特徴を有する教育課程を編成し、実施する。

①幅広い専門領域を担う教員組織と新しいカリキュラム開発

多様な教科や領域の教員が協働し、地域・社会の諸課題を視野に入れた授業やカリキュラムを開発する。また、地域との連携やグローバル社会を視野に入れた学校教育の重要性を考えることのできる人材を育成する。

②実践と省察を繰り返す協働的な学習

子どもたちの成長と発達を促す実践への参加と省察を繰り返す学習経験を積ませる。全学年の学生が協働して探究することにより、専門職としての教師に求められる学習を積み重ねる。

Curriculum Policy

③教科・領域の専門性を高めるための科目配置
教科・領域が成立する根拠や意義、歴史的背景への理解をベースに、教科・領域の目的・目標・内容・方法に関する専門性を培う。さらに各教科・領域のカリキュラム・単元・授業・教材・活動内容の提案、事例研究を行いながら、教科横断的、系統的な視野に基づいた学習を組織することができる実践的力量を形成する。

④深い人間理解を促すための科目配置

人間の教育・心理に対する専門的理解を深めながら、就学前段階にある幼児や特別な教育的ニーズをもった児童・生徒の成長も視野に入れ、多様な視点から子どもの成長や発達を支援することができる力量を形成する。

⑤学び続けることのできる教師の育成

学識形成の足跡を示す学びの履歴・成果をまとめることにより、世代継承サイクルを組み込んだ学習コミュニティを形成する。専門職としての総合的な能力を評価するために、協働探究のプロセスやそこで育まれた能力を把握し、学習個人誌を作成・公開する。

学位授与の方針

教育学部では、修業年限以上在学し、かつ教育課程編成の方針に基づいて編成された科目を履修し、共通教育規程および教育学部規程において定められた単位数を取得することにより、教科や教職の専門的・実践的力量ならびに公教育の担い手としての自覚と責任感を備え、以下のような能力を身につけたと認められる者に対して学位を授与する。

①生涯にわたって学び続ける基盤

地域や学校における実践コミュニティの一員として、また学びの専門職として、地域に参画し、他者と協働し、生涯にわたって学び続ける基盤を有する。

②協働的な学習や探究的な学習の指導と評価

子どもたちが主体的・協働的に学習できるように、また教科・領域の特性に応じた探究的な学習を行うことができるように、教育の目的・目標・内容、および子どもの発達や地域・グローバル社会に関する知識に基づいて指導と評価の計画を立てることができる。

③教科・領域における重要な概念と探究の方法に関する理解

子どもたちの知的・社会的・個性的な発達を支援するために、各教科・領域における重要な概念と固有の探究方法、およびそれらを子どもたちが学習していくプロセスに関して深い理解を有する。

④民主的な集団活動の指導

学校や教室の社会的・文化的文脈を認識したうえで、子どもたちが平和で民主的な社会のあり方と人間らしい生き方について理解を深められるように、集団活動の運営方法を指導することができる。

⑤子どもたちの個性に応じた成長と発達の支援

人間の成長・発達について深い理解を形成し、子どもたち一人ひとりの個性に応じた成長と発達を支援することができる。

⑥学識形成の足跡を示す学習成果の公開

上記①から⑤の能力を裏付けるために、学識が形成された足跡を示す学習成果をまとめて、公開することができる。

初等教育コース

小学校、特別支援学校(学級)、幼稚園などの教員を目指す人

小中一貫教育や幼小連携教育、地域と連携した教育、特別支援教育など現在の学校教育の課題を解決していく能力を備えた小学校教員、特別支援学校教員を養成します。

- 実践的で協働的な課題探究型の授業を行います
- 小学校英語やICT教育、インクルーシブ教育などにも対応したカリキュラムを備えています
- 教育現場や教育連携機関等における実習が充実しています



サブコース	小学校教育 サブコース					特別支援教育 サブコース		
系	1系 (教科探究系)		2系 (子ども理解系)		3系 (学校・地域連携系)			
系・コース 共通科目	小中 カリキュラム 研究A	小中 カリキュラム 研究B	子どもと 人間関係	子どもと 環境	子どもと 表現	地域連携 カリキュラム研究I	地域連携 カリキュラム研究II	
希望する 校種や教科	小中連携・一貫教育を担う教科の 専門性を身につけた小学校教員		子どもの発達や学習に関する高い 専門性を身につけた小学校・幼稚 園教員			地域社会と連携した教育を展開し、 地域の中で主体的に生きる力を育 成できる小学校教員		多様なニーズのある子どもへの専門 的な対応ができる教員

中等教育コース

中学校、高等学校の教員を目指す人

中高一貫教育などを見据え、高度で体系的な専門知識を持って、主体的で協働的な学習を構想し実践することのできる中学校教員を養成します。各サブコースでは、各教科のカリキュラムを強化し、エキスパートとしての専門性を身につけます。

- 課題探究型学習やアクティブ・ラーニングを活用した授業を展開します
- 各教科の教育内容及び指導方法を深く学び、専門性を高めます
- 思考力、判断力、表現力を培います



サブコース	人文社会教育 サブコース		理数・生活教育 サブコース		芸術・スポーツ教育 サブコース		
コース 共通科目	人文社会科学概論A	人文社会科学概論B	理数基礎A・B	生活科学概論A・B・C	身体と 創作表現A		身体と 創作表現B
希望する 校種や教科	[国語]、[英語]または[社会科]の中学校・高等 学校教員		[理科]、[数学]、[技術]または[家庭]の中学校・高 等学校教員		[音楽]、[美術]または[保健体育]の中学校・高 等学校教員		

4年間の学び



学校体験学習(3年次)

学校現場で体験 —教育実習の事前・事後学習—

3年次における学校体験学習は、カリキュラム「長期教育実習」の一環として位置づけられています。体験学習A～Fのプログラムから、15ポイント(必修の体験学習を含む)以上の体験学習に参加できるようにそれぞれの学習内容、実施時期を考慮し計画的に取り組みます。



プログラミング授業にアシスタントとして参加

15ポイントの体験活動を選ぶ

- | | |
|--|--|
| 体験学習A
連携先: 福井市教育委員会
活動内容: プログラミング授業体験、参観、
ティーム・ティーチング
参加学生: 初等教育コース(全員参加)、
中等教育コース | 体験学習D
連携先: 附属特別支援学校
活動内容: 特別支援学校における業務
参加学生: 特別支援教育サブコース
(小学校教育サブコース・中等教育コース) |
| 体験学習B
連携先: 附属義務教育学校(前期課程)
活動内容: 小学校における業務
参加学生: 初等教育コース1～3系
(特別支援教育サブコース・中等教育コース) | 体験学習E
連携先: 地域連携校
活動内容: 学校地域連携活動
参加学生: 初等教育コース3系 |
| 体験学習C
連携先: 附属義務教育学校(後期課程)
活動内容: 中学校における業務
参加学生: 中等教育コース(初等教育コース) | 体験学習F(その他の活動)
活動内容: ライフパートナー、理科CST、その他
参加学生: 初等教育コース、中等教育コース |

学びの特色



探求ネットワーク

(学習過程研究／組織学習研究)

総合学習や特別活動の視点からカリキュラムの理解を深める「学習過程研究」の実践プログラム。紙すきや人形劇など9つのプロジェクトに分かれ、約8カ月間、地域の子どもたちと探求活動を行います。子どもや周囲との関わり方、組織の動かし方を学びます。



ライフパートナー

(学校教育相談研究)

さまざまな問題を抱える子どもをサポートする実践プログラム。派遣依頼のあった小中学校や家庭に出向き、支援を行います。遊びや勉強を教える活動と授業でのケースカンファレンスを繰り返しながら、子どもの心に寄り添う力を養います。



CST

(Core Science Teacher)

地域の理科教育を支えるスペシャリスト(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)を目指して、様々な研修に取り組むことができます。



OEC

(Overnight English Camp)

毎年英語の教員を目指す1～3年次が学外施設において英語のみを使用しながら2泊3日の合宿を行い、英語運用力を鍛えています。

教育実習



教育実習は、学校現場での教育実践を通じて、教師の役割と仕事、子ども理解、学校現場の今日的課題といった教職の実践的力を形成するための多様な「問い」と出会う貴重な学習の機会です。教師の仕事全体を学べるように1年次から4年次の長期にわたるカリキュラムとなっています。

教員採用試験対策

一次試験から面接対策まで、専任の教員が指導を担い合格へ向けた多彩かつ手厚いサポートを実施しています。



外部講師による筆記試験対策「教員採用試験対策セミナー」



模擬授業やキーボード実技を学ぶ「教員心得講座」



本番同様の条件で行う「集団討論対策講座」



「DVD学習会」

STUDENT'S VOICE

行動の裏側までくみ取り 信頼される教師になりたい

大正 愛佳 さん
学校教育課程 3年次
福井県立藤島高等学校出身

「探求ネットワーク」や「ライフパートナー」といった独自の学びに興味があり、教育学部に入学しました。両親と共に教師で、自分も英語教師を目指しています。教育実習は附属義務教育学校で行い、だんだん上達する自分の授業や様々な表情を見せる生徒など、はじめはただ楽しい毎日でした。しかし実習の後半の文化祭で、頑張った生徒に十分な声かけができず、自宅でも父から「頑張った裏側まで把握して認めてあげられるのが教師だ」との言葉が。思春期のまっ只中にある中学生の心情はとても複雑で、行動の裏側、奥の方にあるものをくみ取れないと、本当に心を通わせることはできません。現場で実感した今は、教師になる前に留学などを経て、まずは視野を広げたいとも考え始めています。



PROFESSOR'S VOICE

新たな学校課題に対応する 先進的なカリキュラム

澁谷 政子 教授
専門分野: 音楽学

近年、学校に対するニーズは急速に変化しています。学力観の転換に伴い、教科の専門性や授業力に加え、主体的な学びの実現や同僚同士の協働などの新たな学校課題に対応する力も教師には求められます。教育学部ではこれらの課題に即した先進的なカリキュラムを組んでいます。「探求ネットワーク」や「ライフパートナー」では、児童生徒の個性や主体性を認め合う姿勢やチーム力を育みます。また、学校現場に直接学ぶ「学校体験学習」や、地域との連携のあり方を学ぶ授業もスタートしました。これからも、新しい学校教育をめざして授業内容や方法をアップデートしていきます。本学部で学ぶことの面白さ・奥深さを追求し、そして、柔軟な視点と実践力を備えた教師へとぜひ成長してほしいと思います。



附属学園

少子化に伴う学校の統廃合やグローバル化など、校種を超えた21世紀の諸課題に立ち向かう教育研究開発校としての役割を果たすべく、全国に先駆けて、それまでの4校園を統合した附属学園となりました。また、平成29年4月には、義務教育として行われる普通教育を、基礎から応用まで一貫して

施すことを目的に、附属小学校及び中学校を統合して9年制の義務教育学校を設置しました。附属学園のもう一つの使命は、教員研修学校の役割を果たすことです。教育実習校から、教員の生涯にわたる職能成長を支える教員研修学校へと舵を切り、大学・大学院とのさらなる一体化を図ります。

幼稚園・義務教育学校・特別支援学校

子どもたちとともに活動することで
たくさんを学び、成長する

附属学園には、幼稚園・義務教育学校・特別支援学校があります。幼稚園では、幼児教育と子育て支援における地域の中核として、協同的な遊びを中心とした総合的な保育活動を展開します。また、働く保護者のための延長保育を実施します。義務教育学校は、前期課程6年と後期課程3年の9カ年の一貫した教育方針の下で学べる学校です。これまでの「知識伝達型」の教育から、課題に対応する力を育てる「資質能力育成型」の教育への転換を図り、「自主協同」の校訓のもと、教科での学びを最大限に活用した課題解決型の学習を全教科及び領域（特別活動など）で展開します。1学年から外国語活動を実施し、卒業までに実生活で使える英語の習得も目指します。特別支援学校には、小学部、中学部、高等部があり、知的障がい児が、将来の社会参加のために自分の特性を見つけ、伸ばしていく12年一貫の総合的教育を行っています。それぞれの学校園で、役割に応じた特徴のあるカリキュラムを実施します。また、協働してインクルーシブ教育を推進しています。



附属幼稚園



附属義務教育学校



附属義務教育学校の開校式の様子



附属特別支援学校のシンボル大壁画

取得可能な教員免許状・資格

教員免許状

コース	サブコース	小学校		中学校		高等学校	特別支援学校	幼稚園教諭						
		1種	2種	1種	2種			1種	2種					
初等教育	小学校教育(1~3系)	○*		○*	○*	国語、地理歴史 公民、数学 理科、音楽 美術、工芸	○	○	○	○				
	特別支援教育	○*		○*	○*						○	○	○	○
中等教育	人文社会教育	○	○	○*	○*	保健体育 保健、家庭 工業、英語	○	○						
	理数・生活教育	○	○	○*	○*						○	○		
	芸術・スポーツ教育	○	○	○*	○*						○	○		

- …………卒業要件となっている免許
- …………必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。
- ※…………免許教科に係る必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。

(注) 所属するサブコースによって取得できる免許状の種類・教科の数には制限があります。

資格

学校図書館司書教諭 教員免許状に加え、必要な単位(10単位)を修得することで、資格が取得できます。

大学院

福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科(連合教職大学院)

子どもたちが自主的に学び合い成長できる学校教育の実現には、子ども一人ひとりの学びと協働を支える教員の力量と実践力が不可欠です。そのため、本学が基幹校となり、特色ある3つの大学が協働し教職大学院を設置(平成30年4月設置)し、各々の実践研究を共有しながら、高度な専門的能力と優れた資質を有し、学び続けることのできる教員の養成を目指します。ここでは、本学が生み出した教育スタイル「学校拠点方式」を採用し、小・中・高・特別支援学校など教育現場を学びの場としています。大学院生は拠点校のサイクルに合わせた長期のインターンシップを行います。また、現職教員の大学院生は勤務校を離れることなく学ぶことができます。学校が抱える課題に教員や大学院生が協働して取り組むことで、教員としての実践力やマネジメント力、専門職としての技量を培います。若い世代の教員を養成する「授業研究・教職専門性開発コース」、現職教員を対象とした学校での核となる教員を養成する「ミドルリーダー養成コース」、改革期の学校を支える管理職のための「学校改革マネジメントコース」の3つのコースがあり、世代を超えて学び合います。



学位: 教職修士(専門職)
 修業年限: 原則として2年(1年を許可する場合もある)
 必要修得単位: 学校における実習(10単位)、共通科目(20単位)、コース別選択科目(15単位) 計45単位以上

主題に沿って実践と研究を深める、3つのコース

授業研究・教職専門性開発コース	ミドルリーダー養成コース	学校改革マネジメントコース
授業づくり・児童生徒の成長発達支援をはじめ、学校における活動の総体について、学びあう専門職コミュニティづくり、及びそれへの参加を通して学ぶ若い世代の教員のためのコースです。	知識基盤社会に生きる力を培う授業をどう実現するか。多様な子どもたちの成長をどう支えていくか。学校における教師の協働の実践と研究が求められています。学校での核となるミドルリーダーのためのコースです。	アクティブ・ラーニング、チーム学校、コミュニティスクール、入試改善、そして学校の組織制度改革。山積する課題の中で、どのように改革の舵取りをしていくか、組織マネジメントの力が求められています。改革期の学校を支える管理職のためのコースです。

2020年4月より、従来の修士課程担当(教科教育・教職専門)教員を新たに加え、学部で培った専門性をさらに高めていきます。

自信をもって教師になれる3つの力を育む先進的プログラム

- 授業内容開発力 ▶ 「カリキュラム開発基礎研究」の新設
- カリキュラム・授業開発力 ▶ 「カリキュラム開発実践研究」の新設
- 授業分析力・実践力 ▶ 「長期インターンシップ」の充実

各自のテーマに応じてデザインできる柔軟で次世代的な学びのスタイル

- 理論と実践の往還 ▶ 院生と大学教員、学校現場の協働プロジェクト

7つのテーマで進めるプロジェクト型学習
 ~カリキュラム開発研究科目群~

「カリキュラム開発基礎研究」 (8単位)	「カリキュラム開発実践研究」 (8単位)
-------------------------	-------------------------

教師の仕事の総体を実践的に学ぶ「長期インターンシップ」

- 学校現場の事例を研究
 ▶ 小・中・高・特別支援のいずれかの学校を拠点とした学び

学びのスタイルに応じた2つのアプローチ

- 授業研究専門性開発アプローチ ▶ 週2日間のインターンシップ
- 教職専門性開発アプローチ ▶ 週3日間のインターンシップ

長期履修学生制度	小学校教員免許取得プログラム
職業を有している等の事情がある場合、標準修業年限を超えて柔軟に計画的に教育課程を履修することができる制度を設けています。(入学前にあらかじめ申請する必要があります)	学校での1年間のインターンシップを活かしながら、小学校教諭1種免許状を取得する小学校教員免許取得プログラムを行っています。このプログラムは、長期履修学生制度を適用し、通常より1年間長い3年間で大学院の教育課程と学部等の関連科目を履修することにより、教育職員免許状取得の所要資格を得るものです。

医学部

School of Medical Sciences

愛と医術で人と社会を健やかに

人々が日々の生活を健やかに暮らせるために己の知識と知恵を捧げようと志す、徹底した無私の愛を貫ける医師と看護師に最新の医学・看護学を学び、修練し次世代の「医療」を開拓する研究を推進します

入学者受入の方針

1. 医学部の理念

愛と医術で人と社会を健やかに

真理を探究する知への愛——

それは、古代ギリシャの哲学者プラトンや医学の父ヒポクラテスが最も信頼を寄せた愛、すなわち、自分自身の「無知」を自覚し、つねに真理の側へと身を置き、それを不断に求め続けることを自らに課す、極めて厳しい愛です。私たちは、最新の医学・看護学知識や技術を学び、修練すると共に、次世代の医学・看護学を開拓する研究を推進します。

人命を尊重し人間に共感する人への愛——

それは、病に臥していようが無かるうが、日々の生活を営む人々のために自らの知識と知恵を捧げようと志す、徹底した無私の愛です。私たちはその具体的な姿を、福井藩蘭方医、笠原良策（白翁）（1809-1880）に見出します。笠原は、幕末まで死病として恐れられた天然痘の流行を食い止めるため、既存の医学や因習に囚われることなく、常に最先端の医学を探究し続けた「知への愛」の実践者であると同時に、自らの命を賭して種痘の普及と実施に尽力し、人と社会の健康に一生を捧げた人物に他なりません。私たちは、旧福井医科大学学歌に謳われた「杏林愛に芳しき」医療従事者や研究者を育成、輩出し、人と社会を健やかにする事に貢献します。

2. 医学部の教育目的

【医学部の教育目的】

福井大学医学部は、理念に基づき、人間形成を基盤に生命尊重を第一義とする医の心の態度を体得するとともに、世界水準の医学および看護学の知識と技能を修得し、地域社会や国際社会で活躍できる医療人および研究者を育成する。

●医学科

確かな知識と技能に基づく質の高い臨床能力と、生命尊重を第一義とする共感力と倫理観を有し、根拠に立脚した患者中心の医療を実践できる医師や、医学の進展に貢献する高い能力を身につけた医学研究者を育成し、医学・医療の進歩を通じて社会に貢献することを目的とする。

●看護学科

高い倫理観と良識ある人間性を有し、科学的根拠に基づいた看護を実践でき、知識・技能を生涯にわたり修得し続ける高度専門職業人を育成し、看護学の発展と地域社会に貢献することを目的とする。

Admission Policy

入学者受入の方針

Admission Policy

3. 求める学生像

●医学科

- ① 医師となるにふさわしい豊かな人間性、周囲との協調性、責任感を有する人
- ② 奉仕の精神を持ち、人を思いやり、尊重することができる人
- ③ 医学教育内容を十分理解するために必要な幅広い基礎学力と応用能力に富み、自ら学び続ける学修意欲のある人
- ④ 医学・医療を通じて地域社会や国際社会に貢献しようとする強い情熱と意欲を持つ人
- ⑤ 地域を愛し、医師として地域医療に貢献することを望む人
- ⑥ 医学・生命科学に強い関心をもち医学研究者になることを望む人

●看護学科

- ① 看護に関心を持ち、将来看護職として、地域医療に貢献したいと考える人
- ② 倫理的感性を有し、人間の尊厳と権利を尊重することができる人
- ③ グローバル化が進展する社会に関心をもつことができる人
- ④ 基礎学力の上になって、人と地域社会に関心をもって学習に臨める人
- ⑤ 協調性がありコミュニケーション能力のある人
- ⑥ 誠実な心を持ち、主体的で意欲のある人

【医学部教育の人材育成目標】

●医学科

- ① 高い倫理観・責任感、優れた共感力とコミュニケーション力を備えた患者中心の医療を実践できる臨床医を育成する。
- ② 医学および関連領域の知識と技能を応用して、医療における高度専門職業人として活躍できる医師・医学研究者を育成する。
- ③ 地域のニーズを踏まえた地域医療を実践できるとともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる臨床医を育成する。

●看護学科

- ① 高い倫理観・責任感、良識ある人間性とコミュニケーション力を備えた対象者中心の看護を実践できる看護師・保健師・助産師を育成する。
- ② 看護学及び関連領域の知識と技能を応用し、高度専門職業人として活躍できる看護師・保健師・助産師を育成する。
- ③ 地域のニーズを踏まえた看護を実践できるとともに、グローバルな視点に立ち「ふくい」の地域医療に貢献できる看護師・保健師・助産師を育成する。

教育課程の編成・実施の方針 Curriculum Policy

医学部の教育目標である「人間形成を基盤に、生命尊重を第一義とする医の倫理を体得するとともに、高度に発展した世界水準の医学および看護学の知識を修得し、グローバル社会で活躍できる医療人および研究者を育成する」ことを達成するため、医学科および看護学科で定めた人材像に沿った、本学医学部の特性等を積極的に活用しつつ、医学・看護学教育指針に準拠した教育課程を編成・実施します。

学位授与の方針

Diploma Policy

所定の期間在学し、カリキュラム・ポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位・時間数を修得し、医師・看護師等に必要の医学・看護学の知識・技能・態度を有するとともに、医学科および看護学科で定めた卒業時まで修得すべき具体的な能力・技能等を備えた者に学位を授与します。

医学科

高度な臨床能力・研究能力を身につけた人間性豊かな医師に

急速に発展し続ける医学領域では、学生が身につけなければならない知識量が膨大になり、医師に求められることも多様化しています。社会のニーズに対応できる質の高い医師を養成するために、本学科では、文部科学省によるガイドライン「医学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した統合カリキュラムを実施しています。さらに平成28年度から世界医学教育連盟の定めるグローバルスタンダードに準拠するために策定された医学教育分野別評価基準日本版に沿ったカリキュラム編成を行っています。基礎医科学、

基礎臨床医学と臨床研修までの一連を学ぶ6年一貫教育を実施。1年次から病棟看護体験実習や人体解剖学、メディカルプロフェッショナリズム教育で高度専門職業人としての意識を醸成します。また、研究する意欲と方法論を身につけるため、医科学研究研修を1年次から取り入れています。研究に興味を持つ学生には、早期にかつ継続して研究に参加する機会を提供します。



謙虚な心と豊かな人間性を育む

医学部は「生命」を学ぶ学部であり、第一に求められるのは人間性です。周囲との協調性や奉仕の精神、幅広い基礎学力と応用能力、医療に従事する覚悟が必要です。生命を尊ぶ謙虚な心と豊かな人間性を育み、社会に貢献できる医師を養成します。



臨床を見据えた効果的な学習

医師としての社会的責任を自覚できるよう、1年次から基礎医科学を取り入れ、臨床を見据えた6年一貫教育を行います。全教員が参加して講義を行い、それぞれの専門領域の基本から最新の動向を効率的に学びます。



周囲と連携し行動する力を養う

臨床において欠かすことのできない多職種連携について、看護学生との合同講義や合同実習を通してコミュニケーション能力と社会性を養い、常に問題を提起し、広く意見を求めて、探究、解決する能力を身につけます。



医学科 カリキュラム

文部科学省のガイドラインに沿って、カリキュラムを効率的に編成。

1年次から医学導入と基礎医科学を並行して学び、医師としての自覚、責任感を醸成します。

また、医学教育分野別評価基準日本版に沿って、講義時間数を減らし、自学・自習と臨床実習の時間を増やします。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次(前期)	4年次(後期)	5年次	6年次	
共通教育科目	入門科目	大学教育入門セミナー						
	基礎教育科目	外国語科目	英語I、英語II、英語III、英語IV					
		保健体育科目	スポーツ健康科学					
	共通教養科目	情報処理基礎科目	情報処理基礎					
		地域コア科目群	地域コアI、地域コアII、地域コアIII					
教養教育科目群	哲学的人間学、芸術学、歴史学、文化人類学、法学(日本国憲法) 医療経済学入門、社会学、教育学、基礎物理I、基礎物理II 基礎化学、教養特別講義、総合教養ゼミナールなど							
専門教育科目	医学英語	医学英語I、医学英語II	医学英語III、医学英語IV		実用医学英語I	実用医学英語II		
	メディカルプロフェッショナリズム	医学入門、健康科学 生命倫理学I、生命倫理学II コミュニケーションとチーム医療I	コミュニケーションとチーム医療II	医の原則 死と法	コミュニケーションとチーム医療III 医療における安全性への配慮と 危機管理		メディプロ総合演習	
	地域医療	地域医療テュートリアル	地域医療学	地域医療学実習 社会と医学・医療I	地域医療学 社会と医学・医療II	社会と医学・医療II		
	基礎医科学	行動科学I、行動科学II 基礎生物学、生命現象の科学 人体解剖学	生体物質の代謝 遺伝情報の維持と発現制御 細胞の基本構造と機能 組織・各臓器の構成、機能 画像解剖総合演習 個体の調節機構とホメオスタシス 中枢神経系の機能と構造 個体の発生、生体と微生物 生体と動物、免疫と生体防御	生体と薬物 原因と病態				
		基礎臨床医学1		血液・造血器・リンパ系 神経系、皮膚系 運動器(筋骨格)系 循環器系、呼吸器系 消化器系、腎臓内科 泌尿器系 女性生殖機能・乳房 内分泌・栄養・代謝系 眼・視覚系、精神系	耳鼻咽喉・口腔系			
	基礎臨床医学2		ライブと放射線	放射線・電磁波の医療応用と防護	遺伝医療・ゲノム医療 感染症、腫瘍 免疫・アレルギー疾患 救急医療・緊急被ばく医療 成長と発達、加齢と老化			
	診療の基本				症候・病態からのアプローチ 基本的診療知識 画像・放射線を用いた診断と治療	基本的診療技能		
	臨床研修					診療参加型臨床実習I	実践臨床病態学 診療参加型臨床実習II	
	医科学研究研修	医療統計学I	医療統計学II	研究室配属 アドバンスト医科学研究コースII				
		研究実践初級コース、研究実践上級コース、アドバンスト医科学研究コースI						

※1年次から4年次のどの学年からでも受講可能

CBT・OSCE

科目紹介

■メディカルプロフェッショナリズム

医師として要求される社会的責任や地域、他職種との連携について1年次から6年次にわたって学びます。医師は社会から何を求められ、どのように応えていくのかをプロフェッショナリズム(専門職業意識)の観点から考察します。

■医科学研究研修

研究実践初級、上級コース(選択)では、医学研究に参加する機会を提供します。アドバンスト医科学研究コースI(選択)では、歴史上のマイルストーンとなった研究論文を深く読み解き、科学的思考法を養います。どちらも1年次から4年次のどの学年からでも受講ができ、医学研究への興味を持った時点で最新の医科学研究を体験できます。さらに3年次の研究室配属(必修)とアドバンスト医科学研究コースII(選択)においても、医学研究に参加する機会を提供し、研究する意欲と方法論を身につけます。

■CBT・OSCE

4年次に行われる共用試験。後期から始まる臨床実習で必要となる知識、技能、態度が身についているかを評価し、合格者はStudent Doctorに認定されます。CBT(Computer Based Testing)では、多肢選択型試験で医学知識の理解度を評価し、OSCE(Objective Structured Clinical Examination)では、実技試験により臨床技能が試されます。

■臨床研修

診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)は、本学独自で開発したICTシステムCESS(Clinical Education Supporting System)※を用いています。これにより、電子カルテの作成を含めたより実践的な臨床能力を、より深く、より楽しく学べます。システム搭載の振り返り機能により、実習での経験と学びをより確実に身につけます。

※P39参照

学びの特色



緊急被ばく医療カリキュラム

2年次から5年次にかけて、社会的に関心の高い「放射線」について系統的に学びます。生物学的な影響、人体に与える影響を始め、医療にどのように応用されているか、医師として被ばく医療にどのように対応するかを学びます。さらに、原発事故時の医療を経験した医師から、その体験・ノウハウを受け継ぎ、原発立地県の大学として、机上の教育から万々に備えての現実的なリスク・コミュニケーション習得までを目指します。



解剖学実習

1年次の6月から解剖学の講義がスタート。10月からは約3カ月にわたり、人体解剖学の実習が行われ、筋肉や臓器などあらゆる部分を自らの手に取って調べ学んでいきます。「人の体を知る」という医学の基本を学ぶことで、医学を志す学生への高い意識付けを目指します。1年次から解剖学実習を履修するのは全国的にも珍しく、福井大学医学部カリキュラムの大きな特徴でもあります。



画像診断教育

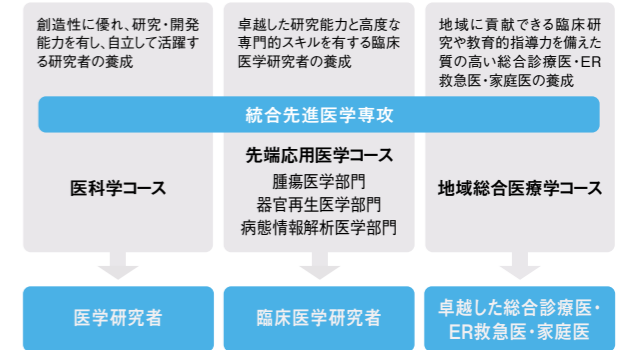
医師は患者の診断に際し、何百枚とある画像の中から小さな病変や病気の可能性を発見しなければなりません。福井大学では「形」から病気を見極める形態学教育に力を入れており、「見つけ出し、考える力」を大切にしています。これらの力を養うためにCTやMRI画像、組織・病理画像などを電子カルテから取り出しデータベース化し、学生たちの臨床診断実習に役立てています。

[大学院] 医学系研究科

医学系研究科 統合先進医学専攻(博士課程)

世界レベルで活躍できる
優れた創造性と研究・開発能力を育む

「医科学」「先端応用医学」「地域総合医療学」の3コースで、高度な知識及び科学的・論理的思考に基づき学びます。独創性・創造性に優れた研究を遂行し、国際的にも活躍できる自立した研究者を育みます。各診療分野で優れた臨床研究能力と先端的で高度な医療技能を備え、高い倫理観と研究マインドを持った臨床医、及び地域に貢献できる臨床研究能力や教育的指導力を備えた質の高い総合診療医、ER救急医、家庭医を養成します。



5大学 大学院連合小児発達学研究所 福井校

平成23年度に開設した「子どものこころの発達研究センター」と附属病院の「子どものこころ診療部」を中心に、大阪大学を基幹校とする「連合小児発達学研究所」に参画し、大阪大学大学院「大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所福井校」を開校しました。「教育」「研究」「診療」を3つの柱として、自閉スペクトラム症など、子どものこころの問題に対して専門的に取り組む体制が整っています。



STUDENT'S VOICE

地域ごとに異なるニーズを くみ取る医療のかたち

安永 聖 さん
医学科 3年次
福井県立藤島高等学校出身

小学生の頃から、自らの手で人の役に立てる外科医に憧れ続けていました。医学部の入試で「地域医療」というキーワードと出逢ってからは、もうひとつ、地域の役に立てる医師像についても考えています。

3年次になって、基礎医学で学んだ知識を実務につなげる臨床科目が始まり、夏には一泊二日の地域医療実習に行きました。実際に足を運んで分かったのは、その地域には病院にかかることへの抵抗が大きい人が多いこと。地域の人々との関わりを通して意識を変えていくのも地域医療の一環だと気付いたのは、大きな発見でした。医師としてのキャリア形成とどう両立させるかは、これからの課題になるでしょう。外科医として腕を磨きつつ、地域ニーズも満たせる医師になるのが、私の今の目標です。

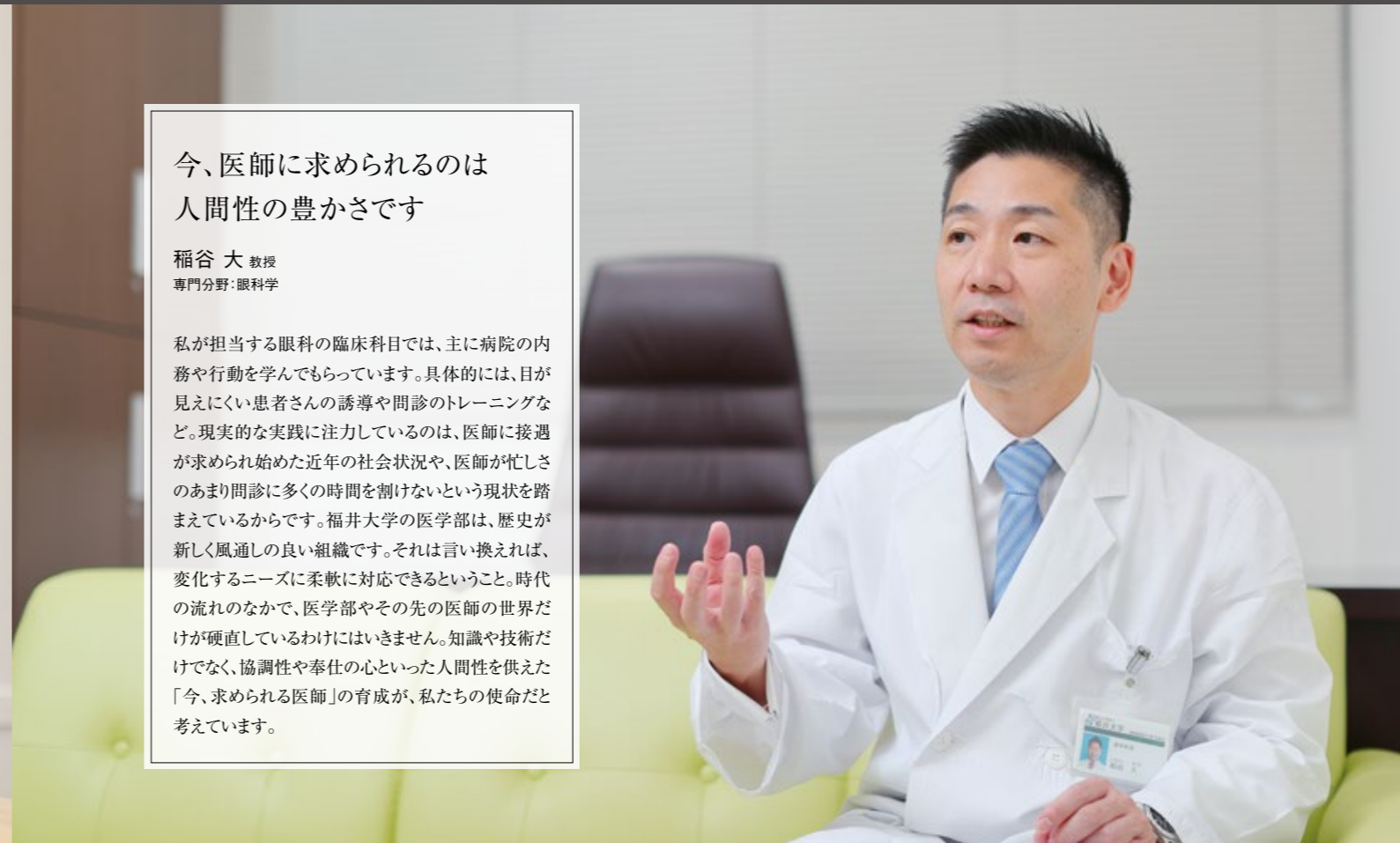


PROFESSOR'S VOICE

今、医師に求められるのは 人間性の豊かさです

稲谷 大 教授
専門分野:眼科学

私が担当する眼科の臨床科目では、主に病院の内務や行動を学んでもらっています。具体的には、目が見えにくい患者さんの誘導や問診のトレーニングなど。現実的な実践に注力しているのは、医師に接遇が求められ始めた近年の社会状況や、医師が忙しさのあまり問診に多くの時間を割けないという現状を踏まえているからです。福井大学の医学部は、歴史が新しく風通しの良い組織です。それは言い換えれば、変化するニーズに柔軟に対応できるということ。時代の流れのなかで、医学部やその先の医師の世界だけが硬直しているわけにはいきません。知識や技術だけでなく、協調性や奉仕の心といった人間性を供えた「今、求められる医師」の育成が、私たちの使命だと考えています。



看護学科

多様化する社会のニーズに応える専門的な看護力を

自らの資質向上を目指し、学び続けるために必要な基礎的能力と、多様化する社会のニーズに応えるための専門的な看護力と実践力を養成します。地域への理解を深め、「臨床」と「地域」の多職種連携によるチーム医療において看護実践能力を発揮するため、効率的かつ充実したカリキュラム

を編成しています。大学教育入門セミナーでは、高校から大学での学びの変化を学習し、社会人としてのマナーも学びます。また、看護師や保健師、助産師として社会へ出た後もスペシャリストとして学び続け、高度で実践的な看護能力を身につけるための基礎教育を強化しています。



多彩な教員陣と多様なカリキュラム

医学科を加えた多彩な教員陣が講義や実習を展開し、学生がそれぞれに目指す看護職像を明確にできる多様なカリキュラムとなっています。実習機関である附属病院では最新の医療について、経験豊富な現場スタッフから学ぶことができます。



成長し続けるための基礎的能力の育成

看護の本質を踏まえ、コミュニケーションの取り方や看護の展開方法など基本的な技術を学びます。また、学年主任、アドバイザー教員と上級生が小グループを編成し、大学での学びを支え、今後、社会に出てからも学び続ける基礎力を養います。



様々なフィールドで活躍する

病院の主力を担う存在として、また企業や地域においては従業員や住民の健康管理の担い手として、様々な役割が求められています。卒業後は、看護師、保健師、助産師として多様なフィールドでの活躍が期待されています。

看護学科 カリキュラム

地域への理解を深め、臨床において必要な看護実践能力を効率的に身につけることができるカリキュラムを編成。チーム医療を見据え、講義、実習においては医学科との共修を実施しています。患者の機能障害別に急性期から回復期、慢性期へと一連の流れの中で患者理解を図れるカリキュラムとなっています。また、社会のニーズに応え、高度実践看護の基礎教育の強化を図るため、「災害看護学」「がん看護学」を学びます。海外での学びを支える、専門的な「看護英語」を学ぶこともできます。

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
共通教育科目	入門科目	大学教育入門セミナー			
	外国語科目	英語I、英語II、英語III、英語IV			
	保健体育科目	スポーツ健康科学			
	情報処理基礎科目	情報処理基礎			
	地域コア科目群	地域コアI・II・III			
教養教育科目群	哲学的人間学、芸術学、法学(日本国憲法)、医療経済学入門、社会学、教育学 教養特別講義、基礎物理I、基礎物理II、基礎化学など				
専門基礎科目	健康科学	健康科学論、生命化学、形態機能論I・II・実習 生体反応論I・II・実習、生命倫理学I・II 行動科学など	健康管理論、薬理作用論、疾病論I・II 臨床栄養学	心理測定論	
	保健統計	統計学		疫学、保健統計論	
	環境保健		環境科学論、保健医療福祉論		
専門科目	基盤看護	キャリア開発入門、看護学概論 日常生活援助論、療養生活援助論	キャリア開発方法、看護過程論 看護コミュニケーション論、看護英語Iなど	看護管理、看護倫理、看護英語II キャリア開発とプロフェッショナリズム	
	生涯発達看護	ライフサイクル論I・II	ライフサイクルとセクシュアリティ 老年看護実践方法論 育成看護実践方法論など	助産学概論 助産管理、助産診断・技術学、助産学実践方法論	
	健康障害時の看護		急性期・回復期看護実践方法論 メンタルヘルス看護実践方法論 看護実践総合演習、がん看護学など		
	看護と社会	ふくい看護論I・II	ふくい在宅看護論、公衆衛生看護学概論	災害看護学、がん看護学、 公衆衛生看護学概論I・II、 公衆衛生看護管理論、国際保健論など	ふくい看護論III
	臨地実習	日常生活ケア実習	看護展開実習	継続看護学実習、成熟期看護学実習I・II 高齢者看護学実習、小児看護学実習 母性看護学実習、精神看護学実習 在宅看護学実習	マネジメント看護学実習 公衆衛生看護学実習 助産学実習 地域ケア実習、キャリアアップ実習
	看護学研究	リサーチマインド	看護学研究概論		看護学研究実践論

科目紹介

■大学教育入門セミナー

高校までの「覚える」学習から、自ら学ぶ意欲や疑問を持つ「考える」学習への転換を目的に、演習やグループワークを通して看護職に就くことへの心構えを持ち、主体的に取り組むことを目指します。

■ふくい看護論

地域の文化やライフスタイルの特色と課題を知り、それを踏まえた看護のあり方を学ぶ科目です。1年次に「ふくい看護論I・II」が、4年次に「ふくい看護論III」が配当され、異なる学年が同じ地域に入って実習することで、上級生が下級生を指導する「屋根瓦方式」の教育です。

■臨地実習

附属病院や県内各病院、診療所、地域の施設などで臨地実習を行います。実際に患者さんを受け持ち、看護師の仕事に間近に見ることで看護ケアに必要なスキルと心を養います。また実習を通して看護理論への理解を深め、チームの一員として連携・協働する能力を身につけます。

学びの特色



英国研修

英国では看護師の職域が広く、薬剤の処方や麻酔導入、挿管など、看護師が独自の判断で行えます。英国研修では、提携校のレスター大学やバーミンガム市立大学で講義を受講するとともに、特色あるいくつかの病院で看護師たちの活躍ぶりを見学、インタビューも行います。日本でも今後、増えていくと予想される専門看護師の先進事例も学べます。実習中は専門分野に関する積極的な発言やヒアリングが求められるため、「看護英語」の履修が前提です。



助産師課程〔選択制〕

国家試験受験に必要な学習を1年次から行い、4年次では専門科目を講義・演習・実習で学びます。病院や助産所で行う助産学実習では、リスクのない妊婦の分娩介助を10例ほど実施。命の誕生を体験します。また1組の夫婦の妊娠後期から産褥期に関わり、安心、満足できる出産のためのバースプランづくりに取り組む実習も行っています。



保健師課程〔選択制〕

グループワーク、地域に実際に赴くフィールドワーク、発表会など学生主体の授業を幅広く行っています。特に3年次からの公衆衛生看護学実習は大きな特徴で、保健所や保健センターなどで、地域の抱える健康問題について事業計画を立て、地域ケアシステムについて行政にプレゼンテーションするなど、健康政策の現場で役立つ思考力や判断力を養います。

〔大学院〕 医学系研究科

看護学専攻(修士課程)

看護学の基盤となる幅広い知識と技術の修得と実践、研究能力を育む

幅広く高度な看護理論、技術を持ち、看護職のリーダーとなる人材や、指導的役割を担う優れた教育・研究者、および国際社会に貢献できる人材を育成します。看護大学卒業生、および3年以上の経験を持つ看護師・保健師・助産師を対象に、専門看護師(CNS: Certified Nurse Specialist)の教育課程を選択することのできる「災害看護学」コース、「がん看護学」コース、「老年看護学」コースも設置しています。



長期履修制度

個人の事情に応じて柔軟に修業年限を超えて履修し学位等を取得する

本学医学系研究科看護学専攻(修士課程)に入学しようとする者で、職業を有しているなどの事情により標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修することができる制度です。

看護学専攻 主なカリキュラム



STUDENT'S VOICE

災害看護を詳しく学ぶのがとても楽しみです

高島 里奈 さん
看護学科 2年次
福井県立高志高等学校出身

小さな頃から医療には興味がありました。その興味が具体的な進路になったのは、熊本地震での友人の被災がきっかけです。当時の自分にできたのは募金活動くらいで、直接被災地で人の役に立てないことが悔しくてたまりませんでした。またどこかで災害があったときは、真っ先に駆けつけて災害看護を提供できる看護師になろうと決めたのです。福井大学には、災害看護を専門とする先生がいらっしゃるの、ぜひ詳しく教えていただきたいと思い入学しました。3年次には先生の授業が始まるので、すごく楽しみにしています。2年次の今は、徐々に授業内容が難しくなり、課題も増えて、上手いかず悩むことも多くなりました。けれども、仲間と切磋琢磨しながら充実した毎日を過ごしています。



PROFESSOR'S VOICE

答えを出すまで、安心して考え続けられる学びの場

四谷 淳子 教授
専門分野: 成人・老年看護学

私は高齢者看護の現場で15年間勤務していました。実務の経験を踏まえて、いつも学生には「患者さんの視点・立場で考えること」が大切だと教えています。考えるためには、自分が一度患者さんになりきって、どんな看護を受けたいかをイメージする必要があります。患者さんは十人十色ですから、看護に決まった答えはありません。色々な知識を習得した上で、それらをフルに働かせて最適解を探すのは、正直、大変なことだと思います。ですが福井大学には、附属病院での先輩看護師と連携した実習や、教員が学生を様々な面で密にサポートする体制も整っています。考えることを繰り返した末、患者さんから「ありがとう」のひと言をもらった時は、きっと、ひとり周り成長した自分に気付くはずですよ。



地域に深く入り、実践的に学ぶ「チーム医療」 —地域ケア実習—



社会的ニーズが高まっている多職種連携の在宅医療を担う看護師を養成する教育を充実させるため、プライマリケア、地域医療を実践している施設で医学科生と共修で実習を行います。学生時代から学科を超えてともに学ぶことで「チーム医療」に対する意識を養います。

患者を通して病気を診る大切さ 地域医療の現場で視点と人間力を育成

高浜町国民健康保険和田診療所では、福井大学医学部の協力施設として多くの医学生、看護学生が実習を行っています。高浜町で地域医療の実践と研究を進める井階友貴教授は、「悪い部分を検査で突き詰めて治療する附属病院とは違い、診療所では患者や家族の背景など、生活全体を広く見渡して診察することが重要。その力を養成しています」と言います。医学科の大島慎太郎さんは「ここでは、看護師や介護士、ケアマネージャーなど多職種の方が連携し、患者さんをケアします。見習いの僕もチームの一員として受け入れてもらっています」と話し、看護学科の橋口智香さんは「患者さんのバックグラウンドを理解することがとても大事。看護師にできることは、想像していたよりもたくさんありました」と振り返ります。医療者としての広い視点とチーム医療に不可欠な人間力が育まれています。



臨床実習ICT「CESS」^{セ ス}

医師免許取得前から医療チームの一員として診療に参加し、現場実習を重ねることを目的として開発した大学独自のICTシステム「CESS」。学生用電子カルテと連動し、患者さんを診察して本番用カルテさながらにその所見を記載する訓練が可能です。システム上で指導医と「LINE」感覚でやりとりができるため、日々の疑問点や質問を提示し、速やかに解消することができます。

※Clinical Education Supporting System



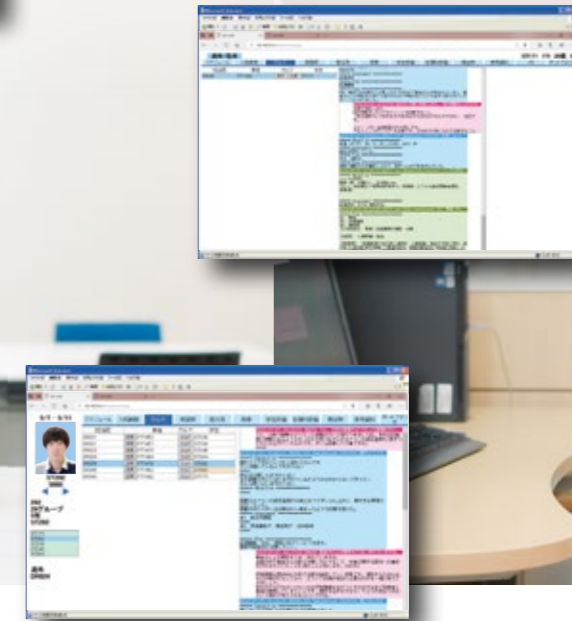
LINE感覚で、カルテのトレーニング。

山岸 和樹 さん
医学科 5年次
福井県立武生高等学校出身

リ シ ン
李 心 先生
医学部医学科 2008年卒業
CESS指導教員・福井大学医学部附属病院 内科学(1) 医員

「CESS」は、電子カルテの操作に教員と学生のコミュニケーション機能を付加した本学独自の教育システム。本物の電子カルテと学生用の仮想電子カルテを扱え、学生は自分で患者さんを診察して仮想カルテに書き込み、それを指導医がチェックする、という流れです。李心先生は「実は、カルテの書き方って、とくに習わないんです。国家試験にもカルテの書き方は出題されません。だから、研修医も、はじめはほんとに書けないんです。それでは困りますよね。だから、このシステムが導入されてほんとに良かったと思います」とアピール。コミュニケーション機能は、い

わばLINEのような仕組み。学生からの質問や教員のコメントは、それぞれが時間のあるときに書き込むことができます。山岸さんは「これがないと、まず電話から始まりますよね。先生、今ここにいらっしゃいますか？ お忙しいですか？ って。先生はたいてい忙しいし、こちらとしても恐縮してしまいます。このシステムだと、先生が時間のあるときにじっくり見てもらえるし、履歴が残るので、後から復習することもできます」と使いこなしています。2週間ほどの実習期間で、カルテの書き方は格段に上達したようです。



将来を見据えた学び

看護キャリアアップセンター

高度化、専門化する看護ニーズに応え より質の高いケアができる人材を育成

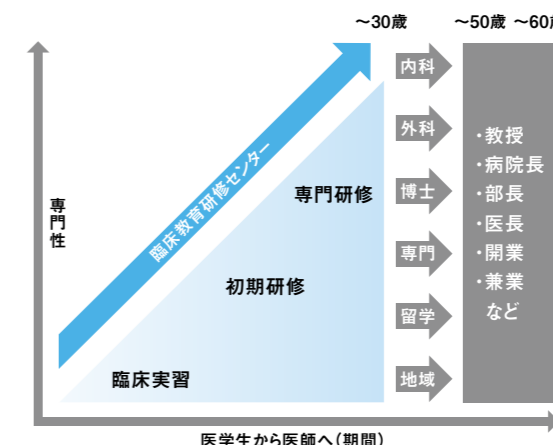
変動する社会環境の中で、高度に専門化する医療・看護の社会的ニーズに応え、より質の高い看護ケアを提供するため、看護職のキャリアアップ支援に向けた教育を目指しています。看護師の生涯学習支援と看護実践能力の開発を目的とした「人材育成担当」、高度化、専門分化する現場に必要な熟練した看護知識・技術の提供を目的とした「認定看護師担当」の2部門体制でそれぞれ教育を行っています。



臨床教育研修センター

シームレスな研修制度による 専門医師の養成・育成

卒後臨床研修の円滑な実施を図るために、病院内に臨床教育研修センターが設置されています。医師としての専門性を高めながら、医学科生、初期臨床研修医、専攻医、専門医というプロセスを無駄なく、切れ目なく実現します。さらに本学卒業生の勤務実績がある全国70余りの病院施設と連携施設ネットワークを構築し、より多くの症例が経験できる体制も整えています。



附属病院

最先端の医療を提供し地域医療の充実と優れた人材育成への貢献を目指す

附属病院は600床を有し、28の診療科、4つの中央診療施設、12の特殊診療施設、9の部・センターからなる県内唯一の特定機能病院です。併設する高エネルギー医学研究センターとともに、一般の医療機関では実施することが難しい専門的な診療や先進医療について、研究・実践しています。また、基本理念である「最高・最新の医療を安心と信頼の下で」を実現するために、平成22年度に開始した病院再整備事業が平成30年4月末に完了しました。今後、より一層の地域医療の充実と優れた人材育成への貢献を目指します。



福井メディカルシミュレーションセンター

地域・在宅医療から先進医療まで 様々な医療ニーズに対応できる医療者を養成

臨床教育研修センターに併設した「福井メディカルシミュレーションセンター」では、最新のシミュレーターを用い、地域・在宅医療から先進医療まで様々な医療ニーズに対応できる医療者を養成しています。各種シミュレーターを活用して、大学病院としての高度先進医療を繰り返し学ぶことができ、かつ地域の病院として在宅医療を学ぶことも可能です。多職種が連携したトレーニングを行うことができます。



気道確保のトレーニング

地域医療を支える救急総合医、看護師の育成

地域医療のリーダーを育て 積極的な全国発信で人材育成に貢献

全国に先駆けて、救急部と総合診療部を一体化し、一次救急から三次救急まで全ての救急患者を受け入れる北米型(ER型)救急体制を平成12年に導入しました。救急部では初期臨床研修医や看護師が実践的な教育を受けることができ、研修医の場合、子どもから老人まで、精神疾患から外傷まで、軽症から重症まで多種多様な患者さんの診療に当たること、総合的な診断力を養えます。また、消防、警察、行政などさまざまな職種の人たちとも連携するため、医療の知識や技術だけでなく社会性を培う訓練にもなり、人間としての成熟が促されます。実践的な研修を積んだ医師や看護師が各医療機関で活躍すれば、地域の救急医療体制も自ずと充実します。

パートナーシップ・ナースィング・システム(PNS)による看護体制

安全で質の高い 看護と看護師教育のために

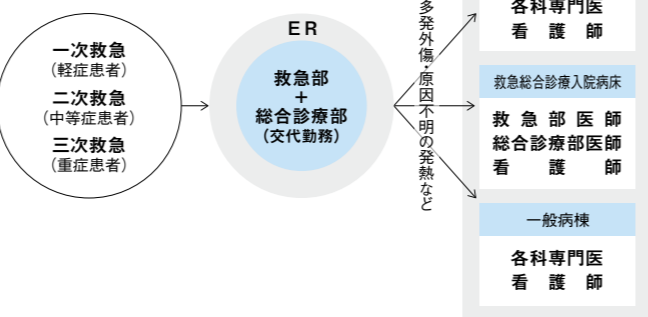


附属病院では、本院看護部職員が自ら開発した最新の看護方式「パートナーシップ・ナースィング・システム(PNS)」を平成21年度にスタートしました。副看護部長を中心としたグループを構成し、パートナーとなった看護師同士が対等な立場で相互に補完・協力し合い、質の高い看護を患者さんに提供しています。その成果と責任をチームで共有することにより、「気づく力と自覚性」「迅速・適切」「看護品質の維持・管理」の追求を、「協働」「強い組織づくり」「やりがい」につなげ、「人にやさしい看護」「パートナーを思いやる心」を育てています。



2人1組での看護体制

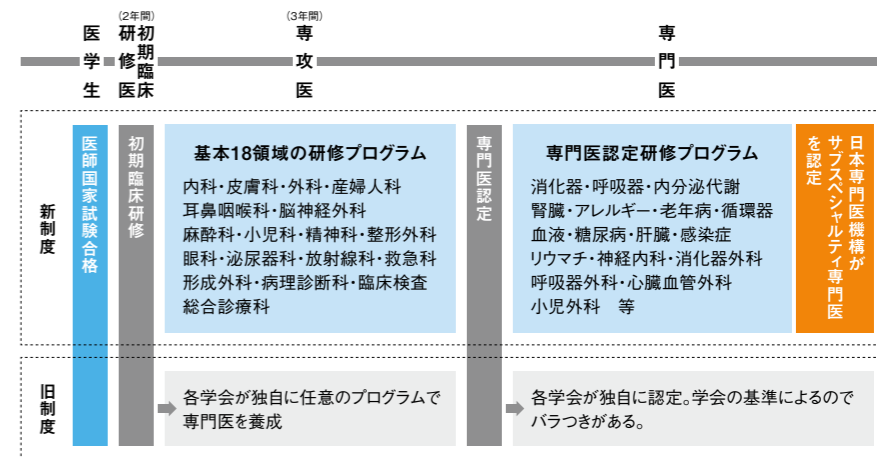
福井大学医学部附属病院 救急体制



専門研修プログラム

新専門医制度 (2018年度より導入) 専門研修プログラムを展開

新専門医制度では、2年間の初期臨床研修のあと、基本19領域からひとつ選択し、専攻医として基幹施設で3年程度、日本専門医機構が認定した専門研修プログラムを受けます。福井大学では基本領域のうち、リハビリテーション科を除く18領域の研修プログラムを提供。修了後に基本領域専門医の認定を受け、引き続き基本領域から分化した23のサブスペシャリティ領域の中から、専門医認定研修プログラムに基づいた研修を受け、サブスペシャリティ専門医を目指すこととなります。



附属病院、ここがいい!

医師を教える、育てる そんな意識が根付いた環境です



ソ ウォンソク
徐 元錫 さん
研修医
滋賀県立膳所高等学校出身

良かったと思うのは、大学の附属病院だけあって教育熱心な先生がたくさんいらっしゃることで、病棟管理など、重要な仕事にチャレンジさせてもらえるし、しっかりフォローもしてもらえます。医師として大切なのは、自分の責任で考え、判断すること。患者さんにとっては、研修医も「お医者さん」ですから。その心構えを、附属病院の“教育的環境”の中で学んでいます。

PNS*でスキルを高め 必要とされる看護師を目指します



丹羽 昭乃 さん
看護師
福井県立藤島高等学校出身

附属病院看護部では、2人の看護師がパートナーとなって仕事に当たるPNSを導入しています。仕事の負担軽減になるだけでなく、1+1=2+αの、質の高い看護が実践できます。私は学生時代に被災地での活動を行っていたのですが、現在も、職場の理解もあって活動を継続できています。救急看護の研修も受け、さらにスキルを高めて、患者さんにも、被災地の方にも、必要とされる看護師でありたいと思います。

*P40参照

医療職を目指す高校生のための 外科手術体験セミナー

高校生が最先端の外科医療を体験し、医療への関心や理解を深めるための試みとして、平成19年度から毎年開催しています。最新の内視鏡外科手術シミュレーター操作による胆嚢摘出の模擬手術や超音波凝固切開装置(超音波メス)による鶏肉の切開など7種類のプログラムがあります。指導にあたる医療従事者にとっても、初心に帰り、知識や技術を体系的に教えることの大切さを再確認する貴重な場となっています。



超音波メスの切開体験



トレーニングボックスでの鉗子(かんし)操作体験

工学部

School of Engineering

私たちの豊かな暮らしを創造する

豊かな暮らしを支える科学技術の基礎となる工学

安全・安心な社会の実現に向けて「モノ・コト・ヒト」の創造を進めます
世界と協働し、夢を実現する高度専門技術者を育成し
地域と世界の発展に貢献します

入学者受入の方針

Admission Policy

1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

工学は、人間社会の持続的発展を可能にするための学問体系です。工学部では、基礎的な知識・教養と高度な専門能力に加えて、創造力、評価力、自己学習力およびコミュニケーション能力を併せた総合能力を持つ技術者・研究者を養成します。また、地域社会と国際社会の豊かな発展に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元します。

2. 求める学生像

- ①基礎学力があり、チャレンジ精神にあふれる人
- ②科学技術を通して国際社会で活躍したい人

教育課程の編成・実施の方針

Curriculum Policy

専門的知識・能力に加え、工学で求められる総合力と資質を有する高度専門技術者を育成するため、以下の方針に沿って教育を行います。

- ①工学の基礎となる数学や自然科学にかかわる知識を身に付けさせる。
- ②工学の各分野における専門的知識・能力を身に付けさせる。
- ③多様な学問分野にかかわる幅広い視野を獲得させる。
- ④創造力、自己学習力、問題解決能力、およびコミュニケーション能力を併せた総合力を身に付けさせる。
- ⑤技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解させる。

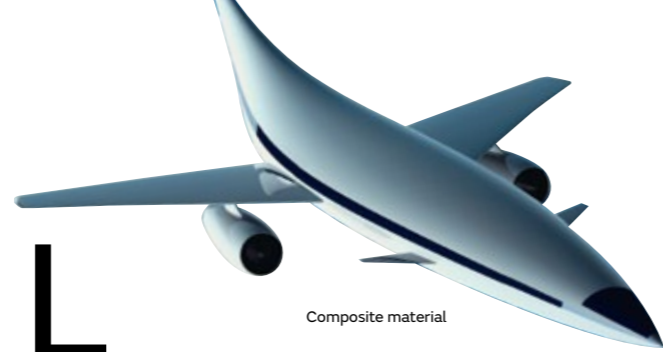
学位授与の方針

Diploma Policy

工学部では以下のような卒業生を社会に送り出します。

- ①基礎的な知識・教養、および専門的知識・能力を有している。
- ②創造力、自己学習力、問題解決能力、およびコミュニケーション能力を有している。
- ③高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

世界で夢をかたちにする技術者



Composite material

GLOBAL IMAGINEER

5 学科

分野横断型の学び柔軟で幅広い視野を持った
グローバルイマジニア®へ

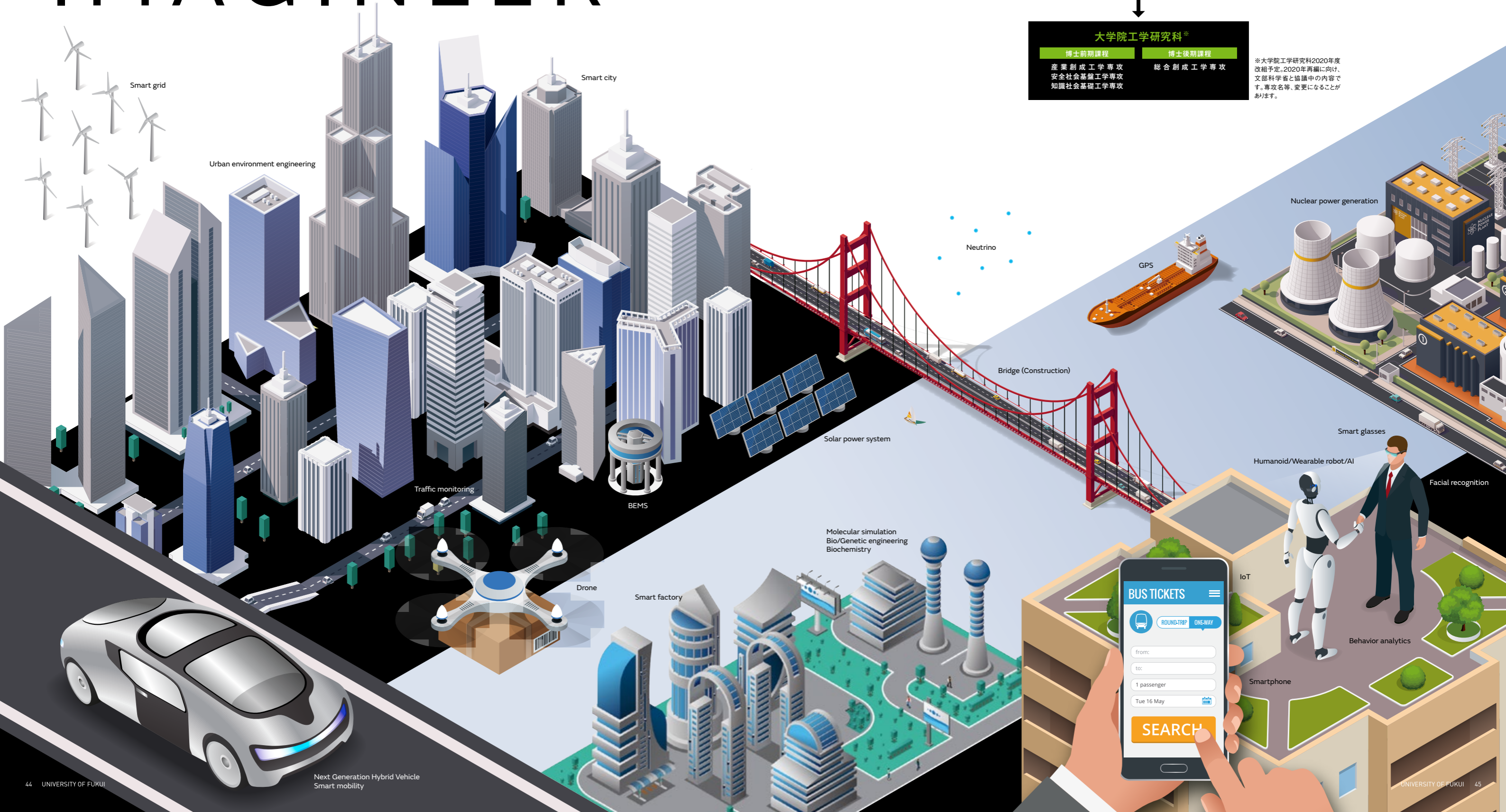
※心に夢を描き (Imagine) かたちにできる技術者 (Engineer) を「GLOBAL IMAGINEER」という言葉で表現しています。

<p>機械・システム工学科 安全・安心な社会の創造および革新的ものづくりに貢献できる技術者</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械工学コース ロボティクスコース 原子力安全工学コース 	<p>電気電子情報工学科 持続可能な低炭素社会や安全・安心な情報社会という未来社会の基盤を築く技術者</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子物性工学コース 電気通信システム工学コース 情報工学コース 	<p>建築・都市環境工学科 安全・安心な社会生活の実現に貢献する実践力のある技術者</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築学コース 都市環境工学コース 	<p>物質・生命化学科 安全・安心で持続可能な社会の創造に貢献する実践的の化学系技術者</p> <ul style="list-style-type: none"> 繊維・機能性材料工学コース 物質化学コース バイオ・応用医学コース 	<p>応用物理学科 物理の世界を探索し、次世代の技術発展へとつなげる技術者</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然科学の基礎を学び、工学への応用を考えます。 物理学を中心に広範な自然科学分野を扱います。
---	---	--	--	--

大学院工学研究科*

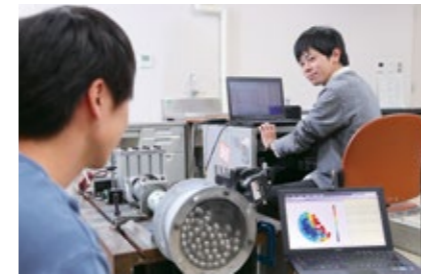
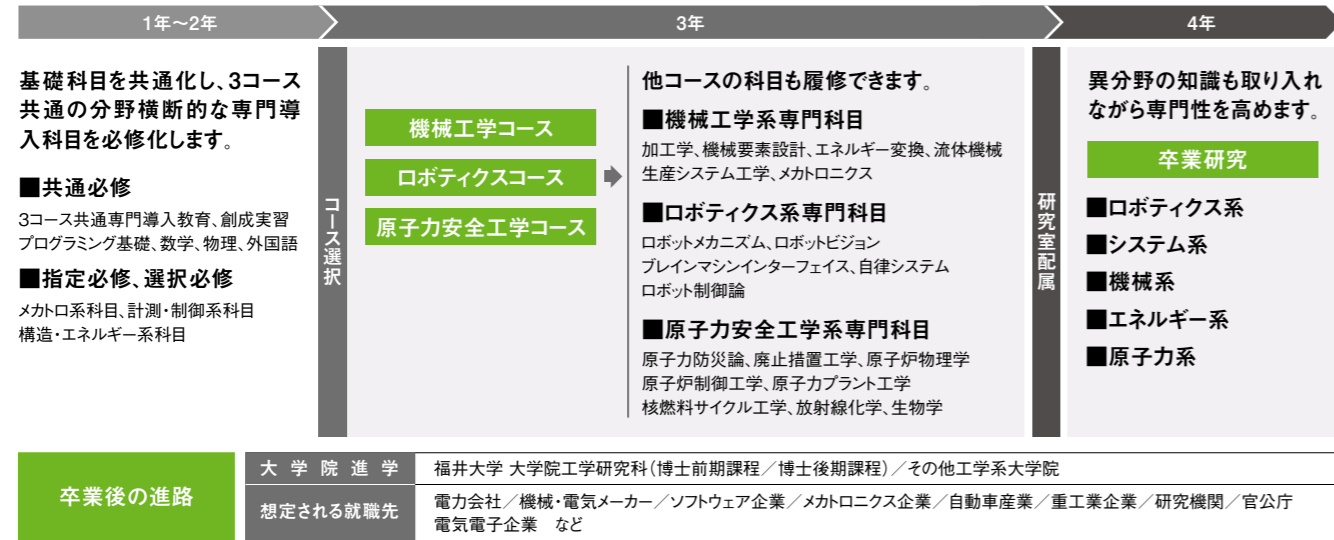
<p>博士前期課程</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業創成工学専攻 安全社会基盤工学専攻 知識社会基礎工学専攻 	<p>博士後期課程</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合創成工学専攻
--	--

※大学院工学研究科2020年度改組予定、2020年再編に向け、文部科学省と協議中の内容です。専攻名等、変更になることがあります。



機械・システム工学科

未来の暮らしを創造する機械・システムの領域は、高度化、知能化、精密化が進み、多種多様な分野の融合で技術革新が続いています。機械工学を中心にエネルギー、材料物性、ロボット、人工知能(AI)まで含めた計算機科学など、幅広い分野を横断した専門知識を身につけ、安全・安心な社会を持続的に構築できる人材を育成します。また、3年次からは「原子力安全工学コース」にて原子力工学を学ぶこともできます。



機械工学コース

環境と調和した社会を実現するために、ものづくりのキーテクノロジーにハードとソフトの両面からアプローチします。

- 「材料」「設計加工」「熱・流体システム」「計測制御」を幅広い基礎から学習



ロボティクスコース

人工知能(AI)やヒューマノイド・ロボットを創り出す人材を育成します。

- 機械・電子・情報などの基礎から応用までを統合した未来志向の「ロボット学」
- コンピュータ演習や「ロボット工房」で技術を磨き、最先端のソフトやハードを研究



原子力安全工学コース

原子力技術にとどまらず幅広い工学分野に適用できる知識が身につきます。

- 原子力エネルギーと放射線の基礎を学習
- 県内の原子力施設を活用し、安全・安心に基づく基礎研究(3年次～敦賀キャンパス)

TOPIC ロボティクスを実践で試す「マイクロマウス大会」

未知の迷路内を、ロボットが自律走行してゴールを目指すマイクロマウス大会は、1977年にIEEE(米国電気電子学会)が提唱して始まった歴史ある世界的なロボット競技会。本学からは機械・システム工学科ロボティクスコースの面々が結成したサークル「からくり工房I.Sys」が参戦しています。モータの性能を限界まで引き出す技術、最短経路を導出するアルゴリズムなど、小さなマイクロマウスは、実は先端技術の塊。競技会という闘いの場で、日頃の研究成果を存分に発揮できます。



WELCOME TO OUR LABORATORY

原子炉物理学研究室

原子炉の解析からロケットまで 研究テーマは無限に広がっている

ファン・ローイエン・ウィレム 准教授
専門分野: 原子炉物理学

JAEA(日本原子力研究開発機構)の特別研究員として来日したのは10年ほど前。その後、福井大学附属国際原子力工学研究所に籍を移して、原子炉物理学の研究を続けています。研究テーマは3つ。1つは原子炉の運転に必要なシミュレーションと解析。そのための新しい計算手法の開発です。2つ目は、長寿命な放射性廃棄物を処理するための高速炉の研究。この2つは、原子力発電が存在する限り避けて通れない重要な研究です。3つ目は、もうちょっと夢のある研究、宇宙の原子炉について。現在のロケット技術では、火星への有人飛行は困難だと言われています。原子力ロケット(NTR)には、この難題を解決する可能性があります。原子力は、人類がかつて手にしたことの無い巨大なエネルギーですが、我々はまだそのほんの一部しか扱っていません。研究すべきテーマは、無限に広がっています。

国際的な雰囲気の中で 高いモチベーションをもって学ぶ

堀田 理穂 さん
大学院工学研究科 博士前期課程 2年
敦賀気比高等学校出身

原子炉は簡単に作ったり壊したりできないので、その中でどんなことが起きているかを知るためには、正確なシミュレーションが必要になります。でも、完全な幾何学図形が現実には存在しないように、シミュレーションと現実の原子炉の間には、ずれがあります。このずれを修正し、よりリアルなシミュレーションを可能にする計算コードを探るのが、私の研究です。昨年、ローイエン先生の母校であるオランダのデルフト工科大学に留学し、数値解析の専門家と問題を検討することで、研究を大きく進めることができました。私が所属する附属国際原子力工学研究所も、その名の通り国際的な研究所で、院生の3分の1は留学生。世界中から原子力を学びに来ているモチベーションの高い仲間たちの存在は、私にとっても大きな刺激になっています。

電気電子情報工学科

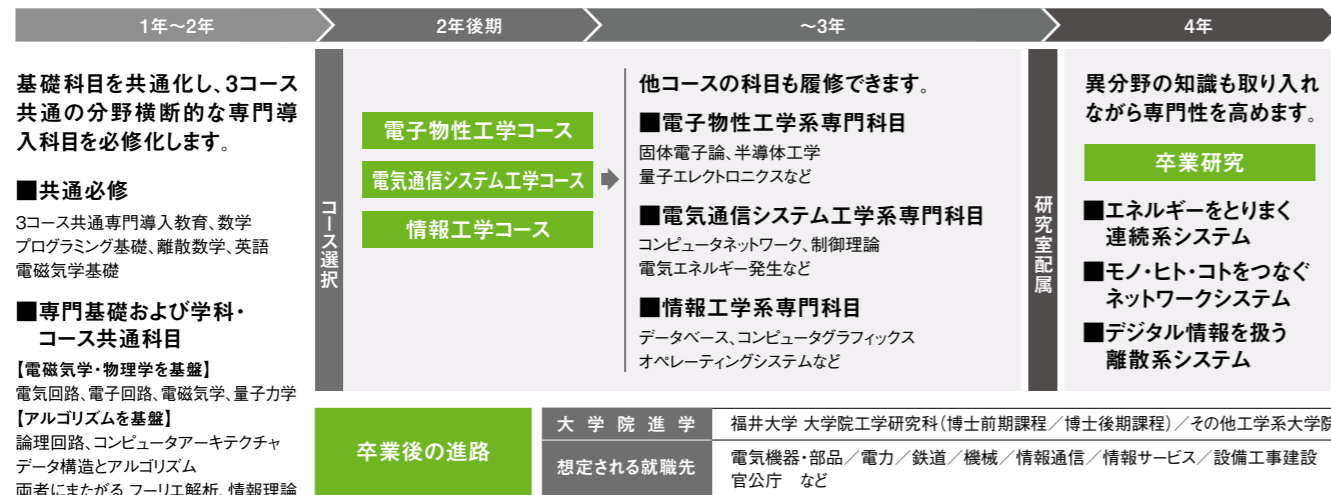
電気工学に始まり、歴史とともに分化・発展してきた通信工学、半導体工学に計算機工学、情報工学、通信工学。

本学科は、進歩し続ける分野をカバーし、サイバー空間でモノ・コト・ヒトがネットワーク化される

「第4次産業革命」をけん引する先駆的な研究者・技術者を養成します。

安全・安心な社会を創造するための「電気・通信設備、情報セキュリティ技術」、持続可能な低炭素社会を実現するための

「デバイス技術、制御・伝送システム」などを体系的に学ぶことで、分野横断的な技術力と高い専門性を身につけることができます。



電子物性工学コース

電磁気学や物理学を基盤とした研究を行います。

- 量子エレクトロニクス、固体電子論、半導体工学
- 先進的な電子材料・デバイス、量子エレクトロニクス、光エレクトロニクス分野



電気通信システム工学コース

電気回路や数理物理学を基盤とした研究を行います。

- 情報通信工学、システム制御工学
- エネルギー変換に関する新材料・デバイス開発
- 自然エネルギー利用による電力系統の高効率なネットワーク構築



情報工学コース

アルゴリズムを基盤とした「情報工学」と「メディア工学」を横断して学び、研究を行います。

- 情報・通信に関するハードウェアならびに基本ソフトウェア
- コンピュータグラフィックスやデータベースなどの応用ソフトウェア
- 映像・音声などのマルチメディア情報処理

TOPIC 卓越大学院「PEP育成プログラム」

「卓越大学院プログラム」は、博士課程(前期・後期)の学生に向けた5年一貫のプログラム。早稲田大学をはじめとした国内13大学が連携する「PEP(パワー・エネルギー・プロフェッショナル)育成プログラム」に本学も参加しています。このプログラムは単一大学では難しい質の高い教育環境を整備、学びの場を海外の研究機関やエネルギー関連企業にも広げ、Society5.0社会における電力・エネルギー分野をけん引する人材を育成します。

教育研究プラットフォームを世界最大規模の連携で構築

<p>【国内大学】 早稲田大学/北海道大学/東北大学/山梨大学/福井大学/首都大学東京 横浜国立大学/名古屋大学/大阪大学/広島大学/徳島大学/九州大学/琉球大学</p>
<p>【海外大学】 デネシー大学(ノックスビル校)/ワシントン大学/ミュンヘン工科大学/シカゴ大学/清華大学 チュロンコン大学 ほか</p>
<p>【企業・研究機関】 米国電力研究所/電力中央研究所/産業技術総合研究所(福島再生可能エネルギー研究所) パワーアカデミー(国内10電力会社ほか)/JXTGエネルギー/東京ガス/大阪ガス ほか</p>

WELCOME TO OUR LABORATORY

計測制御研究室

最適解を導き出すのは 神業ではなく論理の力

山本 陽斗 さん
大学院工学研究科 博士前期課程 1年
石川県立小松高等学校出身

「経営の神様」みたいな人がいて、その人が指揮を執ると生産現場の問題も流通の問題もたちどころに解決、業績がぐんぐん伸びた、みたいな話、よくありますよね。「それってほんとに神業なのか?」「理論的に導き出せる最適解があるんじゃないのか?」そんな観点から、混合整数計画法による生産計画最適化の問題に取り組んでいます。このように変数がたくさんある問題では、どれくらいスマートなアルゴリズムに到達できるかが鍵になります。入学当初は、電気電子情報工学科だから半導体のことか、やるんだろうと思っていたんですが、小原先生の講義がきっかけで、こんな分野の研究もあるのか、と興味を持ちました。修了後は、たとえば電力会社などで、ブラックアウトを起こさない電力マネジメントの仕事ができれば、と思っています。

世の中の森羅万象から 工学的問題を探し出す

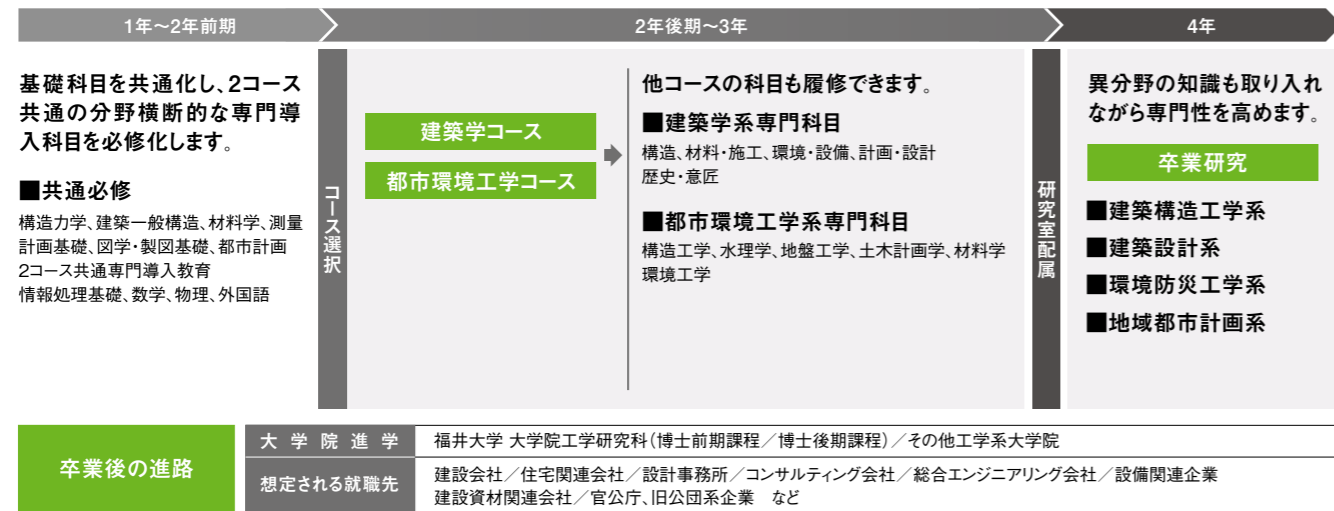
小原 敦美 教授
専門分野:システム制御、最適化

たとえば、学生諸君が配属される研究室を決定するとき、どうすればその満足度の総和が最大になるか。ある工場を運営する際に、コストの最小化と利益の最大化をどこでバランスさせるのか。このような問題を「最適化問題」といいます。一見すると、社会学や経営学のテーマのように思えるかもしれませんが、「制御」のアルゴリズムにも関わる問題であり、もつといえは工学とは最適性を追究する学問ともいえます。世の中のさまざまな事象の中から新しい工学的問題を探り出し、それをうまくモデリングし、数理的に定式化するのは、「問題探し」というのは、狩猟のようなものとも感じています。自由な発想で「面白い」と思える問題を探してください。そして、それを数理の言葉で記述するトレーニングを積んでください。そのような「積極的」な探求を、応援したいと思います。

建築・都市環境工学科

東日本大震災からの復興、続発する豪雨などの自然災害、社会インフラの老朽化、人口構造の変化など社会が直面している課題を踏まえ、地球環境や社会の変化による新たなニーズに柔軟、適切に対応した教育・研究を進めます。

「安全・安心なインフラとまちづくり」、「快適に住み続けられる地域社会の創生」を基本に建築と土木の専門性に根ざして、社会基盤の維持管理と保全、国土の強靱化、建築デザインやまちづくりなど新しい価値の創造、少子高齢社会への対応、環境調和型の住空間の構築を学びます。



建築学コース

生活空間を構築するための関連分野の専門知識を習得し、建築計画・設計・施工・維持・管理技術を学びます。

- 建築学と構造
- 材料・施工
- 環境・設備
- 計画・設計
- 歴史・意匠



都市環境工学コース

社会のインフラに直結する関連分野の専門知識を習得し、計画・設計・施工・維持管理を学びます。

- 土木工学と構造工学
- 水理学
- 地盤工学
- 土木計画学
- 材料学
- 環境工学

TOPIC 人口減少時代の都市・住環境を考える

福井市中心市街地の駐車場活用広場「新栄テラス」の運営に、地元商店街の店主や福井市の方々と共に、まちなかの回遊性向上や賑わい創出を意図した様々な企画を実施したり、空間デザイン面での改善・制作などにも取り組んでいます。空き地や空き家などの増加は悲観的に捉えられがちですが、工夫次第では都市や住環境を改善する資源にもなり得ると考えられ、福井から新たなまちづくりのモデルを発信していくことを目指しています。



WELCOME TO OUR LABORATORY

環境水理学研究室

世界中どこでも利用できる 再生可能エネルギー、地中熱

鈴木 遥介 さん
大学院工学研究科 博士前期課程 1年
福井県立金津高等学校出身

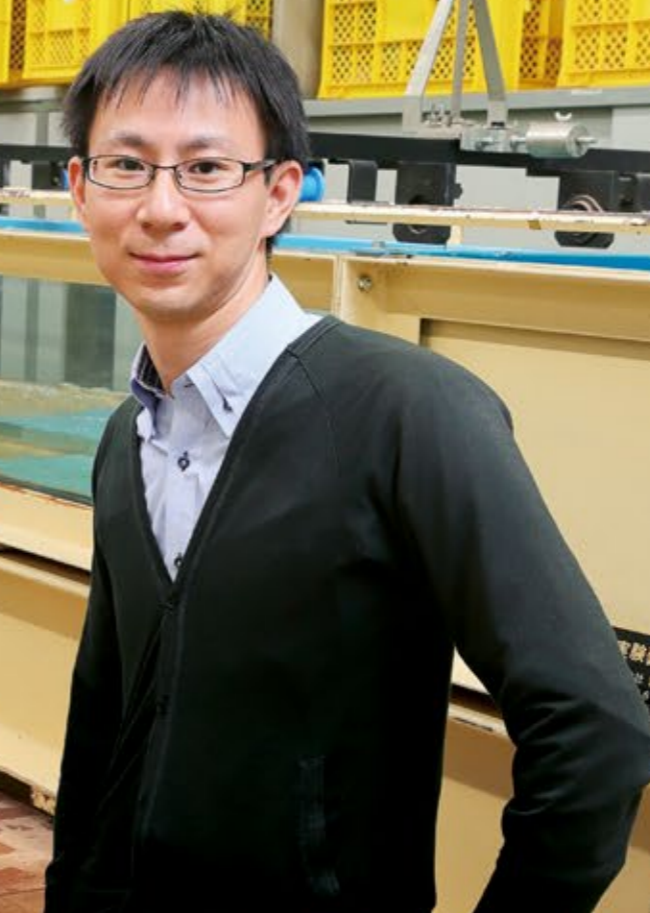
再生可能エネルギーの一つである「地中熱」の利用について研究しています。地下5mから200mくらいの浅い地盤では年間の温度変化が小さいので、大気との温度差を使って、たとえば冷暖房などに利用することができます。火山由来の地熱と違って、世界中どこでも、地面を掘りさえすれば利用できる資源です。地中熱交換器に水を循環させて、この地中熱を効率的に利用する実験を行っています。入学当初は建築に興味があったのですが、建物は、実はその外部との間で水や空気をやりとりしています。そんなところから「環境」に興味を持ち始め、寺崎先生の影響もあって、現在の研究テーマに辿り着きました。まだ、海外のフィールドに出たことはないのですが、将来的には海外で地中熱のブランドに挑戦してみたいと思っています。



持続可能な水利用への取り組み 工学と社会との接点を求めて

寺崎 寛章 助教
専門分野: 水文学、環境水理学

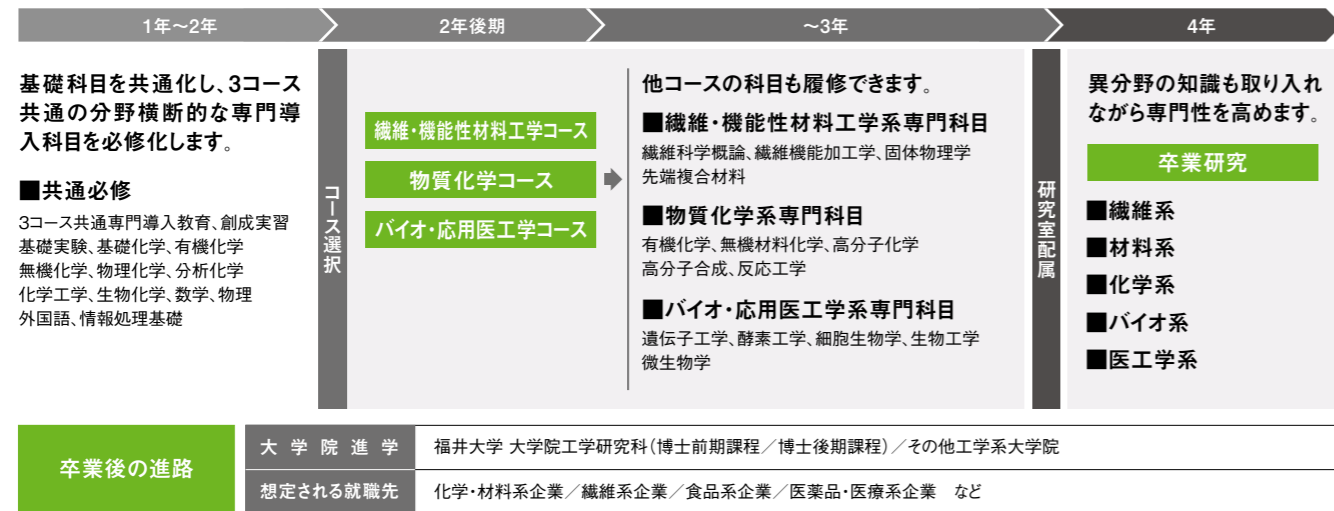
私たちの日常生活では、水道の蛇口を開ければそのまま飲める水が出てきます。水道管の中では流量が緻密に制御されていて、これを可能にする学問を「水理学」といいます。水は生命維持に不可欠な物質ですが、世界を見渡すと、それが当たり前ではない地域がたくさんあります。自然の水の循環の中で、いかに安全で衛生的な水を確保するか。そのような問題意識から、インド、バングラデシュなど、世界各地へフィールドワークに出かけ、地下水の調査や飲み水支援の活動を行っています。バングラデシュでの主な活動は、淡水化装置を作ること。それも、大きな資本や技術を投下するのではなく、現地で手に入る材料で、現地の人が作り、維持できるものであることが大切です。工学と社会との接点を、この活動を通して探っていきたいと考えています。



物質・生命化学科

物質の構造や性質、その反応に関わる法則などを探究する物質化学、生命科学の基盤である生物化学、物理法則を基礎として材料を取り扱う材料工学に関する専門知識を学びます。

繊維をはじめとする高性能・高機能材料の創製や関連科学技術の開拓、医学・工学の融合分野へのバイオテクノロジーの展開などを通じて身につけたスキルや知識、高い倫理観を持ち、人類の健やかな生活と持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる研究者および専門技術者を養成します。



繊維・機能性材料工学コース

基礎研究と産業の両面に応用できる最先端の繊維・材料研究を行います。

- 有機化学、無機化学、高分子工学、生物工学
- 航空機の部材に使用される炭素繊維
- 様々な高分子材料に高い性能と機能をもたせる分子材料の設計



物質化学コース

ナノテクノロジーなどの新しい技術開発を行います。

- 有機化学、無機化学、分析化学、高分子化学
- 物質の構造や性質、その反応に関わる法則を探究



バイオ・応用医工学コース

化学と生命科学の領域を横断しながら、医学と工学の連携に貢献する研究を行います。

- 遺伝子工学、酵素工学、細胞生物学、生物工学、微生物学
- 遺伝子レベルでの生命現象の解析からゲノム編集、有用物質の工業生産まで、バイオテクノロジーに関する知識と技術を習得

TOPIC 繊維・マテリアル研究センター

繊維は、その形や性質を変えることで、自動車、航空、宇宙開発などの産業資材、医療やインテリアといった衛生・生活資材として幅広く応用されています。本学は福井の地場産業である「繊維」をSociety5.0に向けた革新技術に展開するため、繊維、染色、高分子、有機、無機の分野を中心に福井県内外の企業や公的研究機関などとともに繊維・機能性材料の開発を推進しています。



WELCOME TO OUR LABORATORY

生物プロセス研究室

キノコが環境を救う？ 白色腐朽菌の工業利用を目指して

大西 崇太 さん
大学院工学研究科 博士前期課程 2年
福井高等工業専門学校出身

木材からバイオ燃料を作ったり、紙を作ったりするには、木質を構成するリグニンを除去する必要があります。現状では、化学薬品を大量に使ってリグニンの除去を行っています。この工程を微生物に代替できないか、というのが私の研究テーマです。シイタケやヒラタケなどのキノコには、リグニンを分解して白く腐朽させる酵素があり、白色腐朽菌と呼ばれています。この白色腐朽菌に放射線を当てて遺伝子の変異を導き、リグニン分解酵素を大量に生産する株を選別することができれば、工業化への道も開けるはず。また、リグニン分解酵素は難分解性の環境汚染物質であるダイオキシンも分解できるので、白色腐朽菌を用いて汚染された土壌や水質を修復するバイオレメディエーションへの応用も期待されています。道のりは遠いけれど、夢のある研究だと思います。

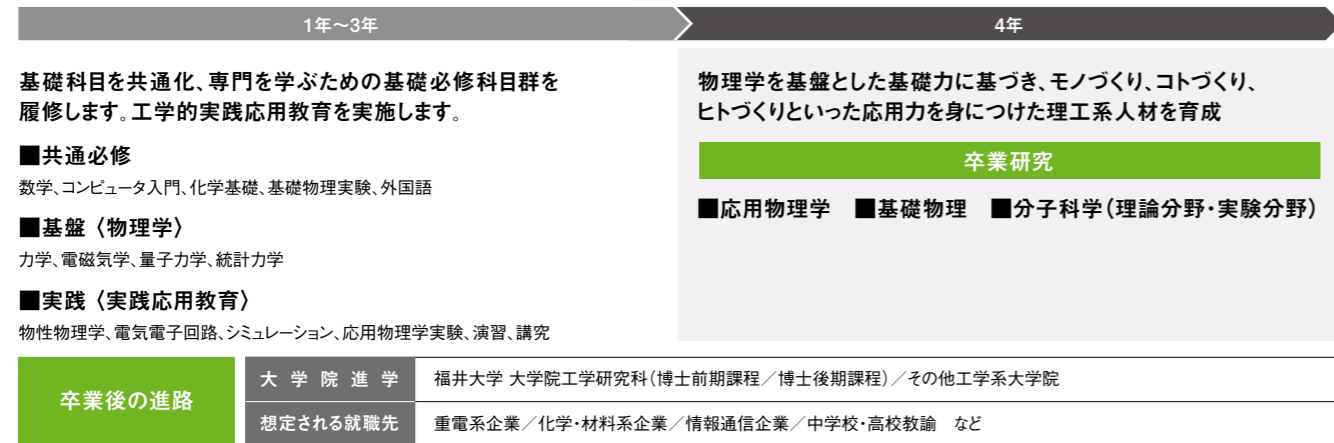
漢方の知恵を先端技術へ 生命体の仕組みを創薬へ

櫻井 明彦 教授
専門分野: 生物機能、バイオプロセス、環境技術、環境材料

「冬虫夏草」って、ご存じですか。虫に寄生するキノコの一つで、漢方薬や薬膳料理の食材として珍重されているものです。虫の免疫システムを破って寄生するこのキノコの成分には、免疫増強、がん細胞増殖抑制、抗酸化作用など、さまざまな効果が期待されています。中でもコルジセピン(虫草素)が注目されていますが、天然の冬虫夏草の含有量はわずかなので、これを効率よく生産するシステムが求められています。私の研究室では、野生株の冬虫夏草の菌糸体にイオンビームを照射することでコルジセピン生産性を高めるとともに、培養条件や抽出方法を検討することで高純度のコルジセピンを回収する仕組みを考えています。この世に存在する生物は、自ら生き延びるためにさまざまな仕組みを進化させている。それをちょっとお借りする、そんな研究です。

応用物理学科

近年の技術革新により、基本原理に立ち返って科学を理解し、応用できる能力がますます重要になっています。物理学とともに、数学や化学、計算科学を中心とした理工学を総合的に学習し、その基礎を固めた上で、実践科目や卒業研究において、理工学への応用・先端領域や物理学の最新理論を学びます。こうして物理学を身につけた技術者の強みである、「物事を根本から考える力、数理的思考力、物理的思考方法に基づく判断力」が養われます。このような教育を通して、新しいものづくりに挑戦できる人材、安全・安心な社会の構築に必要とされる人材、ものづくりのわかる理科教員を養成します。



自然科学の基礎を学び、工学への応用を考える

この学科ではコースを設置せず、物理学、数学、化学といった自然科学の基礎を幅広く学び、論理的な思考力を身につけ、理論に基づいた実験も行います。

- 1年次から3年次にかけて、力学、電磁気学など物理学の基礎を学習
- シミュレーションや応用物理学実験などの演習を重ね、工学への応用を探究

TOPIC 地下1,000メートルで宇宙誕生の謎に迫る

岐阜県飛騨市神岡町の地下1,000メートルにある旧神岡鉱山の跡地は、我が国が誇るニュートリノ研究のメッカ。ノーベル物理学賞を二度にわたって受賞した研究を支える「スーパーカミオカンデ」と同じ坑道内に福井大学と大阪大学などが共同で運営する実験装置「CANDLES」があります。現在、ここではカルシウム48原子核の「二重ベータ崩壊」の観測に取り組んでいます。『宇宙の始まりには同量あったと考えられる「物質」と「反物質」、その後、現在の宇宙が「物質」だけの世界になったこと』その謎を解明する研究です。



物理学を中心に、広範な自然科学分野を扱う

素粒子の構造説明や宇宙線の探索に関する基礎科学の成果なども新たな工業技術に結びつけ、イノベーションを目指します。

- 4年次には「数理・量子科学(理論物理・数学)」「物性・電磁物理(実験物理)」「分子科学(化学)」の3講座と「遠赤外領域」「附属国際原子力工学研究所」のいずれかで卒業研究を行います



WELCOME TO OUR LABORATORY

量子工学・レーザー分光研究室

レーザー光というツールを使って量子現象の解明に挑む

熊倉 光孝 教授
専門分野: 量子光学、レーザー分光学、原子・分子物理

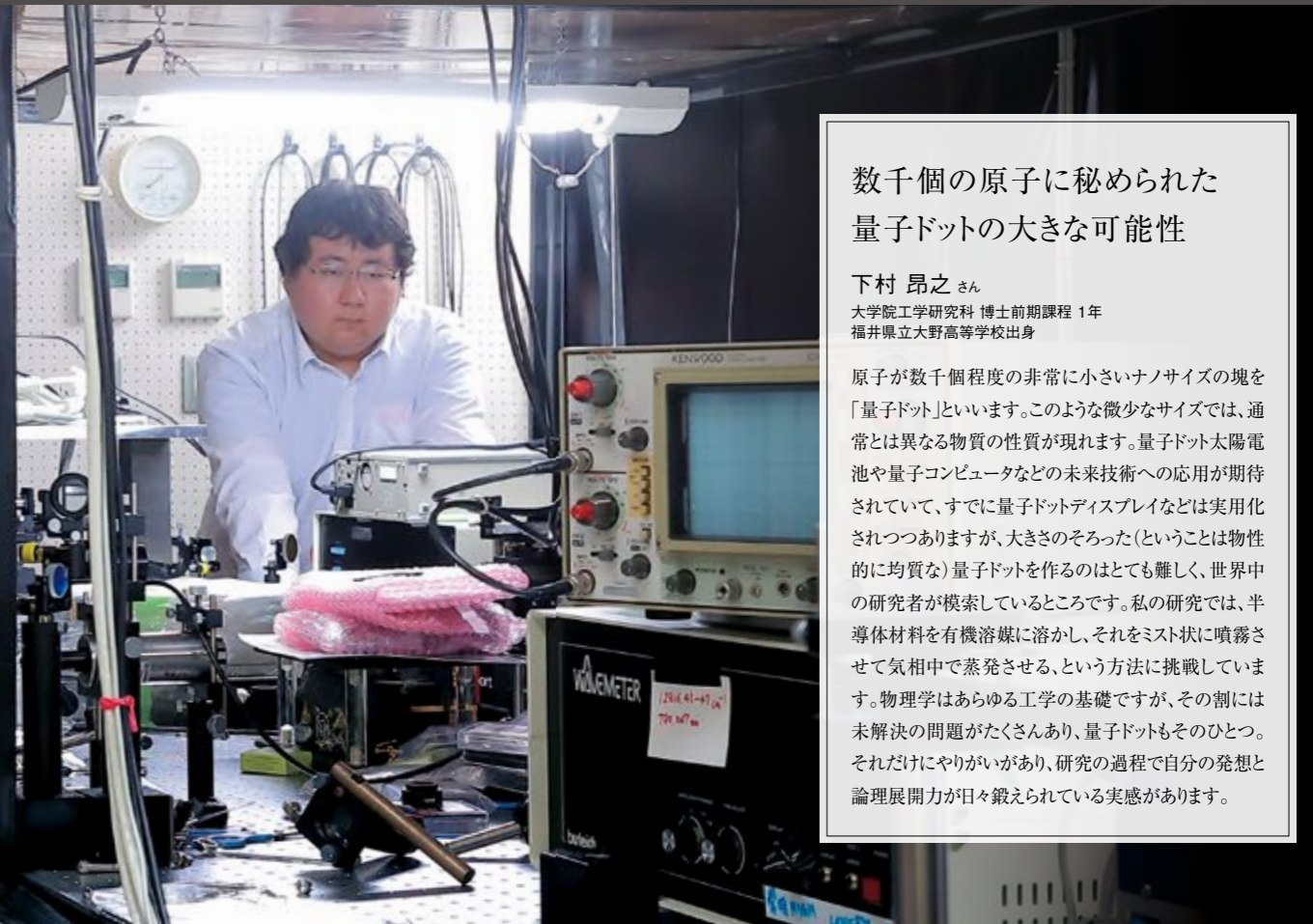
温度は、物理学の世界では粒子の運動として説明されます。分子や原子が活発に動き回っているときは温度が高く、あまり動いていないときは温度が低い、ということです。レーザー光を照射することで、その動きを止めることを「レーザー冷却」といい、絶対零度近くまで温度を下げるができます。そうすると、どんなことが起きるか? 希薄な気体状態の原子の集団が、一つの波のように振る舞い始めます。これを「ボース・アインシュタイン凝縮(BEC)」といい、固体、液体、気体、プラズマなどと並ぶ物質の相のひとつです。BEC相では、新しい量子現象の観察や、原子干渉計の開発、原子波動光学への応用などが期待されます。また、レーザー光を用いて量子を選別・操作する研究も進めています。つかみようもない小さなものを扱う技術を、私たちは手にしつつあるのです。



数千個の原子に秘められた量子ドットの大きな可能性

下村 昂之 さん
大学院工学研究科 博士前期課程 1年
福井県立大野高等学校出身

原子が数千個程度の非常に小さいナノサイズの塊を「量子ドット」といいます。このような微小なサイズでは、通常とは異なる物質の性質が現れます。量子ドット太陽電池や量子コンピュータなどの未来技術への応用が期待されていて、すでに量子ドットディスプレイなどは実用化されつつありますが、大きさのそろった(ということは物性的に均質な)量子ドットを作るのはとても難しく、世界中の研究者が模索しているところです。私の研究では、半導体材料を有機溶媒に溶かし、それをミスト状に噴霧させて気相中で蒸発させる、という方法に挑戦しています。物理学はあらゆる工学の基礎ですが、その割には未解決の問題がたくさんあり、量子ドットもそのひとつ。それだけにやりがいがあり、研究の過程で自分の発想と論理展開力が日々鍛えられている実感があります。



附属国際原子力工学研究所

Research Institute of Nuclear Engineering

敦賀キャンパス



原子力安全工学コースの紹介動画はこちらをご覧ください。

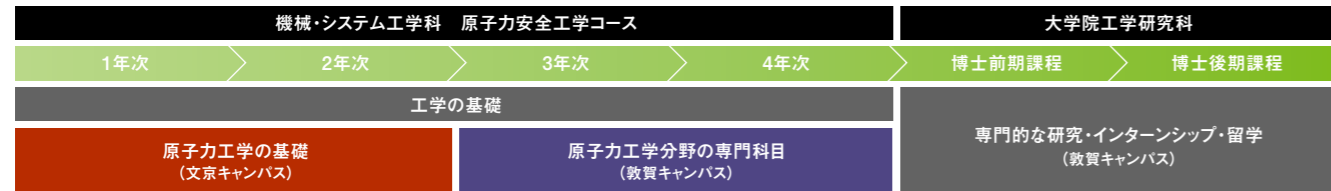
世界トップレベルの原子力研究開発と人材育成

原子力施設が多く立地する福井の地域性や国際社会のニーズに対応するために、2016年度より「原子力安全工学コース」が工学部機械・システム工学科に設置されました。原子力工学は総合先端工学の分野です。本コースでは、1・2年次に数学や物理学などの基礎科目とロボティクス・機械工学を総合的に学んだ後、3年次から敦賀キャンパスで専門教育と研究活動を開始します。県内の原子力施設を活用した質の高い専門教育を受けることができます。



特徴

- ・総合先端工学分野である原子力工学・放射線科学などを1年次から学べます。
- ・県内の原子力施設を活用した質の高い国際的人材育成。
- ・国内・海外の研究機関との活発な学術交流。
- ・原子力・放射線分野ばかりでなく、広く一般工学分野への就職が可能です。



必修科目

原子炉物理学序論／核燃料サイクル工学入門／原子炉プラント工学／原子炉工学／原子力安全工学実験I／原子力安全工学実験II

選択科目

放射化学／放射線の医療応用／放射線化学・生物学／原子力材料学／核燃料工学／リスク評価概論／原子力・耐震耐津波工学／原子炉制御工学／廃止措置工学／放射線防護工学／原子力防災論

敦賀キャンパスでの学び



研究環境

1年を通じ外国人の研修生や研究者を受け入れており、英語を話すことが日常です。



異分野横断セミナー

各分野で活躍中の国内外の研究者や先輩、民間企業の方が最先端の講演をします。



福島でのフィールドワーク

医学部と連携し福島県川内村で住民への聞き取り、施設見学、放射線測定などを行います。



留学・インターンシップ

国内外の関連施設・研究所や国際機関で経験を積むためのプログラムがあります。

STUDENT'S VOICE

原子力工学を学んで 工学のオールラウンドプレイヤーに

梅原 弘平 さん

機械工学科(現:機械・システム工学科)4年次
静岡県立静岡東高等学校出身



原子力発電所の耐用年数は40年～60年。長い年月の間には材料の劣化が起きます。私の研究は、その材料の強度を評価する方法の確立です。福井大学に入学したのは、高校の先生から「就職がいいよ」と聞いたから。せっかく福井県に来たのだから、と学科の副専攻で原子力について学び、興味を持ちました。原子力は、あらゆる工学分野の粋を集めたような存在なので、ここで学んでいると必然的にオールラウンドな知識が身につきます。「就職がいい」と言われた理由も分かる気がしますね。

大学院工学研究科

Graduate School

福井大学工学部は工学の学問分野に沿った5学科11コースで構成されていますが、大学院工学研究科の博士前期課程は社会・産業界の課題に対応して、「産業創成工学専攻」「安全社会基盤工学専攻」「知識社会基礎工学専攻」の3専攻14コース構成となっています。*
本研究科では、スペシャリストとしての専門性に加え、分野の多様性を

理解し、分野内だけでなく分野間で協業し、新たな展開ができる高度専門技術者の育成を目指すことから、このような体制を取っています。研究生の中で専門分野への理解を深めるとともに多方面に視野を広げることで、将来の進路をより豊かに、確かにしていくことができます。



*大学院工学研究科2020年度改組予定。2020年再編に向け、文部科学省と協議中の内容です。専攻名等、変更になることがあります。

PROFESSOR'S VOICE

「答えのない問題」に答える力を

大学院工学研究科長
福井 一俊 教授

高校までの勉強が「教わる」ことだとすれば、大学では「学ぶ」ことが勉強です。膨大な「学び」の材料がみなさんの周りに用意されているのですが、ボーッと待っていても誰も教えてくれません。厳しいことを言っていると思うかもしれませんが、だからこそ大学は面白いのです。そして、その先に「大学院」というさらに面白い世界が待っています。学部で学ぶことは、これまでの学術研究の歴史の中で誰かが「答え」を出している問題ですが、学部4年次や大学院では「答えのない問題」に答えることが求められます。社会に出て仕事をする、ということを考えてみてください。答えが出ていることをやるだけなら、それは「仕事」ではなく「作業」です。社会では、答えのない問題に答える

力が求められているのです。工学部は5学科11コースに分かれています。大学院ではこれが3専攻に集約されます。学部で建築を学んでいた人が、大学院では機械システムについても学ぶ、ということも可能です。これも社会で仕事をするを想像して欲しいのですが、自分の専門だけで完結するような仕事はほとんどなく、多くはさまざまな分野の人の協業で成り立っています。本学工学部の卒業生は、50%以上が大学院に進学しています。意欲と能力に応じて、卒業研究の負担を軽くしつつ、大学院科目を早期に履修できるようにするなど、学部から大学院へとシームレスにつながっていく体制も整えています。いっしょに「答えのない問題」に挑戦してみませんか。



国際地域学部

School of Global and Community Studies

グローバル視点で、地域の創生を

徹底した英語教育と海外留学を通じた異文化理解を深め
国際感覚に長けた人材の育成を目指します

地域と世界、密接に関連する2つの分野を多角的に捉えることができる
幅広い視野を養い、地域の課題に取り組みます

入学者受入の方針

Admission Policy

【教育目標】

地域や国際社会の抱える複雑な課題を探究し、課題解決をしていくための実践的・総合的な能力を身につけ、地域の創生を担いグローバル化した社会の発展に寄与する人材を育成。

【求める学生像】

- ①グローバル化によって地域から国際社会にまで起こっている複雑な諸問題について関心をもち、それについての探究を深め課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲のある者。
- ②課題の探究と解決に向けて、必要な専門的な分野の学習を学ぶ意欲を持つとともに、問題解決の方法や他の人と協働で実践的に取り組んでいくことに積極性のある者。
- ③世界共通語的性格をもつ英語はもちろん、多文化的なグローバル社会の中で活躍できるコミュニケーション能力を身につけることに意欲を持ち、他の人との対話を通して、活動を広げ深めようとする者。

教育課程の編成・実施の方針

Curriculum Policy

- ①現代の地域社会や国際社会の抱えている諸課題を理解、分析するために政治学・経済学・経営学・社会学・歴史学、宗教、哲学、文化研究をはじめとする人文社会科学分野に関わる幅広い学識と自然科学分野の基礎的知識を身につける。
- ②地域や社会の抱える現実の課題について、専門的な学習と併せ、地域や企業等との参加・協働を通して、探究と解決に取り組むことのできる能力を身につける。また、そのために必要な、分析ツールとしての統計、データ処理、調査法等で求められる能力を身につける。
- ③グローバル化が進行する社会・地域の中で、広く世界を知り、多文化の中で主体的に生きていくために必要な多文化共生を支える異文化理解力とコミュニケーション能力を身につける。

学位授与の方針

Diploma Policy

- ①幅広い教養と専門的な知識・能力を有している。
- ②地域や国際社会の抱える課題と発展可能性を探り、リサーチすることができ、その問題の解決と可能性の実現を通して、グローバル社会の発展と地域創生に貢献することができる。
- ③グローバル化する社会において求められる国際的な視野や批判的思考力を身につけ、英語を中心とする外国語能力も含めた多文化共生を支える異文化理解とコミュニケーション能力をもち、行政・企業・地域等に対応し、活躍することができる。

学びの特色

グローバルに考える力を身につける



徹底した英語教育

グローバル社会で活躍できる人材を育成するために、海外留学を含めた多様な経験の機会を提供します。留学先で通常の科目を英語で学べる能力獲得を目指し、1年次の学生は全員、集中的に英語を学習します。特に最初の半年、ICTを活用した言語開発センターでの学習を含め徹底的に英語を学び、まずは留学資格TOEFL (ITP) 530以上、目標550以上を目指します。



海外留学

海外留学を通して世界を知り、異文化の中で実際に生活することで、異なったものの見方、価値観、社会の在り方等について理解を深めます。海外留学は、学生に“global thinker” (グローバルに考える人) となる契機を与え、同時に、世界に対する幅広い理解と、自己に対する理解を深めます。



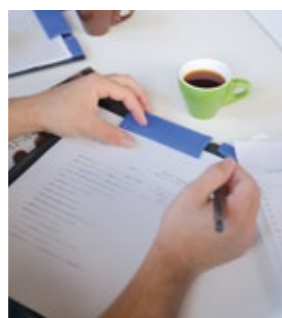
U-PASS

U-PASSは学生チューターが中心となって学習サポートを行うサービスです。主に、①英語のライティング、リーディング、プレゼンテーションのサポート、②TOEFL 試験対策、③留学生のための日本語学習サポートを行っています。担当教員からのトレーニングを受けた学生チューターがサポートしますので、英語力の向上・発展が期待できます。

地域の課題と向き合う4年間



「課題探求プロジェクト」は、企業や自治体などに向いて様々な課題を知り、調査し、課題解決の一端を担う実践的な科目群です。実践的な学びと、課題を理解し分析する幅広い専門分野の学習を結びつける形でカリキュラムを構成しています。プロジェクトは、越前漆器や和紙などの「伝統工芸産業の課題」「福井の企業の海外事業展開」などのテーマから決定し、学年進行に伴い到達目標を高度化させ、最終的には専門的な学問分野に即して調査・研究し、卒業研究につなげます。こうした「課題探求プロジェクト」を中核に据えたカリキュラムを通じて、それぞれのテーマに内在する問題の探究とその解決、意思決定や批判的な思考を育むとともに、リアルな現場としての社会を理解し、自分の進路への意識とそれに適応する能力を身につけます。



課題探求プロジェクトと専門教育科目の結びつき

実践的なプロジェクト学習を継続的に深めながら、それと関わる専門教育科目の知識と方法を、らせん的なサイクルで習得します。

【プロジェクト参加企業】(製造業) 黒龍酒造(株)、セーレン(株)、日華化学(株)、フクビ化学工業(株)、前田工機(株) など(報道機関) 福井新聞社、福井ケーブルテレビ(株)、福井テレビジョン放送(株)、福井放送(株) (卸・小売業) 福井タッセイ、福井キヤノン事務機(株)、福井県民生活協同組合、三谷商事(株) など(金融・保険業) 福井銀行、福井信用金庫(運輸業) えちぜん鉄道(株)、京福バス(株)(サービス業) 芦原温泉旅館協同組合加盟旅館、近畿日本ツーリスト(株) 福井支店 など(その他) 福井県経営者協会、まちづくり福井(株) など(タイ) アサンブション大学、カセサート大学、マヒドン大学 など(自治体) 福井県、福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、永平寺町 など

2つのアプローチ

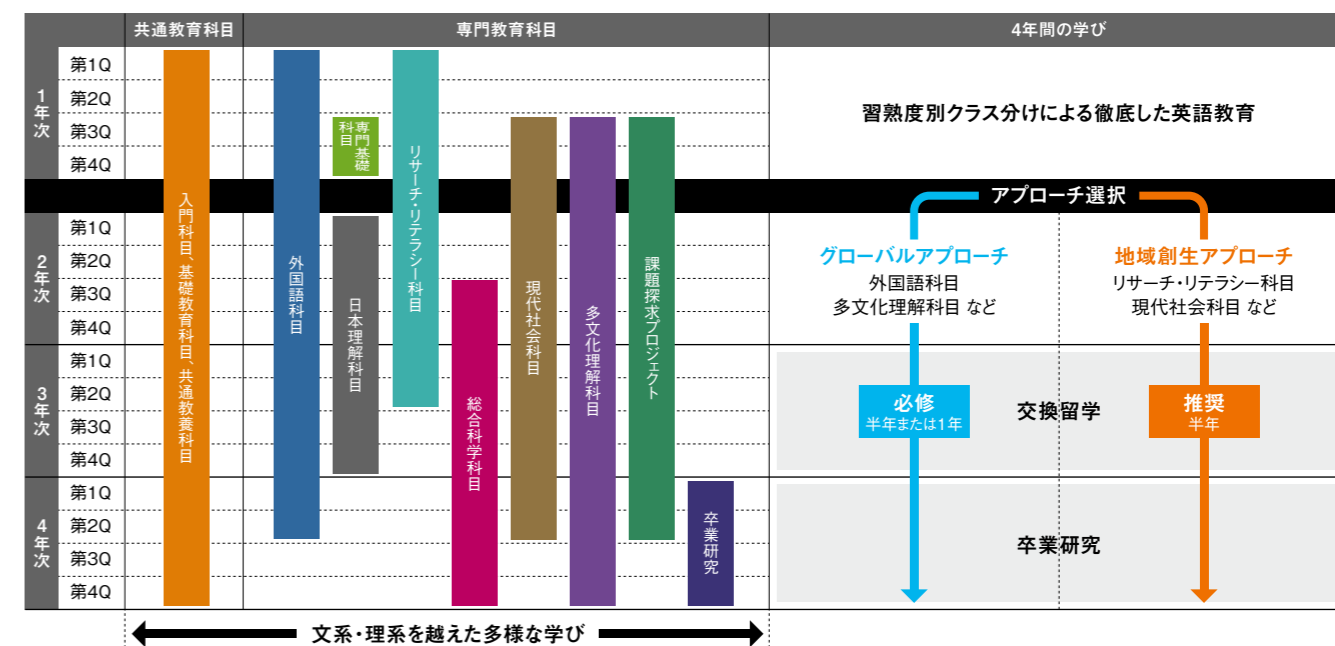
興味に応じて学びを選択する

学習のプロセスにおいては、履修内容を固定化せず、共通の基本と柔軟な選択履修を設けることによって、学生の主体的な学びと国際水準での教育を実現します。主にグローバルな視点から入る学び方(グローバルアプローチ)と主に地域創生の視点から入る学び方(地域創生アプローチ)の2つのア

プローチを用意し、学生の興味に応じた柔軟な対応を行います。2つのアプローチの特徴は、海外留学について、グローバルアプローチは1学期間又は2学期間の海外留学を必修とし、地域創生アプローチでは1学期間の海外留学を推奨します。課題探求プロジェクトについては、中長期の海外留学

を伴うグローバルアプローチでは留学期間に応じて弾力的に取り扱います。専門科目についても、アプローチに応じて履修の幅を持たせ、主体的な学びを可能にします。

カリキュラム



※国際地域学部で開講される科目には、第1から第4クォーター(1クォーターは8週)からなる「クォーター制(4学期制)」と、前期と後期からなる「セメスター制(2学期制)」で開講されるものがあります。

大学院2020年度設置予定

2020年設置に向け、文部科学省と協議中です。

グローバルアプローチ



世界の中で「観光」を考える

久末 麻梨乃さん
国際地域学科 3年次
福井県立金津高等学校出身

中学・高校で短期留学した経験があり、海外で学ぶことの重要性は理解していました。グローバルアプローチでは海外留学が必修なので、視野を広く持って学ぶ

には絶好の環境です。私はイタリアのナポリ東洋大学に5ヶ月間、留学しました。ヨーロッパではどの国の大学で勉強しても単位が共通で、EU加盟国からの留学生にはビザも必要ないことから、とても国際的で開かれた空気の中で学ぶことができました。「課題探求プロジェクト」は留学先でも履修することができるため、以前から興味があった観光産業について調査計画を立てました。一般客とツアーに参加し、カタコンベ(地下墳墓)がどのようにプロモーションされているのかを学ぶとともに、英語のパンフレットの翻訳や、ナポリの観光産業についても調べました。帰国後のプレゼンテーションでその成果をまとめ、さらに勉強を進めていくベースとすることができました。

地域創生アプローチ



外国人労働者との関係のあり方を考える

大井 慎太郎さん
国際地域学科 3年次
福井県立丹生高等学校出身

「課題探求プロジェクト」では、企業の海外展開を大きなテーマとして取り組みました。福井県内の企業にご協力いただ

いてヒアリングや分析を重ねるうち、ひと口に「海外展開」といっても、そこには様々な障壁・課題が存在すると知りました。中でも最大の課題として浮かび上がったのが、人材育成です。海外工場の視察にも行かせてもらい、現地の方との接し方や、信頼関係の築き方を間近に見ることができたのは、とても良い経験でした。私は公務員の中でも労働局での勤務を志望しているのですが、今、日本全体で人材不足が叫ばれており、特に福井県は深刻な状態です。今後拡大するであろう外国人材をどう確保し、どう育成していくのか。「課題探求プロジェクト」で得た知見も生かし、福井県から日本を元気にする一助になりたいです。

[履修モデル] グローバルアプローチ

■入門科目、基礎教育科目、共通教養科目 ■外国語科目 ■専門基礎科目 ■日本理解科目 ■リサーチ・リテラシー科目 ■総合科学科目 ■現代社会科目 ■多文化理解科目 ■課題探求プロジェクト ■卒業研究

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	海外研修			海外留学			
課題探求プロジェクト科目	課題探求プロジェクト基礎A(2) 課題探求プロジェクト基礎B(2)	課題探求プロジェクト(2)	課題探求プロジェクトII(2)		課題探求プロジェクトIII(2)	課題探求プロジェクトIII(2)	
大学教育入門セミナー(2)	国際地域概論(2)	ドイツ語I(1) ドイツ語II(1)	経済学C(2)			コミュニティと住民組織(2) まちづくり論(2) 科学技術と環境(2)	フロントランナー(2) 文学にみられる女性(2)
情報処理基礎(2)	English Reading III(1) English Reading IV(1)	英作文I(1) 英作文II(1)	アメリカの文化(2)				
英語I(1)・II(1)	English Writing III(1)	Academic English ReadingI(1)	ヨーロッパの映画(2)				
英語III(1)・IV(1)	English Writing IV(1)	Academic English ReadingII(1)	ドイツ語III(1)				
英語V(1)・VI(1)	統計入門(2)	日本史概説(2)	ドイツ語IV(1)			卒業セミナー(1)	
英語VII(1)・VIII(1)	情報技術基礎(2)	コミュニケーションのための日本語教育論(2)	Academic English WritingI(1) Academic English WritingII(1)			卒業研究(6)	
TOEFL対策講座(1)	政治学概論(2)	経営学概論(2)	日本の近代文学(2)				
リサーチ入門(E)(2)	経済理論(ミクロ)(2)	民法(総則)(2)	知的財産の基礎知識(2)				
ライティングI(2)	弁論法(2)	国際政治学(2)	経済政策論(2)				
現代社会とビジネス(2)	異文化コミュニケーション(2)	比較文化論(2)	留学セミナー(1)				
		言語学入門(2)	教育における社会正義の問題(2)				

(例)20単位を認定*

*留学先の大学で履修した科目のうち、本学の既存の科目と内容、教育目標等が合致する科目について、最大36単位まで単位認定。

[履修モデル] 地域創生アプローチ

■入門科目、基礎教育科目、共通教養科目 ■外国語科目 ■専門基礎科目 ■日本理解科目 ■リサーチ・リテラシー科目 ■総合科学科目 ■現代社会科目 ■多文化理解科目 ■課題探求プロジェクト ■卒業研究

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
				海外留学			
課題探求プロジェクト科目	課題探求プロジェクト基礎A(2) 課題探求プロジェクト基礎B(2)	課題探求プロジェクト(2)	課題探求プロジェクトII(2)	課題探求プロジェクトIII(2)	課題探求プロジェクトIII(2)		
大学教育入門セミナー(2)	国際地域概論(2)	東洋史A(2)	東洋史B(2)		エネルギーと環境(2)	まちづくり論(2)	
情報処理基礎(2)	English Reading III(1) English Reading IV(1)	コミュニティと住民組織(2)	中国語III(1) 中国語IV(1)		日本の学校教育(2)	日本海地域の自然と環境(2)	
英語I(1)・II(1)	English Writing III(1)	中国語I(1)	地域データ分析(2)		ものづくり基礎工学(2)	資源エネルギー概論(2)	
英語III(1)・IV(1)	English Writing IV(1)	中国語II(1)	社会調査論(2)		地域情報システム(2)	卒業セミナー(1)	
英語V(1)・VI(1)	統計入門(2)	データサイエンス(2)	地域計画論(2)		福井地域の歴史(2)	卒業研究(6)	
英語VII(1)・VIII(1)	法学概論(2)	コミュニケーションのための日本語教育論(2)	地方自治法(2)		地域文化マネジメント(2)		
TOEFL対策講座(1)	政治学概論(2)	経済理論(マクロ)(2)	産業地理学(2)		国際コミュニケーション論(2)		
リサーチ入門(J)(2)	経済理論(ミクロ)(2)	経営学概論(2)	経済政策論(2)				
スピーキングI(2)	弁論法(2)	民法(総則)(2)	国際政策(2)				
ジェンダー論(2)	異文化コミュニケーション(2)	行政法I(総論)(2)	留学セミナー(1)				
		比較文化論(2)					

(例)10単位を認定*

*留学先の大学で履修した科目のうち、本学の既存の科目と内容、教育目標等が合致する科目について、最大36単位まで単位認定。

STUDENT'S VOICE

英語を身につけ、海外留学とその先の夢を目指す

丸山 凌治 さん
国際地域学科 1年次
長野県伊那北高等学校出身

今は1年次ですが、読む、書く、話す、聴く、と細かく分かれた授業で英語を集中的に学んでいます。特に、英語でスピーチを行うパブリックスピーキングは、日本語の直訳では伝わらないので、もっと日常的に英語に触れて上達したいと考えています。そして、カンボジアの大学へ留学することが今の目標です。私の夢は発展途上国の子供達に英語を教えること。学力が国の発展の力になると信じています。学部の先生に紹介してもらった王立ブノンペン大学は、途上国開発について学べる上、インターンシップで日本語教師も募集しているという、私にぴったりの場所でした。さらにグローバルアプローチで英語に習熟し、ぜひ夢の第一歩として留学を実現させたいです。



PROFESSOR'S VOICE

「世界」と「地域」を繋げて考える力を育ててほしい

横井 正信 教授
専門分野: 政治学

一見関係なく見える「国際」と「地域」ですが、実は互いに影響し合っている社会が動いています。だから国際地域学部のカリキュラムは、どちらにも確かな関心、知識、能力を持つ人材育成を目指しています。なかでも特徴的な「課題探求プロジェクト」は、学生が自らテーマを設定し、グループワークで調査を重ねて地域課題を見いだす活動です。例えば文系であってもデータ解析に挑戦するなど、活動の中で、学生は様々な知識や能力を身につけます。また普段の授業の内容を、現実のものとして体感することもできます。目の前で起きている問題が、実は日本の問題、さらに世界の問題と繋がっていると気付けば、視野はグッと広がるはずです。大局的な視野を持った皆さんが、海外や地域で活躍することを期待しています。

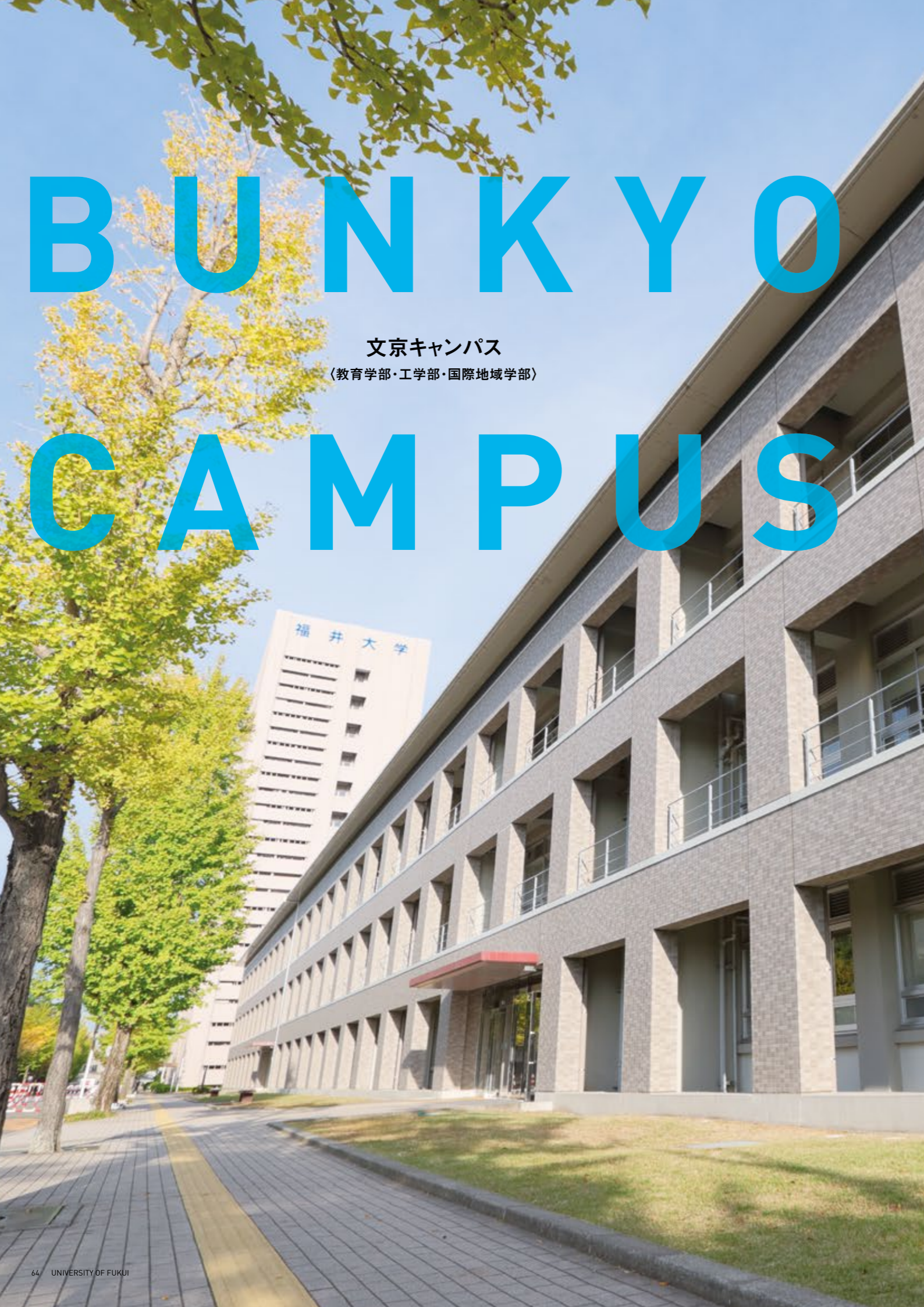


BUNKYO

文京キャンパス

〈教育学部・工学部・国際地域学部〉

CAMPUS



「近くには県立美術館や図書館も！
県内有数の文教地区です！」

二ツ矢 滉樹 さん
大学院工学研究科 博士前期課程 2年
石川県立金沢錦丘高等学校出身

学生数が多い文京キャンパスは賑やか！ 大学生の1日は忙しいけれど、それだけに充実感もあります。午前の授業を終えたら学食でおいしくて栄養バランスの良いランチを。授業の合間には、自習室や図書館の利用もできます。福井市の中心部にあるキャンパスだから、友達とお茶や食事に出かけたりと、大学外での楽しみもたくさんありますよ。

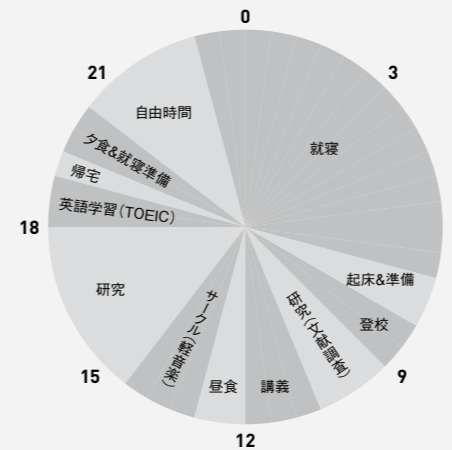


詳しいキャンパスマップは
こちらからご覧ください。



Schedule

大学院生になっても研究も部活も
しっかり両立



Laboratory



研究室

人と地球にやさしい光と照明について研究しています。人の目の知覚のメカニズムをベースに最適な明るさやエネルギー効率について考えています。



文京キャンパス

メインストリートを中心に様々な施設が並んでいます。緑豊かなキャンパスです。



総合研究棟Ⅲ(工学系1号館)

工学部がメインに使う講義室と研究室。広い敷地に1号棟から3号棟まであります。



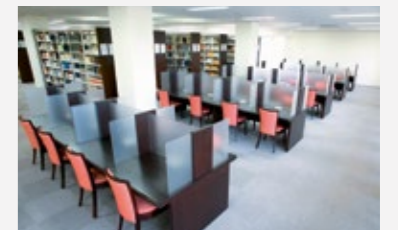
総合研究棟Ⅰ

文京キャンパスのランドマーク。文理融合による、学部の枠を超えた教育研究の場です。



大学会館

飲食スペースもあり、講義の空き時間の活用に便利。グローバル・ハブ、キャリア支援課、国際課、語学センターがあります。



総合図書館 / LDC

専門書のほか、DVDや雑誌も豊富な図書館。LDCは学生が自立的に語学を学習するための施設です。

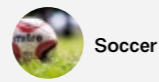
BUNKYO CAMPUS CLUB & CIRCLE

文京キャンパス

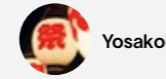
文化系・体育系あわせて多数のクラブやサークルを抱える文京キャンパス。興味のあるクラブがあれば、ぜひチャレンジしてください。

体育系

- | | | |
|---|--|--|
| 合気道部
アメリカンフットボール部
ETC
カヌー部
クロッカー部
空手道部
弓道部
車椅子バスケットボールサークル
福井大学競技スキー部
スノーボードサークルSnow
剣道部
航空研究会
航空部
卓球部
福井大学硬式庭球部
硬式野球部
福井大学サッカー部
さる部 | シーズンスポーツクラブ
自転車サークル
ジャグリング同好会acRue
柔道部
福井大学準硬式野球部
福井大学女子サッカー部
少林寺拳法部
女子ソフトボール部
女子バスケットボール部
女子ラグビー部
スポーツコミュニケーション研究会
卓球同好会
ソフトテニス部
水泳部
体操同好会
男子ソフトボール部
男子バスケットボール部
男子バレーボール部 | テニス愛好会
テニス同好会
トータルフットボールズ
バスケットボールサークル
福井大学バドミントン部
バレーボールサークル
福井大学バレーボール同好会
ハンドボール同好会
ハンドボール部
学生フォーミュラプロジェクト
ボーリュシカボレー
福井大学よっしゃこい
ラグビー部
陸上競技部
ワンダーフォーゲル部
FSDC |
|---|--|--|
- 【敦賀キャンパス】RINE sports club



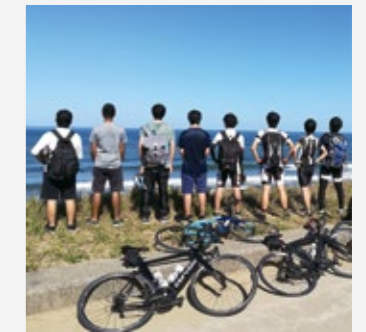
♥ 福井大学サッカー部
北信越の大学リーグで一部昇格を目標としてがんばっています。サッカーに興味がある方、試合に出たい方は一度気軽に練習を見に来てください!



♥ 福井大学よっしゃこい
曲さえあればどこでもできる、踊るのも楽しいし、見ている人に喜んでもらえるのも嬉しい。今までにない熱い青春が待っています。



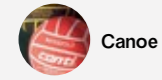
♥ アメリカンフットボール部
アメフトは個性によって適したポジションがあり「誰にでもチャンスがある」面白いスポーツです!



♥ 自転車サークル
流れる景色を眺めながら、風を受けて走る爽快感と目的地に着いた達成感を味わえます。ママチャリ大歓迎!

文化系

- | | |
|---|---|
| アカベラサークル ふれんど
囲碁部
福井大学演劇部 E.C.ひなどり
からくり工房I, Sys
競技かるた部
口笛音楽サークル ハッピーバード
ゲーム製作サークル Cre-one
茶道部
写真部
将棋部
書道部
児童文化研究会
吹奏楽部
生物研究会「海栗(みくり)」
電子工学研究会
天文部
読活
福井大学グリーンエコー合唱団
福井大学日赤青年奉仕団コロコロ
福井大学フィルハーモニー管弦楽団 | 福井大学漫画研究会
福大コンピュータ部
ビース・クリエイターズ・クラブ
和楽器サークル 和(やわら)
麻雀サークルMFC
ポランティアサークルTogether
料理研究会
ロック研究所
Arts
BBS (Big Brothers and Sisters movement)
Free Music Club (FMC)
Fukui Play-Studio 遊房
アコースティック and DJ サークル Leggiero
MUSIC LIFE
OSA/SPIE Student Chapter
Popular Music Laboratory (PML)
SF研&ゲーマーズクラブ
Palette
服づくりサークル |
|---|---|



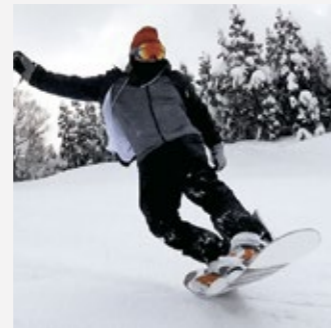
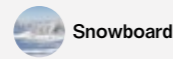
♥ カヌー部
カヌーボートは両サイドに設置されたゴールにボールをシュートし、得点を競い合う競技です。カヌー部に入れば大学生生活楽しいこと間違いなしです。



♥ 女子ラグビー部
初心者の方、大々大歓迎です!!! 大学から始めたメンバーも、2018年には国体出場を果たしました。



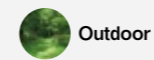
♥ 水泳部
試合で好成績を残すことを目標に日々練習に取り組んでいます!先輩も後輩も仲がいい明るい部活です。



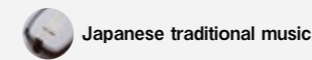
♥ スノーボードサークルSnow
スノーボードはターンやジャンプの他に、小ワザがたくさんあります。初心者でもメンバーが丁寧に教えます!



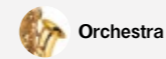
♥ 学生フォーミュラプロジェクト
マシンの製作・走行だけでなく、製作におけるコストや作ったマシンのプレゼンもやっています!



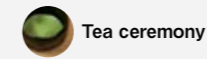
♥ Fukui Play-Studio 遊房
雑木林や自然の中で、地域の子どもたちと「本気で遊ぶ」工房です。



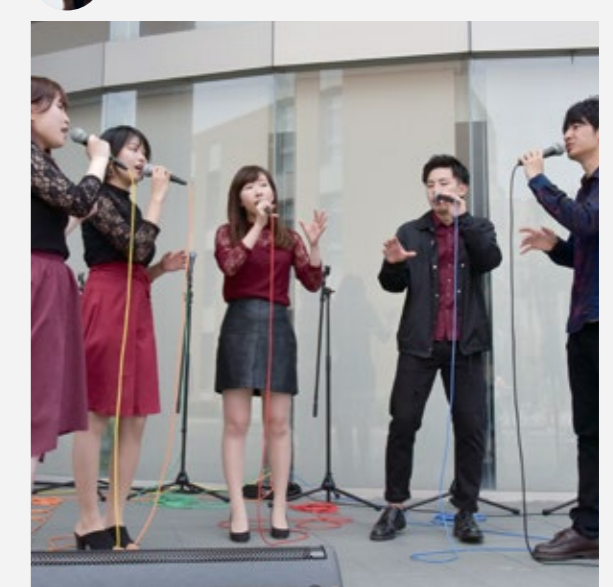
♥ 和楽器サークル 和(やわら)
琴、三味線、尺八で、古典から現代の曲まで幅広いジャンルを演奏しています。和楽器に興味がある人はぜひ!



♥ フィルハーモニー管弦楽団
初心者から経験者、男女問わず個性的なメンバーで和気あいあいと活動しています!



♥ 茶道部
他大学の学生とお茶会を開くなど、幅広く交流できます。忙しい日常から離れ、くつろぎの時間を過ごしませんか?



♥ アカベラサークル ふれんど
様々なイベントに参加したり、自分たちでイベントを企画したりしています。私たちと一緒に楽しむハモりませんか?



みんなが盛り上がる!
福井大学の最新情報を配信しています。ぜひご覧ください!

MATSUOKA

松岡キャンパス
(医学部)

CAMPUS



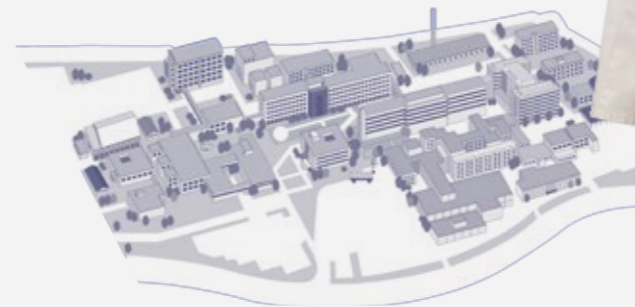
「九頭竜川が流れる豊かな環境と
広々としたキャンパスが魅力!」

富澤 奈央 さん
医学部 医学科 3年次
学校法人南山学園南山高等・中学校出身

医学部がある松岡キャンパスは、医学科と看護学科の学生たちが利用しやすい施設がたくさん。24時間利用できる専門の図書館をはじめ、メディアルームも完備。身体が資本の医学部生のためにトレーニングルームがあり、学食には栄養をきちんと摂れるメニューも豊富です。キャンパス内にある附属病院には人気カフェ「TULLY'S COFFEE」もありますよ。近くに九頭竜川が流れる風光明媚な環境で、居心地のいいキャンパスです。



詳しいキャンパスマップは
こちらからご覧ください。



講義棟

講義室やコミュニティスペースがあります。照明や内装など快適性が追及されており、学習環境には最適です。



研究棟

附属病院に隣接し、各診療科の医局をはじめ、子どものこころの発達研究センターや最先端の医学を研究する施設があります。



看護学科棟

看護学科の教員研究室をはじめ、講義室や演習室があります。

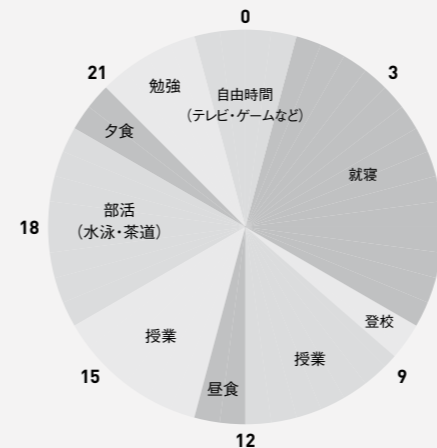


医学図書館

24時間利用できる図書館。グループでの活動が可能な情報工房と英語の自主学習ができるLDCを併設しています。

Schedule

医学部生のは毎日は大忙し。
でも夢に向かって一歩一歩、充実した毎日です。



Pickup Curriculum



病理実習

顕微鏡で様々な病理組織を観察。自分の目で所見を探し出す力を身につけるための大切な訓練です。

My favorite



TULLY'S COFFEE

附属病院内にあるタリーズは、コーヒーだけでなくパスタや軽食のメニューも豊富。疲れた時にはスイーツも!

MATSUOKA CAMPUS CLUB & CIRCLE

松岡キャンパス

松岡キャンパスも部活やサークル活動が盛んです。
西日本医科学生総合体育大会で優秀な成績を収めるクラブも。
一度、のぞいてみてください。

体育系

- | | |
|---------------|--------------|
| 硬式庭球部(男女) | サッカー部 |
| 軟式テニス部 | 陸上競技部 |
| 卓球部 | 競技スキー部 |
| ダンスサークルRAMSY | 水泳部 |
| 剣道部 | ゴルフ部 |
| バドミントン部 | 弓道部 |
| バスケットボール部(男女) | ヨット部 |
| 準硬式野球部 | ハンドボール部 |
| 伝統空手道部 | フットサルサークル |
| ワンダーフォーゲル部 | フィッシャーズ(釣り部) |
| 柔道部 | |
| ラグビー部 | |
| バレーボール部(男女) | |

Women's Basketball



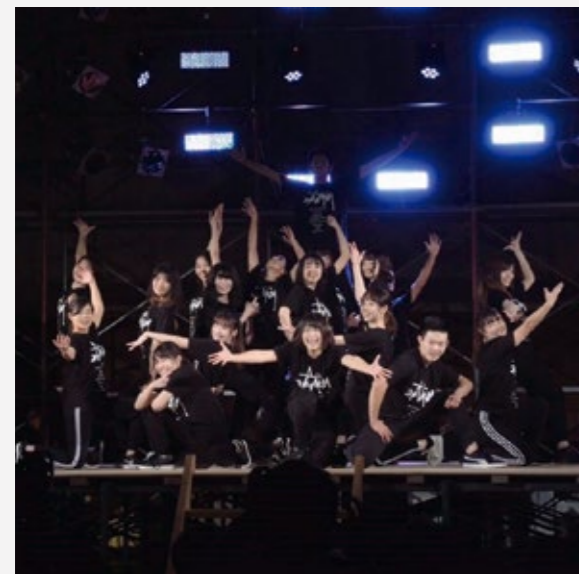
女子バスケットボール部
大学に入ってから始めても大会で活躍できます。オフは先輩後輩の垣根がなく、みんなで盛り上がっています!

Rugby



ラグビー部
西日本すべての医学生が参加する「西医体」の優勝が目標で、過去には2連覇も達成! 初心者も大歓迎です!

Dance



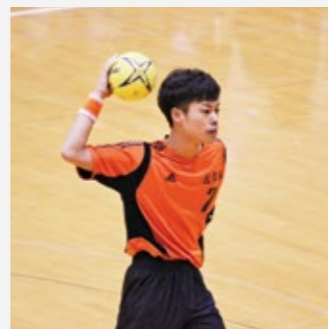
ダンスサークルRAMSY
それぞれが、やりたいジャンルのダンスに挑戦できます。部員の半分以上が初心者スタート。和気あいあいと練習しています!

Men's Volleyball



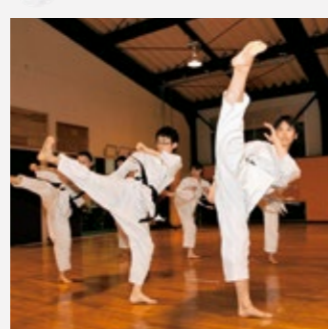
男子バレーボール部
冬季東海医歯薬バレーボール大会ではベスト4という好成績を収めることが出来ました!

Handball



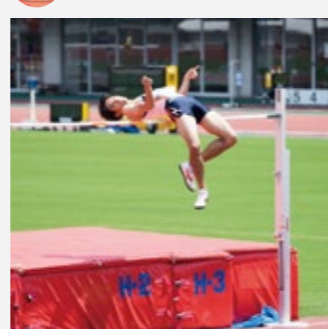
ハンドボール部
経験者から初心者まで様々なメンバーと一緒に活動しています。西医体での優勝を目指しています!

Karate



伝統空手道部
松岡キャンパス内にある武道場で稽古に励んでいます。気軽に見学に来てください!

Athletics



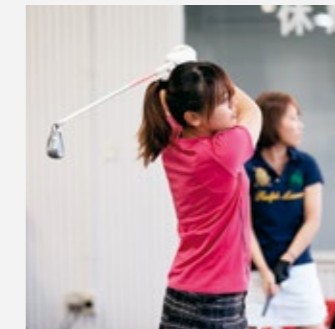
陸上競技部
陸上好き、運動好きが集まって、部員それぞれが個人の目標に向かって頑張っている楽しい部活です!

Soccer



サッカー部
基本からテクニックまでガッツリ練習しています。厳しい中にも、部員同士仲良く、いつも笑顔にあふれています。

Golf



ゴルフ部
部員のほとんどが大学からゴルフを始めました。月1度、ゴルフコースを回り、練習の成果を確かめています。

Yacht



ヨット部
風を上手に捉えたときのスピード感や、沖に出たときの海の爽快感など、一度やったらやみつきになるかも!

Band



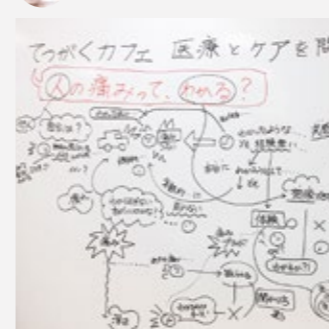
福井大学医学部軽音楽部 M-ROCK
J-POPやUKロックなどいろんなジャンルに挑戦中! ライブハウスの演奏は間違いなく最高の気分を味わえます!

Theater group



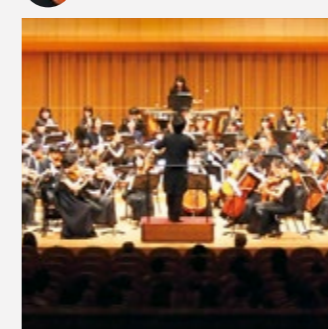
劇団くらげ
新入生歓迎会と晩祭(大学祭)で公演を行っています。脚本から演出、芝居まで全て部員で担当します!

Philosophy caffe



てつがくカフェ@ふくmedi
自由な雰囲気でお茶やコーヒーを飲みながら今日のお話を話します。他大学や一般の方との交流もポイント!

Orchestra



管弦楽団
毎年5月の定期演奏会や芸交祭、学園祭、全国医科学生オーケストラへの参加なども行っています。

文化系

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| アカペラサークル MusicGlass | 美術部 |
| 囲碁部 | 書道部 |
| ECS (English Conversation Salon) | てつがくカフェ@ふくmedi |
| 華道部 | 福井IFMSA留学 |
| 管弦楽団 | 福井大学医学部 軽音楽部M-ROCK |
| 救急医療系サークルALFA | べいくらぶ |
| グルメ部 | 熱帯医学研究会 |
| 劇団くらげ | 野ばら会 |
| HISTRIP (ヒストリップ) | ぶちぶら〜福井の地域医療サークル〜 |
| 茶道部 | 文芸・漫画研究会 |
| 写真部 | 小児ボランティアサークル |

Emergency medical care



救急医療系サークルALFA
ALFA (Advanced Life support Fukui Association) は、医学部の1~6年が参加している救急医療のサークルです。



福井大学の最新情報を配信しています。ぜひご覧ください!

BUNKYO & MATSUOKA CAMPUS CALENDAR

大学では勉強だけでなく、多彩なイベントも催されます。
仲間たちとの楽しい時間も大学生活の喜びのひとつです。



											
<p>大学祭(文京キャンパス) 新入生合宿研修(松岡キャンパス) 定期健康診断(松岡キャンパス) 御遺骨返還式(松岡キャンパス)</p> <p>北陸地区国立大学体育大会</p> <p>サークルリーダーシップトレーニング</p> <p>開学記念日(1日) 後期授業開始 きてみてフェア 医学部晩祭(松岡キャンパス) 合同慰霊祭(松岡キャンパス) 北陸三県大学学生交歓芸術祭 留学生オリエンテーション 就職ガイダンス キャンパスイルミネーション (文京キャンパス、松岡キャンパス)</p> <p>国際地域学部第3クォーター試験</p> <p>冬季休業</p> <p>学内合同企業説明会 学位記授与式</p>	<p>新生オリエンテーション 留学生オリエンテーション 入学式 新入生歓迎行事 定期健康診断(文京キャンパス) 前期授業開始 球技大会(松岡キャンパス) 新入生合宿研修(文京キャンパス)</p> <p>国際地域学部第1クォーター試験 小学校・中学校教育実習</p> <p>前期試験(全学部) 国際地域学部第2クォーター試験 夏季休業 オープンキャンパス インターンシップ 小学校・中学校教育実習(～9月) 西日本医科学生総合体育大会</p>	<p>後期試験(全学部) 国際地域学部第4クォーター試験 春季休業 医師国家試験 看護師・保健師・助産師国家試験</p>									



BUNKYO & MATSUOKA & TSURUGA STUDENT SUPPORT

学生支援センター

履修の相談や各種証明書の発行や、課外活動などもサポートします。



学生総合相談室

学業、将来、性格、人間関係など、あらゆる悩み相談に応えます。



留学生のための相談室

留学生を対象に、英語でのカウンセリングも行っていきます。



障がいのある学生及び教職員のための相談室

病気・負傷や障がいなどに関わる、修学や大学生生活の相談に応えます。



保健管理センター

健康相談やカウンセリングなど、こころからの悩みをサポートします。



文京キャンパス	
健康相談(内科医師)	月曜日～金曜日
健康相談(精神科医師)	月曜日～金曜日
健康相談(婦人科医師)	第4木曜日
カウンセリング	月曜日～金曜日
一般相談(看護師・保健師)	月曜日～金曜日
留学生向けカウンセリング	第2・4火曜日



松岡キャンパス	
健康相談(内科医師)	学生からの申し出に応じて随時行う
健康相談(整形外科医師)	
健康相談(産婦人科医師)	
健康相談(精神科医師)	
健康相談(歯科口腔外科医師)	月曜日～金曜日
カウンセリング(臨床心理士)	
一般相談(看護師・保健師)	月曜日～金曜日

※一般相談以外要予約

国際交流・留学

活発な国際交流及び国際水準での教育・研究を推進し、世界的に優れた成果を発信することにより、高度専門職業人として地域の国際化及び豊かな国際社会づくりに貢献できる人材の育成を目指します。

学術交流協定校数

(2019年3月現在)

35 国・地域
158 大学・機関

大学間交流協定: 85大学・機関
部局間交流協定: 73大学・機関

派遣実績

(平成30年度)

314 名の学生を派遣
(単位付与有のプログラム)



留学プログラム

短期留学

本学と学術交流協定を締結している海外の教育機関等で、1週間～3カ月程度の「短期海外研修プログラム」を年間40プログラム程度実施しています。学生一人ひとりが留学の目的や関心、外国語や専門分野の学習段階、将来設計等に合わせた適切な時期に最適なプログラムを選択して参加できるよう、多様なプログラムをレベル・内容別の6タイプに分類、体系化して提供しています。例えば学部1～2年次に語学研修型、3～4年次に専門分野型、修士1、2年次に研究・発表型など、福井大学での履修計画の一部として段階的にプログラムに参加することができます。



マラヤ大学(マレーシア)

中・長期留学(交換留学)

交換留学協定のある学術交流協定校やUMAP加盟大学との間で、半年～1年間、相互に授業料不徴収で学生の派遣・受入れを実施しています。交換留学先では、専門科目の履修や課外活動への参加により、幅広い知識や多角的な経験を得ることが期待されます。2018年度においては、21名の福井大学生を交換留学生として、北米・ヨーロッパ・アジアの学術交流協定校へ派遣しました(2019年3月現在)。

官民協働海外留学支援制度

～トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム～

2020年までに留学生12万人を海外に送り出すという政策により設けられた政府と民間企業の協働型の留学支援制度により、2014年から2018年までに14名の本学学生を派遣しました。また、2017年には地域人材コースが福井県で採択され、地元支援企業からの助成を受けて、これまでに3名の学生を派遣しました。

「留学プログラム」の詳しい情報は
こちらからご覧ください。

留学のサポート体制

留学についての情報提供

各プログラム説明会では、プログラムの内容や費用などの説明に加え、過去参加者の体験談発表の時間を設けています。具体的な説明や実際の参加者から体験談を聞くことで、イメージが膨らみ、参加意欲が高まります。また、海外留学や国際交流イベントに関する留学情報メールマガジンや国際課LINE@への登録により、随時最新の情報を得ることができます。

各種奨学金制度

本学が海外の大学等に派遣する学生のうち、学業成績、人物ともに優れている者に対して支給する給付型の「福井大学学生海外派遣支援金」(短期: 5～9万円/長期: 15万円)を受給できる可能性があります。また、日本学生支援機構海外留学支援制度や地方自治体の支援を受けて留学する学生も多く、比較的安価な費用で留学プログラムに参加することができます。

事前オリエンテーション

国際課では、短期留学において、プログラムごとのオリエンテーションに加え、同時期に出発する参加者を対象に合同で事前オリエンテーションを実施し、渡航準備や危機管理、大学指定の海外旅行保険の加入方法について説明を行っています。中・長期留学においては、短期留学同様に事前オリエンテーションを実施するほか、交換留学先大学への出願やビザ申請など各種渡航準備にかかるサポートを行っています。本学では、海外渡航経験が無くても、短期、中・長期留学ともに留学に挑戦する学生が多く、そのような学生から「安心して留学することができた」との声も上がっています。

外国人留学生の受入れ

福井大学では、外国人留学生の受入れを積極的に行っています。2018年10月現在、24カ国234名の留学生が正規生、交換留学生、研究生、科目等履修生として学んでいます。

語学センター

語学センターには、ESL/EFL/TESOL(英語教授法)の資格を保有した教員・インストラクターが在籍し、グローバルに活躍できる人材育成に向けた語学教育の体制と環境を整えています。CEFR-J(日本版ヨーロッパ言語共通参照枠)の基準を採用した個人インタビューと語彙テストによるプレースメントテストを導入し、習熟度別の少人数クラス編成による質の高い語学教育を行っています。

文京キャンパス

グローバル・ハブ

世界につながる各種の取り組みを行う拠点です。グローバル・ハブには、ソファや雑誌、テレビを設置し、リラックスした雰囲気ですさまざまな交流や情報収集を行うことができます。また、松岡キャンパスでは、マルチラウンジスペースなどを活用してイベントを実施しています。

●語学学習・留学をめぐる相談・情報提供／各種イベントの実施

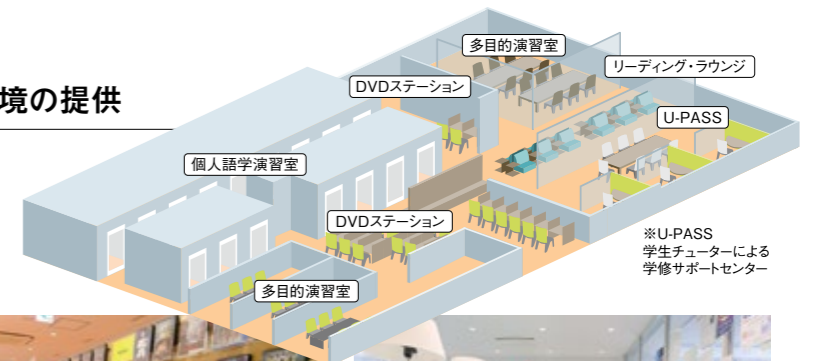
海外留学経験者・外国人留学生の学生スタッフが、海外留学や英語学習の疑問、質問にお答えします。また、各種資料も取り揃えています。日本人学生と外国人留学生の交流や、海外留学に関する情報提供、英語を実践する場の提供などを目的に、各種イベントを実施します。



文京キャンパスのラウンジ「グローバル・ハブ」は気軽に交流、情報収集できる場所です。

言語開発センター(LDC)での自主学習環境の提供

言語開発センター(Language Development Center: LDC)が総合図書館2階に整備されています。ここでは、外国語を個人やグループで自主的に学習するための様々な設備、教材が揃っています。



※U-PASS 学生チューターによる学修サポートセンター



個人語学演習室／多目的演習室

個人でもグループでも、学ぶ人数に適した語学演習室を設置。外国語検定試験やスピーキング・リスニング対策ソフトを導入したパソコン、マイク付きヘッドホンを使い、全室が遮音室であるため周囲を気にせず学習できます。



DVDステーション

1,000本以上の洋画・邦画・ドラマ・ドキュメンタリーなど各種DVDを視聴可能です。楽しみながらリスニング能力や、会話で使用する語彙力を高めることができます。



リーディング・ラウンジ

レベル別・分野別の外国語教材や、TOEIC、TOEFLなどの語学試験対策教材を2,500冊以上備えています。CDで音声も聞けるものもあります。学外からもe-learningシステムにより、(NetAcademy 2)外国語を自主的に学習するための環境を用意しています。

松岡キャンパス

松岡キャンパスでは医学図書館内にLDCがあり、英語の図書やDVDの閲覧や自主学習に利用できます。DVDは海外ドラマシリーズ、映画など豊富なタイトルが揃っており、英語・日本語の音声で視聴可能。遮音設備が整った個人語学演習室も設置されています。



Message from graduates



教育学部

生徒の心に届く「伝え方」を
これからも探し続ける

竹内 俊力 さん

教育地域科学部 2015年卒業
大学院教育学研究科 教科教育専攻 2017年修了
鯖江市中央中学校 教諭

今年から担任を持ち、多忙な日々を送っています。自分のクラスに担当教科の数学、部活動、そして生徒が課外で活動する車椅子バスケットボールでは、遠征の付き添いなどもしています。私が車椅子バスケットを知ったのは、特別支援教育の先輩の紹介がきっかけです。自分がプレイした経験から、赴任先の中学校に入学してきた車椅子の生徒に紹介すると、とても熱心に取り組んでくれるようになりました。障がいに関係なく、生き生きと活躍する姿を見ていると嬉しいと感じます。その子をはじめ、生徒たちにどういったアプローチをすれば心まで届くのか。「探求ネットワーク」での活動や、大学院での発問や問題設定の研究とも照らし合わせて、今後も考え続けていきたいです。学生にとって、今取り組もうとする活動がプラスになるのか、社会でどう生かせるかを予測するのは至難の業でしょう。けれども、私は今になって「経験しておいて良かった」と感じる事が多くあります。ぜひ、学生時代は機会を逃さず何にでもチャレンジすることをオススメしますよ。

医学部(医学科)

大好きな福井の人々のため
笑顔を絶やさない医師になる

山本 有紗 さん

医学部 医学科 2016年卒業
福井大学医学部附属病院 内科学(2) 医員

福井での勤務を志したのは、大好きな地元で祖父母と一緒に暮らし続けたいと考えたからです。その結果、附属病院に入職できたのは、非常にプラスなことでした。附属病院の良さのひとつに、カンファレンスの多さが挙げられます。初めて患者を受け持つ若手医師にとって、病院全体で患者を把握している体制はとて心強いものがあります。また手厚い教育体制も附属病院ならではの先生方は指導に慣れた方ばかりで、一般的な病院では若手がほぼ接する機会のないような大先生にも、ご指導いただける環境が整っています。

福井大学の医学部には女子学生が多いのですが、これは附属病院に女医が多いことにも関係しているように思われます。先輩方に女性が多いと、今後のライフプランも見通しやすいですね。現に結婚・出産を経て働き続ける先生もおられ、自らが充実しながら、笑顔を絶やさず仕事を続けるのに大切なことだと思っています。女性に限らず、長く医師として働きたい方は福井大学で学んではいかがでしょうか。



《学校教育課程》

主な大学院進学先

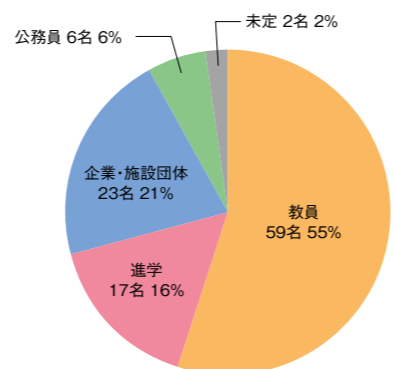
福井大学大学院
大阪大学大学院
仁愛大学大学院

主な就職先

福井県公立学校教員
愛知県公立学校教員
石川県公立学校教員
京都府公立学校教員
富山県公立学校教員
新潟県公立学校教員
福岡県公立学校教員

あいおいニッセイ同和損害保険(株)
社会福祉法人足羽福祉会
(株)アミダ
小川印刷(株)
(株)カソクラ
(株)川崎
国立大学法人福井大学
(株)サンワコン
社会医療法人大成会
大和証券(株)
(株)トブコン
(株)日本保育サービス
(株)ビックカメラ
(株)fuプロダクション
福井県信用農業協同組合連合会

(株)福井新聞社
福井信用金庫
福井丹南農業協同組合
学校法人 藤島学園 藤島幼稚園
(株)北陸銀行
(株)ユニコロ
リード進学塾
越前市役所
坂井市役所
敦賀市役所
福井県庁
福井市役所
福井県小中学校事務



※「円グラフ」は2017年度卒業生データ(2018年5月1日現在)

※本データは改組前の教育地域科学部学校教育課程卒業生の進路状況です。
※主な大学院進学先および就職先は、過去5年間の集計データから多い順に掲載。

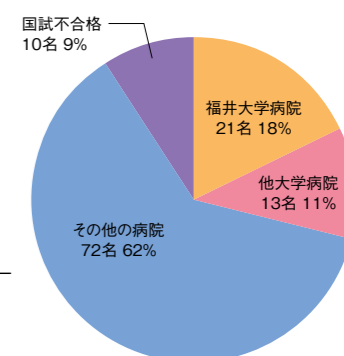
《医学科》

主な初期臨床研修先

福井大学医学部附属病院
神戸大学医学部附属病院
順天堂大学医学部附属病院
千葉大学医学部附属病院
名古屋市立大学大同病院
日本医科大学附属病院
浜松医科大学医学部附属病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター
横浜市立大学附属病院
福井県済生会病院
福井県立病院
福井赤十字病院
安城更生病院
石川県立中央病院
市立福知山市民病院
岐阜県総合医療センター
国立病院機構京都医療センター
国立病院機構神戸医療センター

市立島田病院
市立敦賀病院
市立奈良病院
宇治徳州会病院
近江八幡市立総合医療センター
大阪急性期・総合医療センター
大阪府済生会千里病院
大津赤十字病院
岡崎市民病院
地域医療機能推進機構金沢病院
がん研究会有明病院
木沢記念病院
北播磨総合医療センター
京都市立病院
兵庫県立淡路医療センター
勤医協中央病院
神戸市立医療センター-西市民病院
国家公務員共済組合連合会大手前病院

静岡県立総合病院
杉田玄白記念公立小浜病院
住友別子病院
諏訪赤十字病院
聖隷三方原病院
国立病院機構 高崎総合医療センター
高山赤十字病院
康生会武田病院
社会医療法人健生会土庫病院
東京都立駒込病院
栃木県済生会宇都宮病院
トヨタ記念病院
奈良県立病院機構西和医療センター
新潟市民病院
日本赤十字社和歌山医療センター
八戸市立市民病院
浜松医療センター
日立総合病院



※「円グラフ」は2017年度卒業生データ(2018年5月1日現在)

国家試験合格率(既卒者含む)

医師	年度	本学	全国
医 師	H29	88.2%	90.1%
	H28	91.3%	88.7%
	H27	89.9%	91.5%

※主な初期臨床研修先は、過去5年間の集計データから多い順に掲載。

Message from graduates



大学時代の私

看護実習の最終日にメンバーと

医学部(看護学科)

患者さんの思いに寄り添う
存在でありたい

山本 知慧 さん

医学部 看護学科 2011年卒業
福井大学医学部附属病院 看護部

入学前は「看護師」と聞くと、患者さんのお世話をするだけのイメージでしたが、それだけではないことを看護実習で教わりました。患者さんが病氣と向き合いながらも自分らしく生きていけるようサポートすることが看護師の役割の一つです。患者さんの力を引き出す手助けをし、その力を尊重していくことの大切さを知りました。そのために時間をかけて話を聞き、時には思いがけない胸の内を打ち明けられる時もあります。現場で働く看護師の姿はとてつよく見え、その姿に近づけるよう実務を積んできました。

卒業後は附属病院に入職し、人事交流で京都大学附属病院でも勤務する機会に恵まれました。こちらは造血細胞移植が多く行われています。様々な場面ごとに患者さん自身が納得できるよう、その思いに寄り添い、その上で他職種と連携をとる現場は、非常に勉強になりました。

自分が担当する血液・腫瘍内科では、今後も患者さんと話す時間を大切にしたいですし、後輩たちにもその姿勢の大切さを伝えていきたいと思っています。

工学部

問題にぶつかったときに
立ち返るべき基礎を身につけた

柴田 喬之 さん

大学院工学研究科 博士前期課程 2018年修了
京セラ株式会社 八日市単結晶製造技術課

専門メーカーで働くには、大学でその専門分野に特化した勉強や研究をしていた方が有利なのではないか、と考える人も多いかと思います。私が専攻した物理学、とりわけ理論物理学は抽象度が高く、企業の現場では即戦力になりにくい分野と思われがちです。でも、そんなことはありません。物理学はさまざまな工学の基礎であり、電磁気学や力学、熱力学などの原理をしっかり学んでいけば、現場で起こるさまざまな問題に対しても、基本に立ち返って検討することができます。物理学は、応用が利くのです。また、大学の研究室では、「場の量子論」という未知の領域でいくつもの壁にぶつかりながら粘り強く考え抜くことを学びました。現在の仕事は製造プロセスの開発ですが、新しい製品をつくる、新しいやり方をつくる、という点では、やはり未知への挑戦です。この京セラという会社には、チャレンジして失敗した人を評価する社風があります。大学で身につけた私の姿勢に、マッチしていると思います。

大学時代の私

研究室の仲間たち



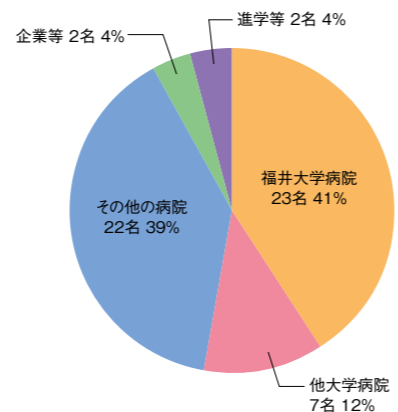
《看護学科》

主な就職先

- 福井大学医学部附属病院
- 京都岡本記念病院
- 公立丹南病院
- 京都大学医学部附属病院
- 静岡赤十字病院
- 大阪医科大学附属病院
- 世田谷記念病院
- 岐阜大学医学部附属病院
- 新潟市民病院
- 鳥取大学医学部附属病院
- 新潟大学地域医療教育センター
- 福井県立病院
- 福井赤十字病院
- 福井循環器病院
- 福井県済生会病院
- 三国病院
- 刈谷豊田総合病院
- ほっとリハビリシステムズ
- 石川県立中央病院
- 珠洲市役所

国家試験合格率(既卒者含む)

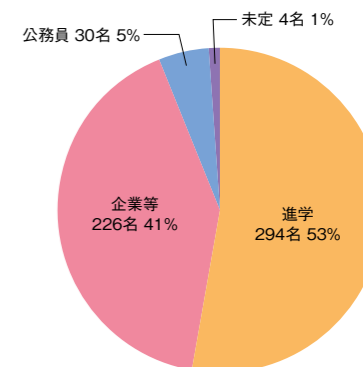
	看護師	保健師	助産師
H29	100.0%	100.0%	100.0%
H28	96.6%	100.0%	100.0%
H27	98.4%	100.0%	100.0%



※「円グラフ」は2017年度卒業生データ(2018年5月1日現在)

主な就職先

- アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)
- (株)ニッセイ
- (株)松浦機械製作所
- (株)日本ピーエス
- 小林化工(株)
- (株)銭高組
- サーレン(株)
- 三菱電機(株)
- (株)天晴データネット
- 住友理工(株)
- 森永北陸乳業(株)
- 小松ウオール工業(株)
- (株)永和システムマネジメント
- 前田工織(株)
- (株)鴻池組
- 大豊工業(株)
- 大東建託(株)
- 大野市役所
- 大同工業(株)
- 大和ハウス工業(株)
- 福井県警察
- 福井県公立学校教員
- 福井県庁
- 豊田合成(株)
- 福井市役所
- スズキ(株)
- アイシン・エイ・ダブリュ(株)
- トヨタ車体(株)
- パーソルR&D(株)
- トヨタ紡織(株)
- 愛知県庁
- パナソニック(株)
- (株)イワシタ
- ミズノテクニクス(株)
- (株)ジャストコーポレーション
- (株)SCREENホールディングス



※「円グラフ」は2017年度卒業生データ(2018年5月1日現在)

学費・生活費・住まい・奨学金制度

学費 国立大学ならではの安い初年度納付金

福井大学の初年度納付金額(入学料と授業料の合計額)は817,800円。国立大学の学費は、私立大学の平均と比べ、文系で約37万円、理系で最大約400万円以上の開きがあります。

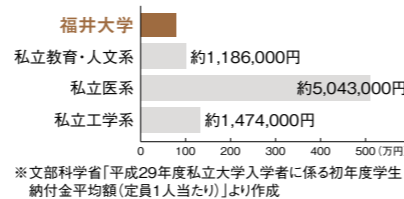
初年度納付金
817,800円
(入学料 282,000円、授業料 535,800円)

免除・猶予制度

学費の納付が困難かつ学業優秀と認められる学生について、本学では以下の制度を設けています。
※免除・猶予には、学生本人の申請と審査機関での選考が必要です。

入学料免除制度	入学料の全額もしくは半額を免除します
入学料徴収猶予制度	入学料の徴収を一定期間猶予します(免除ではありませんので納付が必須)
授業料免除制度	授業料の全額もしくは半額を免除します

私立大学(初年度納付金の平均)との比較



生活費 福大生の1カ月の収入と支出(平均)

入学料や授業料以外にかかる「生活費」。自宅から通う学生と、一人暮らしをする学生とではかかる金額も違います。1か月にかかる平均的な生活費をチェック!

自宅生	[収入] 平均 56,260円	自宅外生	[収入] 平均 119,000円
	[支出] 平均 50,590円		[支出] 平均 113,950円

※福井大学生生活協同組合「第53回学生生活実態調査」より作成

住まい アパート、下宿のサービスは地元企業と連携

一人暮らしを始める学生のために、アパートや下宿などの住まい探しをお手伝いします。福井で初めて暮らす学生も安心のサポート体制が整っています。

福井大学国際交流学生宿舎

学生の勉学及び生活のための良好な環境を整備するとともに、日本人学生と外国人留学生との相互理解を深め、国際交流を促進することを目的とした国際交流学生宿舎があります。宿舎生活は入居学生で組織する自治会が支えています。

入居費用	寄宿料4,700円/月額、共益費1,000円/月額、光熱水料など約10,000円/月額、自治会費(入会費500円、会費1,000円/年間) 共用施設費(シャワー100円/1回、ランドリ100円/1回)
居室設備	机、椅子、吊り棚、ミニキッチン、ユニットトイレ、冷蔵庫、空調機、時計、カーテン

※詳細は、学生サービス課(TEL 0776-27-9701)にお問い合わせください。

アパート・マンション・下宿

アパートやマンションの入居、下宿を希望する学生のために、不動産会社の協力のもと、大学周辺のアパートや下宿のオーナーなど、住まいの紹介サービスを行っています。福井大学生生活協同組合(TEL 0776-21-2956)にご相談ください。

奨学金制度 学びたい学生を経済面でサポート

大学・大学院に在学する学生で、人物・学業ともに優秀かつ健康であり、経済的理由により修学が困難と認められる者に対して、学費支援や研究者・医療人育成のための大学独自奨学金制度があります。また、独立行政法人日本学生支援機構や都道府県・市町村等の地方公共団体、公益法人等の奨学金制度もあります。

福井大学基金予約型奨学金

福井大学入学後、修学に必要な経済的支援を行うことを目的とした奨学金制度です。入試出願前に奨学金を申請し内定した受験生が、入試に合格し入学した場合、所定の手続きのうえ奨学金として正式に採用され、30万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。
※対象となる入試の種類については募集要項で確認してください。

福井大学学生修学支援奨学金

学部学生及び大学院生の授業料免除申請者(外国人留学生除く)のうち、審査の結果半額免除となった者の中から、選考により一時修学支援金として、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

福井大学生協奨学金

福井大学生生活協同組合からの寄附による奨学金制度です。学部学生の授業料免除申請者(外国人留学生除く)のうち、審査の結果半額免除となった者の中から、選考により一時学費支援金として、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

福井大学医学部同窓会「白翁会」国重奨学給付金

医学部医学科卒業生の故 國重昌彦先生が、学生時代、経済的に苦労した経験から、医学科へ進学希望し入学した者や在学生の経済的支援を目的に、医学部同窓会「白翁会」に寄附された基金をもとにした奨学金制度です。

① 入学支援金予約型

一般入試出願を予定し、入学に際し真に経済的に困窮している受験生に対する支援金です。入学し、所定の手続き後に、80万円を給付します。給付は、入学時1回のみで、返還の必要はありません。

② 修学支援金

真に経済的に困窮している医学科に在学学生への支援金です。原則として在学中1回のみ、50万円が給付されます。返還の必要はありません。

独立行政法人日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金の貸与奨学金は、大学卒業又は退学後、必ず返還しなければなりません。また、この奨学金は大学の在籍状況等で申込要件を満たさない場合、申請できないことがありますので、詳しくは大学の奨学金窓口にお問い合わせください。

※なお、平成29年度より給付奨学金も創設されました。

種類及び貸与月額

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	【自宅月額(自宅通学者)】 最高月額 45,000円 最高月額以外 20,000円又は30,000円 【自宅外月額(自宅外通学者)】 最高月額 51,000円 最高月額以外 20,000円、30,000円 又は40,000円	無利子
第二種奨学金	20,000円から120,000円までの1万円単位の金額の中から選択	有利子(在学期間中は無利子) 利率は固定型、又は見直し型より選択

(大学院)

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	修士・博士前期課程 88,000円 又は、50,000円の何れかを選択 博士後期課程 122,000円 又は、80,000円の何れかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 50,000円、80,000円、100,000円、 130,000円、150,000円	有利子(在学期間中は無利子) 利率は固定型、又は見直し型より選択

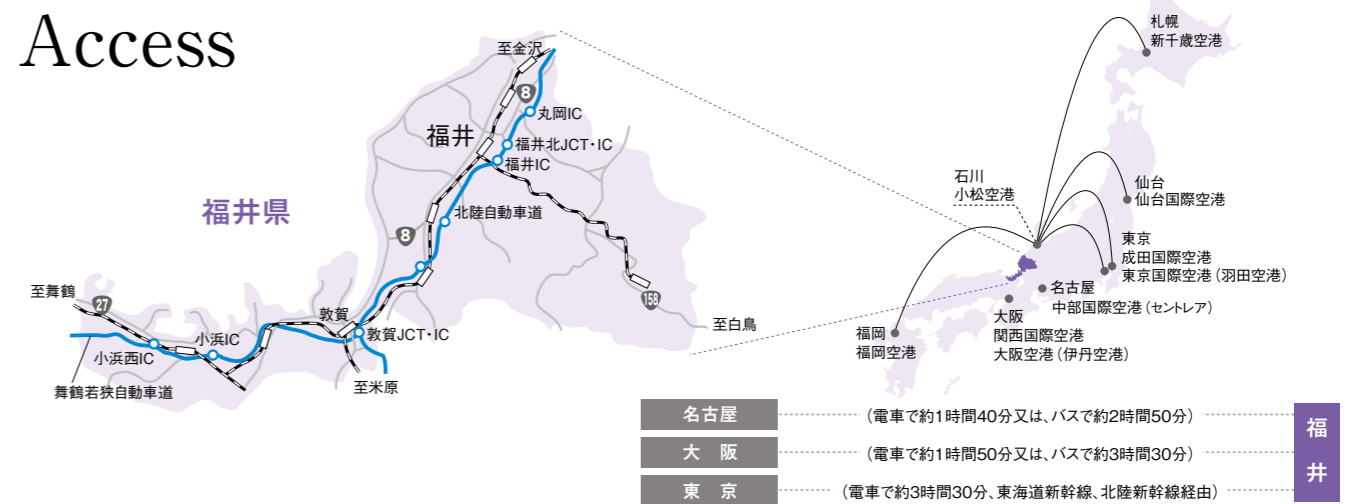
日本学生支援機構が定める基準を満たす場合には、「第一種奨学金」と「第二種奨学金」の併用貸与を受けることもできます。ただし、返還総額が多額になりますので、特に第二種奨学金の月額については、卒業後返還する場合のことを考えて慎重に選択してください。

地方公共団体、公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、奨学生の募集がある場合に学内掲示板で案内しますので、申請を希望する学生は、大学の奨学金窓口にお問い合わせください。

大学の奨学金窓口(問い合わせ先)
文京キャンパス・敦賀キャンパス 学生サービス課(学生支援担当) TEL 0776-27-8716
松岡キャンパス 松岡キャンパス学務課 TEL 0776-61-8266

Access



教育学部・工学部・国際地域学部

鉄道	えちぜん鉄道福井駅-(約10分)-福大前西福井駅 [JR福井駅東口から出て三国芦原線に乗り] ※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
バス	京福バス福井駅-(約10分)-福井大学前停留所 [JR福井駅西口バスターミナル2番のりばより乗り]
タクシー	JR福井駅-(約10分)-福井大学文京キャンパス [必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
自家用車	北陸自動車道 福井北ICから国道416号線で西へ約7km または福井ICから国道158号線で西へ約8km

医学部・附属病院

バス	京福バス福井駅-(約35分)-福井大学病院 [JR福井駅西口バスターミナル1番のりばより乗り]
鉄道	えちぜん鉄道福井駅-(約20分)-松岡駅-(バス約5分)-福井大学病院 [JR福井駅東口から出て勝山永平寺線に乗り] ※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
タクシー	JR福井駅-(約30分)-福井大学松岡キャンパス [必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
自家用車	北陸自動車道 福井北ICから北へ約4km、または丸岡ICから南へ約5km

※標識やバス停の一部に見られる「福井大学病院」「福井医大」も福井大学医学部を指します。

附属国際原子力工学研究所

鉄道	JR敦賀駅から徒歩で約3分
自家用車	北陸自動車道 敦賀ICから敦賀バイパス 国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km